

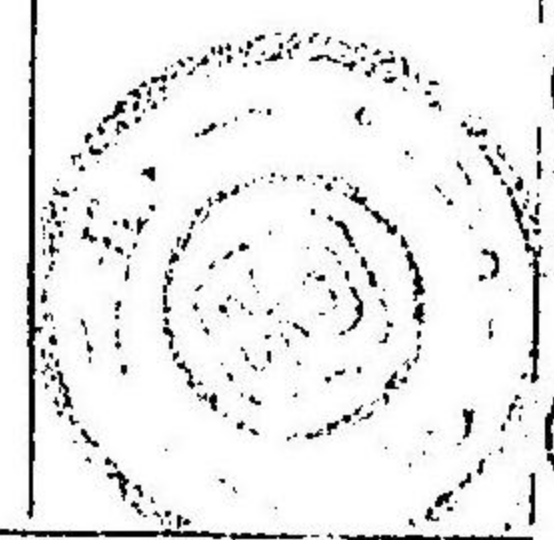
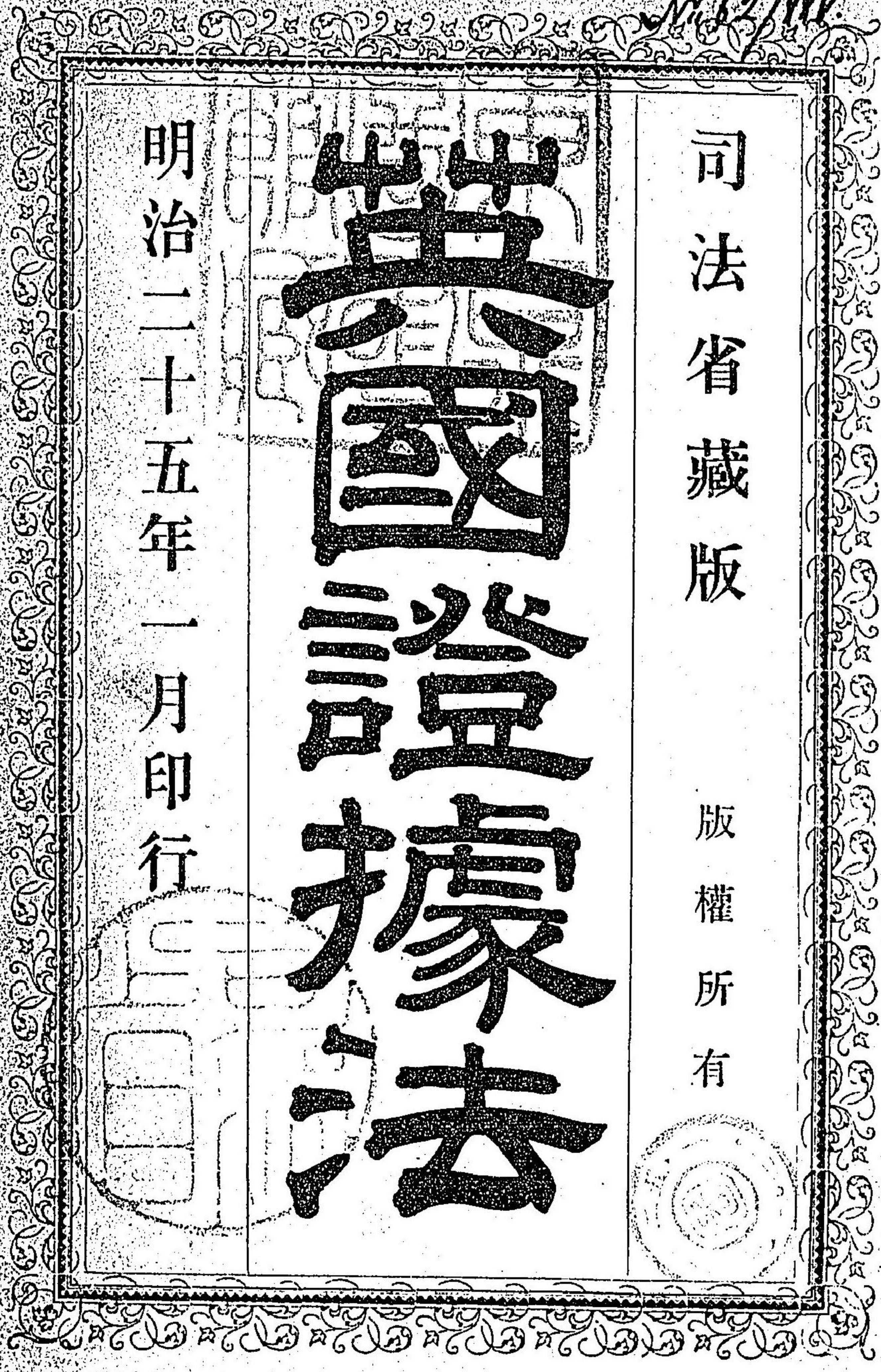
No. 62/III

司法省藏版

版權所有

英國證據法

明治二十五年一月印行



凡例

一本編ハ千八百八十五年英國倫敦ニ於テ刊行シタル。ピット
トテイロル氏ノ第八板英國證據法ヲ翻譯シタルモノナ
リ。
一原書ハ現ニ英國及愛蘭土ニ行ハル、法規ヲ主トシ。傍ラ
歐米各國ノ法律ヲ參照シ。以テ編纂セシモノナルヲ以テ。
全部千八百十頁ノ大著作タリ。今悉ク之ヲ譯シテ漏ラサ
、ラント欲セハ。却テ其肯綮ヲ失ントテ恐ル。乃チ其繁ヲ
芟リ。其要ヲ提ケ。以テ其大綱ヲ抄出スト云爾。

明治二十五年一月

譯者 識

英國證據法

目次

第一編 證據ノ性質及ヒ原理

第一章 緒言

第二章 立證ナクシテ裁判上承認セラル、事柄

第三章 事實審理ノ方法 陪審審理ニ於ケル裁判官ノ職權

第四章 信ノ基礎

第五章 推測證據

第二編 證據提出ノ規則

第一章 陳述ト證據ノ一致スル事 爭點事實 不一致 修正

第二章 證據ヲ爭點ニ關スル事實ニ限ルコト

第三章 舉證ノ責任

第四章 最上ノ證據

第五章 二等證

第六章 感覺ニ訴フル證據

丁數

一

二

八

二四

三七

七九

一〇〇

一四八

一七〇

一九六

二九〇

第七章	傳聞證據	二九五
第八章	公共及ヒ一般ノ利益タルヘキ事柄	三二一
第九章	系統ニ關スル事柄	三二九
第十章	古キ占有	三四四
第十一章	利益ニ反對スル陳述	三四七
第十二章	職務又ハ營業ノ際ニ爲シタル陳述	三六二
第十三章	臨終ノ陳述	三六九
第十四章	自認	三七五
第十五章	自白	四三一
第十六章	公ケノ政畧ヲ理由トシテ排斥セララル、證據	四五八
第十七章	一人ノ證人ヲ以テ立證スルヲ許サ、ル事柄	四七六
第十八章	書面ヲ以テ立證ヲ要スル事柄	四八三
第十九章	書證ヲ影況スル爲メニ用井ル口證ノ許否	五三五
第三編	證據ノ手段	
第一章	證人及ヒ其出廷ヲ得ル方法	五八一

第二章	證人ノ能力	六〇一
第三章	證人ノ訊問	六三三
第四章	公文書	六八九
第五章	私文書	九〇八

英國證據法

テーロール著

山田喜之助譯

第一編 證據ノ性質及ヒ原理

第一章 緒言

證據トハ法律上之ヲ云フ
方法手段ヲ云フ議論

裁判審問ニ係ル事實ノ眞實ヲ慥メ若クハ不眞實ヲ慥ムル所ノ總
此限ニアラス

證據ナル言ト證明ナル言ト
トシテ證明ト證據ト結果ト

同様に用ヒラル、コアリ然レモ正確ナル論理家ハ其間ニ區別ヲ
用ヒ證據ニハ其レ自身ノ意味ヲ有セシム

確證ト稱スル
證據ニ就テハ到底以上ノ如キ

證明ハ只單ニ數學的ノ眞理ニ就テ之ヲ云フヲ得ヘキノミ事實ノ
確證ニ就テハ到底以上ノ如キ確證ヲ得ル能ハス相當ノ疑ナキ點ニ迄證明シ得レハ充分トス

故ニ事實ノ審問ニ於テハ其相當ノ範圍内ニ於テ眞正ト爲スヘキヤ即チ之ヲ換言セハ或事實
ハ相當及ヒ充分ナル證據ニ由テ證明セラレタルヤ否ヤニ在リトス

○相當ノ證據トハ或格段ナル場合ニ於テ法律カ適當ナルモノト看做スモノヲ云フ例ヘハ書
中ノ事柄ニ付穿鑿アル時ハ該書面ヲ差出スハ相當ナルヘシ充分ナル證據トハ公平ナル心ヲ

相當疑感ノ外ニ満足セシムルニ足ル證據アル時ヲ云フ如何ナル事情アル時ハ充分ノ證據アルモノトナスヤハ豫メ之ヲ一定スルヲ得ス法律上ノ目安ハ普通人ノ心ヲ満足セシムルニ足ルノ一事ニ外ナラス即チ普通人ニ確信ヲ與ヘ重要ナル人事問題ヲ該確信ニヨリ處分スルヲ肯テセシムルニ足ルアルノミ證據ノ相當ナルヲ即チ取捨ニ關スル問題ト其充分ナルヤ否ヤ即チ結果ニ關スル問題トハ全ク別物ナレハ之ヲ混同スルヲ得ス前者ハ判事ノ職權ニ屬シテ後者ハ陪審役ノ管轄ニ屬スルモノナリ

○證據法ハ三大部ニ區分ス

第一 證據ノ性質及原理

第二 證據ノ目的物及ヒ其提出ニ關スル規則

第三 證明ノ方法即チ事實ヲ證明スル書類

本書ハ以上ノ順序ニヨリ講説スト雖ヒ之ヲナス前ニ當テ豫メ(一)證明ナクシテ裁判官ノ知得スル事柄及ヒ(二)裁判官ノ職務ノ陪審役ト區別アル所以ヲ説明スヘシ

第二章 立證ナクシテ裁判上承認セラル、事柄

○總テノ文明國ハ世界主權者ノ集合體ノ一員ナレハ相互ニ其成立及ヒ一般公ケノ外部ノ關係ヲ承認スヘキモノトス故ニ總テノ主權者即チ國家ノ司法權ハ他ノ文明諸外國ノ成立及ヒ

名稱ヲ承認スヘシ然レハ内亂等ニ由テ國民ノ一部分他ノ一部分ト分離シ新ニ獨立政府ヲ爲シタルハ新建國ハ他國ノ主權者ニ由テ承認セラル、前ニハ其國ノ裁判所ニ依テ承認セラ^ルハ、^ナシ然レハ裁判官ハ新建國ノ果シテ自己ノ政府ニ依テ獨立國ト認メラレタルヤ否ヤヲ職務上知ルヘキ義務アルモノトス

①之ト同シク裁判官ハ立證ヲ待タスシテ習慣法、條約法及ヒ習慣法若クハ習慣又ハ條例ニ由テ成立セシメタル總テ法律上ノ要求、財産、名義權利、義務、法鎖及ヒ責任ヲ承認スヘキモノトス又習慣法及ヒ衡平法抵觸スルキハ衡平法ヲ行フヘキコトヲ承認シ國際公法、帝國議會ノ法律及習慣立法各部ノ特權及ヒ執務方法、帝室ノ特權、王宮ノ特權、軍法、宗法、陸海軍戰法其他徵兵諸規則ヲ承認ス

裁判所ハ法律上承認セラレタル總テノ習慣ヲ承認ス然レハ外國ノ法律習慣ハ之ヲ承認セス而シテ此原則ハ頗ル嚴格ニシテ總テノ外國法律ハ勿論殖民地ノ法律セルセル、ゲレンセル若クハ蘇格蘭ノ法律ト雖ヒ事實トシテ立證ヲ要ス但シ愛蘭ノ法律ハ條例ヲ以テ例外ヲ設ケタル外ハ英國法律ト異ナルナキヲ以テ立證ヲ要セス

○裁判所ハ左ノ印章ヲ承認ス

合衆王國ノ大璽

英、愛、蘇、各國ノ大璽

英、愛、蘇ニ於ケル女王ノ樞密國璽

一千八百七十七年帝室事務條例ニヨリテ定メタル大璽

ランカストル公爵ノ璽

コーンウォール公爵ノ璽

舊高等裁判所ノ璽

舊チャンセリー習慣法璽

其他諸種ノ裁判所、登記役場、大學委員等ノ公印ニシテ法律上立證ヲ待タス裁判所ニ於テ承認セラル、モノアレヒ之ヲ略ス

○公文書ヲ承認スルノ原理ハ一千八百四十五年書證條例ニヨリ各種ノ文書ニ適用セラレタリ該條例ハ從來ノ不便ヲ救済センカ爲メニ發布シタルモノニシテ其文左ノ如シ

從來各種ノ法律ニヨリ官文書、公文書、法人、合資會社其他會社等ノ書類ハ裁判所ニ於テ各法律ノ明文ニ從ヒ證據ト爲スヲ得ルモノナレヒ右等文書ノ真正ナルコトヲ證明スルコト頗ル困難ナルヲ以テ經驗上右等法律ノ利益甚少ナシ依テ右等書類ヲ容易ク證明シ得ルノ便宜ヲ與ヘンカ爲メニ更ニ法ヲ設クルコト左ノ如シ

現今ノ法律若クハ將來ノ法律ニヨリ總テノ證明書官文書若クハ公文書、法人又ハ會社ノ證書、事務手續、證書ノ謄本、内則、簿冊ノ記入等ハ裁判所若クハ判定所、若クハ國會兩院若クハ國會兩院ノ委員ニ對シ證據ト爲スヲ得ル場合ニハ右等書類ニシテ正當ニ捺印セラル、カ或ハ署名セラル、カ若クハ貼印セラル、時ハ印影、印紙ノ立證ナク裁判上證據トシテ提出スルヲ得

第二節ノ文ハ左ノ如シ

總テノ裁判所、判事、治安判事、裁判所官吏、司法權アル委員等ハ自今高等裁判所ノ判事ノ署名ハ裁判所命令書、證明書其他官文書ニ顯ハル、時ハ之ヲ承認スヘシ

第三節ノ文ハ左ノ如シ

帝國議會ノ私法律ニシテ帝室活版所ニ於テ印刷セラレタリト爲サ、ルモノ議會兩院ノ記事、勅諭ニシテ帝室活版所若クハ議會ノ活版所ニ於テ印刷セラレタリト爲サ、ルモノハ事實印刷セラレタリトノ立證ナクシテ裁判上證據ト爲スヲ許ス
○一千八百六十五年ノ條例ハ殖民地法律ノ効力ニ關スル疑惑ヲ除ク爲メニシタルモノニシテ其第六節ハ左ノ如シ

殖民地ノ立法部ノ書記若クハ其他相當ノ官吏ノ爲シタル證明書ハ殖民地知事ノ承諾ヲ

表シタル法律ノ真正謄本トス又殖民地ノ新聞紙ヘ知事ノ職權ニ由テ公布シタル官文書ハ女皇帝陛下ノ裁可若クハ不裁可ヲ併セテ正當ノ證據ト爲スヲ得

○外國及ヒ殖民ノ書類立證ニ關シテハ一千八百五十一年プロハム卿ノ法律アリ其第七節ノ文ニ曰ク

外國政府若クハ英吉利殖民地ノ告達、條約其他ノ立法及ヒ外國若クハ英吉利殖民地ノ裁判言渡、命令、手續及ヒ裁判所ニ提出シタル訴狀其他ノ訴訟書類ハ裁判官法律又ハ對手人ノ承諾ニヨリ證據取調ノ權ヲ有スル人ニ對シ左ノ制限ニヨリ本書若クハ謄本ニヨリ證據ト爲スヲ得

立證ヲ要スル書類、告達、條約若クハ國家ノ公所爲ナル時ハ謄本ハ外國政府若クハ殖民地ノ印章ヲ以テ押捺セラル、ヲ要ス若シ立證ヲ要スル書類、裁判言渡、命令、手續ナル時ハ謄本ハ裁判所ノ印章アルヲ要ス又裁判所印章ナキ時ハ判事ノ署名ヲ要シ其旨附記セラルヘシ

○一千八百五十五年發布ノ條例ヲ以テ英吉利公使及領事ノ爲シタル宣誓及ヒ登記事務ニ付頗ル簡易ナル法ヲ設ケタリ即其第三節ノ文ニ曰ク

何等ノ書類ニ限ラス英國公使、代理公使、公使館書記官、總領事、領事、副領事、代理領事、領

事館員ノ官印署名アルキハ其官印署名ノ眞實ナルコトノ立證ナクシテ裁判上ノ證據トシテ提出スルヲ得ス

○判事ハ倫敦ダブリン及ヒエヂンバー「ガゼット」ヲ提出スル時ハ皇室活版所ニ於テ買求メタルノ證據ヲ提出スルヲ要セス又其所ニ付證據ヲ要セス裁判上當然之ヲ認識スヘシ

○當然知ラレタル所ノ事實ハ立證ヲ要セス例セハ分娩アリタル六ヶ月前男子、婦人ト接シタルノ證據アラサル時ハ生兒ハ其男子ノ子ニ非ス又時ノ循環、天體ノ運動、ハ立證スルヲ要セス公ケノ休暇日、公ケノ祝祭日ハ立證ヲ要セス耶蘇紀元ト英國帝王ノ御宇年代ノ符合、週ノ日ト月ノ日トノ符合、月ナル語ノ意味、等ハ立證ヲ要セス月トハ習慣及衡平法ニ於テハ四週日ヲ意味シ宗教裁判所又ハ商業取引及ヒ一千八百五十一年以後ノ法律若クハ上等裁判所ノ手續規則、裁判言渡等ニハ曆月ヲ意味ス但シ三十日ヲ以テ一ヶ月トナスニハ其意味明瞭ナルヲ要ス其他國語通常ノ意味ハ立證ヲ要セス即チ時ナル語ハ反對ノ意味アラサル時ハ英國ニテハグリーンニッチ天文臺普通時ヲ意味シ愛蘭ニテハダブリン普通時ヲ意味ス又王國ノ權衡、貨幣ノ價值ハ立證ヲ要セス而シテ全國民ニ對スル國史ノ事實ハ立證ヲ要セサルモノナラン

○裁判所ハ國家主權ノ行ハル、境界ヲ認識シ國ノ政治上ノ區分例セハ州、郡、町、村、ノ類ハ之

ヲ認識ス然レモ地理ニ屬スル場所ノ位置ハ立證ヲ要スルモノトス

○裁判所ハ政治上ノ組織並ニ官吏ノ主タル者及ヒ其職務、所爲ヲ認識ス其他公事ニシテ國家ノ政府ヲ影響スル事柄ハ總テ之ヲ認識ス

○高等裁判所ノ各部ハ其部執務手續ハ勿論他部ノ執務手續及ヒ各部ノ裁判管轄ヲ認識ス

○以上ノ如キ立證ヲ要セスシテ裁判上認識セラル、事實ト雖モ實際ニ於テハ判事ト雖モ一々之ヲ知ルニ非ス或ハ相當ノ書類ヲ穿鑿スル等ノ必要ヲ感スヘシ然レモ是只判事自カラ其記憶ヲ確實ナラシムルノ方法ニシテ訴訟人ニ於テ立證ノ義務アルニ非ス例セハ月日ヲ知ルニハ曆ヲ要スヘク字義ヲ體ムルニハ字典ヲ要スヘク條例ノ解釋ニハ印刷セラレタル正文ヲ要スヘシ而シテ訴訟人ニ於テ判事ノ參考ノ爲メ書類ヲ提出スルアリト雖モ立證トシテ提出スルニ非ス又場合ニ由リテハ裁判所自カラ訴訟外ノ穿鑿ヲ爲スコトアリ例セハテローロール對バークレーノ訴訟事件ニ於テ中央亞米利加ノ或共和政府ハ英吉利政府ニ於テ既ニ獨立ヲ認メタルヤ否ヤノ問題生シタル時ニ副大法官ハ其事實ヲ外務省ニ照會シタリ又普通裁判所ニ於テ海律ノ問題起リタル時ニ海事裁判所ニ照會シタル等ノ例妙ナカラス

第三章 事實審理ノ方法 陪審審理ニ於ケル裁判官ノ職權

○陪審ノ審理——此制度ハ其幼稚ノ有様ニテハ吾人サクソン祖先ノ時代ニ迄モ溯回スルヲ

得ルモノナリ——而シテ事ヲ愛スル者ハ之ヲ名ケテ自由ノ神聖ナル保護者ト稱ヘリ憤世家ハ之ヲ斥ケテ決闘ニ由テ是非ヲ決スルト殆ント同一主義ノ制度ナリト云ヘリ是等評言ハ兎ニ角前世紀ノ下半期ニ於テ陪審制度ハ非常ノ衝擊ヲ受ケタリ即チ第一回ハ一千八百四十六年ノ法律ニシテ即チ該法律ハ郡裁判所ノ訴訟人ニ撰擇ノ自由ヲ與ヘ單ニ一人ノ判事ニテ裁判セラル、ト又ハ五人ノ陪審役ノ一致ノ裁判ヲ受クルト其自由ニ任セリ然ルニ訴訟人ハ陪審役ノ裁判ヲ受ケスシテ一人判事ノ裁判ヲ望ム者非常ノ多數ナリシヲ以テ陪審制度ヲ非トスル論者ハ非常ニ之ヲ誇言セリ然レモ斯ル事實ハ數年間社會一般ニ知ラレス漸クニシテ國會ノ報告ニヨリ右ニ述ヘタル驚クヘキ統計表ヲ世上ニ公ニシタルヲ以テ漸々ニ陪審制度ノ不信用ヲ來シ遂ニ一千八百五十二年ニ於テ法律委員ヲ設ケテ取調ヲ爲サシメ陪審制度ノ得失ヲ研究セシメタリ而シテ其結果ハ吾人ヲシテ郡裁判所ニ用ヒタル簡易手續ヲ更ニ廣ク施行スルノ必要ヲ感セシメタリ

○本書ニハ歴史上ノ順序ヲ逐フテ陪審制度ノ變革ヲ證明スルノ必要ナシ而シテ第一ニ注意スヘキコトハ刑事事件ニ於テハ陪審制度ノ不信用未タ國民ノ腦髓ニ上ラス故ニ現時ニ於テモ恰モゾヨン王ノ昔ト異ナラス依然陪審制度ヲ以テ民權ヲ保護スル鐵柵ト爲セリ然レモ民事事件ニ在テハ大ニ其趣ヲ異ニシ制度ノ變革ハ猶ホ今日ニ止マラス更ニ新面目ヲ開クヘ

○陪審制度ニ關スル現行法ハ其民事制度ニ係ルモノハ一千八百八十三年第三十六號法律ニ散見ス其條左ノ如シ

第二條 誹謗、不法監禁、誣訴、婦女拐帶、及ヒ婚姻破約ノ訴ニ於テハ原告ハ後ニ定メタル規則ニ從ヒ審理通知書ヲ以テ而シテ被告ハ審理通知ヲ受ケタルヨリ四日內ニ於テ届書ヲ以テ裁判官及ヒ陪審役ニ由テ事實ノ審理ヲ受ケタシトノ願書ヲ差出スヲ得此場合ニハ裁判所ハ之ヲ許可スヘシ

第三條 本條例ニ由テ(ウ井クトリヤ三十六、七年條例)衡平裁判部ノ管轄ニ屬セシメタル事件ハ陪審役ナクシテ判事之ヲ審理スヘシ但シ判事ノ見込ニヨリ陪審役ヲ用井ルヲ得

第四條 裁判所又ハ判事ハ適當ト認メタル場合ニハ陪審役ナクシテ本條例(一千八百七十三年八月五日)發布前ノ訴訟事件ヨリ生スル事實若クハ事實法律混合問題ヲ審判スルヲ得(本條例發布前ニ對手人ノ承諾ナクシテ陪審役ヲ用ヒス判決シ得ル事件ニ限ル)

第五條 裁判所若クハ裁判官ハ證書類若クハ計算上引續キタル審問ヲ要スルカ又ハ學術上ノ取調ヲ爲スヘキ場合ニハ其見込ヲ以テ陪審役ヲ用ヒサルヲ得

第六條 他ノ事件ニ於テハ訴訟人ノ請願アルキハ事實審判ニハ陪審役ヲ用井ルコトヲ許可

スヘシ

以下ノ條文ハ之ヲ畧ス

○是等ノ諸規則ヲ精査スルキハ(此規則ノ草案者ハ陪審制度ノ事ヲ充分ニ知ラサルヘシ)第一ニ吾人ノ注意ヲ促カスモノハ衡平裁判部ニ在テハ最早訴訟人ニ陪審裁判ヲ求ムルノ權利ナク裁判官ニ於テ必要ト認メサル以上ハ陪審役ヲ用井スシテ自カラ事實ヲ審理シ得ルナリ第二ハ習慣法部ニ於テモ訴訟人ノ請願アラサル時ハ一人ノ判事ニテ事實ヲ裁判スルモノトス又第四條第五條ノ場合ニハ訴訟人陪審役ヲ望ムト雖モ裁判官ハ之ヲ退クルヲ得ルモノトス

○以上ニ述ヘタル諸規則ハ刑事事ハ勿論高等裁判所帝室部即チ租稅部ニハ適用ナキモノトス又一千八百八十四年七月ノ規則ニヨレハ離婚若クハ其他親屬ノ訴訟ハ損害ヲ要求セサル時ハ陪審役ヲ用ヒサルモノトス若シ損害ノ要求アル時ハ普通陪審役ノ審判ヲ求ムルト否トハ訴訟人ノ自由ニ任ス

○陪審々理ニ於テハハドウ井ツク卿ノ述ヘタル如ク(總テ思慮アル人ハ同氏ニ左袒スヘシ)裁判官ノ職權ト陪審役ノ職務トハ判然タル區別アルヲ必要トス然ルニ此事不幸ニモ甚々明瞭ナラス裁判官ハ法律點ヲ判決シ陪審役ハ事實點ヲ決定ストノ原則ハ其レ自身ニ於テ

ハ争フ可カラサルモノナレトモ之ヲ事實裁判上ニ適用スルニ於テハ實ニ疑フヘキ結果ヲ生ス
依テ本編ニハ原則ヲ論シ併セテ實地ニ必要ナル注意ヲ述ヘントス

○陪審々理ニ於ケル裁判官ノ職務ハ四種トス

第一 裁判官ハ證據ノ許ス可キモノト許ス可カラサルモノトノ問題ヲ判決ス

第二 裁判官ハ證據ノ輕重ヲ衡ルヘキ法律規則ヲ陪審役ニ教示スルヲ要ス

第三 裁判官ハ法律ノ問題トシテ陪審役ノ判定ニ任スヘキ適當ナル證據ノ有無ヲ決定セサ
ル可カラス

第四 裁判官ハ訴訟争點ニ適用スヘキ法律ノ原理ヲ説明執行セサル可カラス

第一ノ職務ヲ行フニ就テハ證人若クハ書類ノ許否ヲ決スルノ必要アリ而シテ之ヲ爲スニ事
實ノ審理ヲ必要トスルコトアリ斯ル場合ニハ右事實ヲ證明スル總テノ證據ハ裁判官獨リ之
ヲ決ス例セハ自白ノ許否ニ關スル問題アリト假定センニ其自白ノ許否ハ脅迫ノ有無ニ由テ
決セラル、場合ニハ裁判官ハ第一ニ脅迫ノ有無ヲ決定シ第二ニ其脅迫ハ果シテ自白ヲ無効
ナラシムルニ足ルノ程度ニ達セルヤ否ヤヲ決定セサル可カラス又臨終ノ明言ノ許否ヲ決ス
ル場合ニ於テ明言者ハ當時將ニ死セントスルヲ信シテ爲シタルモノナルヤ否ヤヲ決定スル
ノ必要ヲ生スヘシ而シテ右事實ノ有無ハ裁判官ノ決定スヘキモノトス又書面證言ノ許否ハ

其證人ノ果シテ法庭ニ出席シ得サル時ニ非レハ英法ハ之ヲ許サ、ルヲ以テ右許否ヲ決スル
前ニ證人タルモノ疾病其他正當ノ事故ニテ出廷シ能ハサルヤ否ヤハ裁判官之ヲ決ス其他證
言若クハ證書ノ許否ヲ決スルニ必要ナル事實ノ有無ハ一切裁判官ノ判定ニ任シ陪審役ノ干
渉シ得ヘキ所ニ非ス

○又争ニ係ル地所以外ノ場所ニ於テ爲サレタル所爲ヲ證據トシテ提出セラル、時ハ裁判官
ハ先ツ右兩地所ノ間ニ證據トスヘキ程ノ關係アリヤ否ヤヲ判定シ次ニ其所爲ハ所有權ノ證
據ト爲スニ足ルヘキモノナリヤ否ヤヲ判定スルヲ要ス又習慣ヲ證明スル爲メ證人ヲ召喚シ
タルニ證人ハ事實ヲ述ヘス單ニ己ノ意見ヲ陳述シタル場合ニハ裁判官ハ之ヲ以テ證據ト爲
サス陪審役ノ裁斷ニ附セサリシニ上訴判事ハ該裁判官ノ所爲ヲ正當ト認メタリ而シテ法律
ニ由テ許容スヘキ證據ハ一切之ヲ陪審役ノ裁斷ニ附スルヲ要ス然レモ或ル證據ノ果シテ陪
審役ノ裁斷ニ附スヘキモノナルヤ否ヤヲ判決スルハ裁判官ノ職權トス

右ノ如ク裁判官ニ依リ陪審役ノ判定ニ附セラレタル證據ハ唯裁判ノ材料ヲ陪審役ニ與ヘタ
ルモノニ過キサレハ其輕重ト信用ノ厚薄ハ一ニ陪審役ノ思慮ニ任シタルモノトス而シテ裁
判官ノ判定ニシテ誤謬アル時ハ優位ノ裁判所ニ上訴スルヲ得

○第二ニ證據ニ關スル法律規則ニシテ或ル證據ヲ必要ト爲シ若クハ或證據ニ特別ノ價值

ヲ附シ又ハ或事實ヲ立證スルニ特別ノ法規アルハ之ヲ陪審役ニ教示スルノ義務アリ例セ
 ハ爭點ニ係ル事實ニ適用スヘキ推測法アル時ハ確定ノ推測ト、反證ヲ許ス不確定ノ推測ト
 ヲ區別シテ陪審役ニ指示セサル可ラス又不確定ノ推測ノ場合ニハ反證ノアラサル以上ハ眞
 實トナスヘキ推測ト單ニ幾分ノ信ヲ起スト雖モ必スシモ從フヲ要セサルモノトノ區別ヲ指
 示セサル可ラス又習慣法若クハ條例法ニ由リ或證書類記載ノ事項ヲ確定證據ト爲ス場合ニ
 ハ裁判官ハ其旨ヲ陪審役ニ指示シ陪審役ハ只其證書ノ眞偽ヲ定ムルノミニシテ若シ偽物ニ
 非スト爲ス以上ハ記載ノ事項ハ必ス之ヲ眞實ト爲サ、ル可ラサルコトヲ教示スルヲ要ス
 一人ノ證言ニシテ他ニ之ヲ補充スヘキ證據ナキハ法律ニ於テ證據充分ト爲サ、ルコトア
 リ例セハ國事犯罪、偽證罪ノ如キ場合ニハ其規則ノ性質及適用ノ範圍ヲ教示セサル可カラ
 ス又政府方ノ證人ニシテ其犯者ノ如キハ法律上證人タルノ資格アルモノナレモ其實ハ頗ル
 注意ヲ要スヘキ證人ニシテ斯ル場合ニハ共犯人ノ言ハ容易ク信ヲ措クヘキモノニ非ストノ
 注意ヲ陪審役ニ與ヘサル裁判官アルモ其人ハ充分ニ職ヲ盡シタルモノト謂フ可ラス
 多クノ有名ナル裁判官ハ陪審役ニ與フル注意ヲ以上ノ範圍ニ止メス更ニ數歩ヲ進メテ事實
 ニ關スル自己ノ意見ヲ吐露セリ然レモ此方法タル若シ一步ヲ誤ル時ハ往々陪審役ニ於テ己
 ノ職權ヲ蠶食セラレタル如キ不快ノ感ヲ爲シ却テ故ラニ裁判官ノ意見ニ反對シ不公平ナル

裁判ヲ與フルコトアリ

去リ乍ラ裁判官ハ通常陪審役ヨリモ老練ナレハ穩ニ自己ノ意見ヲ吐露シ陪審役ヲ導クコト
 ハ頗ル必要ナリ裁判官カ通常陪審役ニ對スル語ニ「諸君ヨ諸君ニシテ斯々思量スルナラハ
 原告勝訴ノ判決ヲ爲スヘシ若シ然ラサレハ被告ノ勝訴タラシムヘシ諸君ヨ事實判定ハ諸君
 ノ專權ナリ」トハ習慣ニ由テ是認セラル、所ニシテ法律上議ス可キ所ナシト雖モ其實ハ怠
 慢ナル裁判官ノ爲ス所ニシテ事實ノ錯綜セル事件ニハ更ニ懇切ナル注意ヲ陪審役ニ與ヘサ
 ル可ラス然ラサレハ殆ント籤ヲ以テ是非ヲ決スルト同様ニシテ到底正理ヲ得難シ

○第三ニ裁判官ハ審理ノ結了後陪審役ノ判定ニ任スヘキ證據材料ノ有無ヲ見定メ若シ材料
 不充分ト爲スモハ陪審役ニ之ヲ判定セシメス原被告中舉證ノ責アル者ニ敗訴ノ裁判ヲ言渡
 サ、ル可ラス然レモ此原則タル頗ル漠然ニシテ遵奉シ難キモ裁判官タル者ハ充分ノ注意ト
 充分ノ良知トニ由リ事ヲ處スルノ外ナシ若シ疑ハシキ場合ハ陪審役ヲシテ判定セシムルヲ
 可トス

○第四ニ裁判官ハ爭點ニ適用スヘキ法律ヲ陪審役ニ説明スルノ義務アリ而シテ之ヲ爲スニ
 ハ法律ノ疑問ト事實ノ疑問トヲ區別スルノ必要ヲ生ス然レトモ是レ決シテ易事ニ非ス例セ
 ハ竊盜事件ニ於テ裁判官ハ竊盜ニ關スル法律ヲ説明スヘシ即チ何人ニテモ承諾ナク惡意ヲ

以テ他人ノ動産ヲ窃取シタルモノハ竊盜ト爲ストノ法律ニ依リ事件ノ模様ニ由リ窃取トハ如何ナルコトヲ意味スルヤ惡意トハ何等ノコトヲ意味スルヤ等ノ事柄ヲ多少精密ニ指示スヘシ是等ハ勿論法律的問題ニシテ論式ノ前提ヲ構成スルモノナリ即チ陪審役ハ裁判官ノ解釋ニヨリ己ノ認定シタル事實ハ果シテ之ニ適用スルヤ否ヤヲ見定メ之ヲ後提ト爲シ以テ其判決ヲ下スモノナリ若シ適用頗ル困難ニシテ陪審役自カラ任スルニ堪ヘスト思量スルハ己ノ信スル事實ヲ裁判官ニ告ケ法律ノ適用ハ裁判官ニ一任ス

以上ニ述ヘタル如ク法律ト事實トノ區別ハ頗ル容易ノ如ク見ユレ其事實ハ決シテ然ラス今日ニ至ルモ裁判官ト陪審役ノ職權ハ未タ判然ト區別セラレサルナリ例セハ或人ノ爲シタル事ハ相當ノ理由アリヤ相當ノ期限内ナリヤ或ハ相當ノ注意ヲ以テシタルモノナリヤ等ノ問題生スルハ是等ノ判定ハ事實的トシテ陪審役ニ任スヘキモノナリヤ又ハ法律的トシテ判事ノ職權ニ屬スルヤハ頗ル困難ニシテ雙方共ニ相當ノ議論ヲ爲スヲ得ヘシ或ハ曰ク是等ハ法律的トシテ判事ニ解釋セシムヘク或ハ經驗上ノ問題トシテ實際事ニ當ル實際家ノ判定ニ任スヘキモノト云ヘリ然レモ其實ヲ云ヘハ純粹ナル事實ノ問題ニモ非ス法律ノ問題ニモ非スシテ寧ロ性質意見ニ屬スルモノナレモ唯適當ナル名稱ナキカ故ニ混淆問題ト名クルノミ論理學ノ語ヲ假リテ之ヲ云ヘハ中提ト稱フルモノニシテ前提後提ニ普通ナルモノナリ

○右等ノ事柄ニ關スル一般ノ性質ニ就テハ既ニ述フル所ヲ以テ充分ナレモ猶ホ判決例ヲ以テ多少ノ説明ヲ爲スノ必要アリ而シテ是等實例ハ必スシモ皆道理ニ適シタルモノニ非ルヘキモ判決例ヲ貴フ國柄ニ在テハ敢テ無用ノ業ニアラス

第一 規則ノ當否ハ容易ニ知ル可カラサルモ現今ノ處ニテハ以下ノ原則ハ確定セリ即チ相當ノ理由ノ存否ハ專ラ裁判官ノ判定スヘキモノトス而シテ陪審役ハ只其理由ノ存否ノ基本タルヘキ事實ノ眞否ヲ判定スルニ止マルモノトス例セハ誣訴ノ訴ニ於テ若シ證據抵觸スルハ陪審役ハ唯被告カ訴ヲ起シタル當時相當ノ理由アルコトヲ證明スル所ノ模様ノ存在ヲ知ルカ若クハ其模様ハ己ノ起訴シタル犯罪ニ充分ナルコトヲ信シ居タルヤ否ヤヲ判定スルノミニシテ若シ陪審役是等ノ事實ナキモノト判定スルハ裁判官ハ法律的問題トシテ被告ハ訴ヲ起ス相當ノ理由ヲ有セサリシモノト判決スヘシ

○以上ニ述ヘタルカ如ク誣訴ノ場合ニハ正當理由ノ有無ハ裁判官ノ決スル所ナルモ犯權ノ訴ノ場合ニハ信用若クハ疑惑ノ正當ナルコトハ陪審役ノ判定スヘキモノトス例セハ裁判官ハ不法監禁ノ訴ヲ受ケタル時ニ相當ノ理由若クハ善意ヲ以テ己ノ職權ヲ行フタルヤ否ヤハ正當ニ陪審役ノ判定ニ任スヘキモノトス

○相當期限ノ問題ハ相當理由ノ問題ヨリモ更ニ一層困難ナルモノトス或事柄ニ關シテハ問

題ノ屢起生シタルヨリシテ何ヲ以テ相當期限ト爲スヤヲ確定セル場合アリ而シテ商業上ノ取引ニハ便利ノ爲メ裁判上一定ノ期限ヲ定メリ斯ル場合ニハ陪審役ハ只其規則ニ適當セルヤ否ヤヲ判定スルニ止マルモノトス例セハ爲替手形不渡ノ通知ハ正當日限内ニ爲スヘキモノニシテ其正當日限トハ對手人ノ同地ニ住メルト異地ニ住メルトニヨリ差別アリト雖モ裁判官ハ一定ノ時限ヲ定メリ即チ通知ノ書狀ハ發信人カ不渡ノ通知ヲ得タル翌日着スヘキ様爲サ、ル可ラス又郵便船ニ托スヘキ場合ニハ通知ヲ得タル翌日ノ飛脚船便ニ托セサルヘカラス若シ其日ニ便船ナキカ又ハ其日ノ早朝ナル時ハ更ニ翌日ニ通知スルモ可ナリ若シ手形銀行ノ手ヲ經由シタルキハ對手人自カラ爲シタルキヨリモ一日ノ猶豫ヲ要ス手形ニ數名ノ裏書人アル時ハ各人ニ對シテ同時ニ通知ヲ爲スノ義務アリ又要求拂ノ手形ニ於テハ手形ヲ受取リタル翌日請求ヲ爲スヘキモノトス然レモ商業ノ習慣等ニ由リ必スシモ此規則ヲ適用セズ

○以上ノ規則ハ手形對手人ニ適用セラル、ノミナラス銀行及ヒ花主ノ間ニ適用セラル但シ特別ノ事情アルキハ例外トス然レモ以上ノ原則ハ銀行手形ノ所持人カ引出人ニ對シテ訴ヲ起ス場合ニハ適用セズ尤モ遲延ノ爲メ銀行ノ失敗ニヨリ爲替資金ヲ失フタル場合ハ特別トス

○支拂ヲ受クル爲メ爲替手形ヲ提出スル時間ニ就テハ何時ヲ以テ相當時間トナスヤハ裁判官自カラ之ヲ判定セリ而シテ銀行ニ於テ支拂フヘキ證書ナル時ハ銀行執務時間タルヲ要ス若シ銀行ニ非ルキハ振出人ノ住所又ハ營業ノ場所ニシテ振出人ノ居在セルモノト爲サレ得ル場所ナラハ夜中八九時ノ頃ニテモ可ナリ銀行時間後ト雖モ宿直者之ヲ受取リタルキハ差支ナシ又本人自カラニ提出シタル場合ニハ夜中十二時以後ハ何時ニテモ差支ナキナリ地料ノ如キハ日没前タルヲ要スト雖モ事實本人ニ對スル時ハ夜間十二時迄ハ正當トス

○物品引渡ニ付相當時間トハ如何ナルモノナリヤハスタータッフ對マクドナルドノ訴訟事件ニ於テ詳論セラレタリ此事件ニ於テ被告ハ原告ヨリ油ヲ買フコトヲ約束シ三月ノ終ノ十四日内ニ引渡ス約束ナリシ然ルニ原告ハ三月三十一日ノ午後九時ニ引渡シタルヲ以テ被告ハ不相當ノ時間トナシ之ヲ受取ラサリシ而シテ陪審役ノ事實取調ニヨレハ油ハ土曜日ノ午後八時半ニ引渡サレタリ依テ原告ハ日曜ノ朝前ニ引渡ヲ終ヘ被告ハ之ヲ檢査シ之ヲ量定シ之ヲ受取ルノ時間ハ充分アリシナリ然レモ不正當ニ晚ク引渡サレタルモノト判定シ被告ノ勝訴ニ歸シタリ然レモ上訴ニ由テ其判決ハ破毀セラレタリ判事パテソン氏曰ク「被告ハ不在ナリシナラハ營業時間後ニ之ヲ受取ルノ義務ナク又原告ハ被告ノ不在ナルニモ拘ハラズ營業時間後ニ之ヲ引渡スヲ得サリシト雖モ本件ノ場合ニ於テハ實際被告ハ在宅ニテ待テ居

タルヲ以テ引渡ハ正當時間ニ爲サレタルモノト謂ハサル可ラスト又判事アルダルトン氏ハ左ノ如ク云ヘリ「特別ノ習慣ナキ場合ニハ約束最終日ノ最終時間迄ニ引渡ヲ了スレハ充分トス此規則ニ對シ例外ト云フヘキハ唯引渡ニ時間ヲ要スル時ニハ最終時間前ニ其手續ヲ了スル様爲サ、ル可ラス但シ營業取引ノ場合ニ於テハ營業時間ニ之ヲ爲サ、ル可ラスシテ時間外ナル時ハ引渡ヲ爲シ得サル不幸アル可キモ本件ニテハ幸ニモ被告ハ在宅シテ實際引渡ヲ爲シ得タルモノナレハ被告ハ之ヲ受取ルノ義務アリト

○年小作廢棄ノ通知ハ六曆月前ニ通知スルヲ以テ正當ト爲ス尋常家内ノ雇人ニテハ一曆月前ノ通知ニテ充分トス然レモ雇人ノ性質ニ由リテ多少ノ差異アレハ一概ニ論シ難シ又國會議員押收ヲ免ルノ相當期限ハ二百年以來開閉會前後四十日ト定メラレタリ斯ル場合ニハ相當期限ノ問題ハ既ニ法律的下爲レルヲ以テ陪審役ノ判定ニ任スヘキモノニ非ス

○相當ノ熟練、相當ノ注意及ヒ重過失等ノ問題ハ通常陪審役ノ判定ニ任スモノトス例セハ醫家患者ヲ扱フニ不注意ナリシ場合及ヒ物品ノ無報酬受寄人ノ不注意ニ由テ物品ヲ紛失シタルカ如キ場合ニハ法律ニ於テ其程度ヲ定メ得ヘキニ非ス故ニ判定ヲ陪審役ニ一任シ裁判官ニ於テ毫モ之ニ干渉セサルナリ

或ル場合ニ於テ注意不注意ノ問題法律事務ニ關スルコトアリ例セハ執行吏令狀執行ニ不注

意アリトカ代言人訴務取扱ニ不注意アリシトカノ場合ニハ是等問題ヲ決スルニハ陪審役ヨリモ裁判官ヲ以テ却テ適當ト爲スヘキモ法律ハ矢張り陪審役ノ判定ニ任シ裁判官ハ相當ノ注意ヲ與フルニ止ムルモノトセリ

○善意、智識、惡意、希圖、相當ノ理由等ノ問題ハ陪審役ノ判定ニ任スヘキモノトス然レモ後編推測證據ノ時ニ至リ論スル如ク事實ヨリシテ法律上是等ノ事柄ヲ推測スルコトアリ斯ル場合ニハ推測ハ法律ノ問題ナルヲ以テ陪審役ヲ待タス裁判官之ヲ判決スヘシ若シ又陪審役ノ判定ニ委シタルモ陪審役ニ於テ裁判官ノ教示ヲ遵守スルヲ要ス又慣例、立法、等ヲ以テ是等ノ事柄ヲ裁判官ノ專權ニ歸シタルコトアリ

○高等裁判所ノ訴訟手續上ノ費用ハ法律ニ由テ裁判官ノ見込ニ一任セリ

○或通知ノ特權ヲ受クヘキモノナルト否トニ關シ疑問ヲ生スルコトアリ又特權ニモ完全特權ト不完全特權アリ依テ裁判官ト陪審役トノ職權ノ區別ハ以下ノ如シ陪審役ハ事實問題トシテ通知ノ善意ナリシヤ否ヤヲ判定ス若シ善意ト判定シタル時ハ通知ヲ公ケニシタル摸樣ハ惡意ノ推測ヲ生スヘキモノナリヤ否ヤヲ判決ス若シ又被告ニ於テ通知ノ特權ヲ濫用シタルノ疑アリテ事實上ノ惡意ヲ認ムヘキ場合ニハ總テ證據ヲ陪審役ノ判定ニ一任ス

○偽證罪ニ於テ偽證ニ係ル事實ノ重要ナリヤ否ヤノ問題ハ陪審役ノ決スヘキモノナルカ將

タ裁判官ノ決スヘキモノナルカ未タ判然セスト雖モ裁判官ノ判定ニ任スルヲ以テ穩當ト爲サヘル可ラス然レモ許可占有ノ問題、贈與ニ對スル管財人ノ承諾、馬匹ノ良否、證書ノ條件附ノ引渡、專賣權違反、等ノ問題ニテハ陪審役ノ判決ニ任スヘキモノトス但シ裁判官ニ於テ相當ノ教示ヲ爲スヘシ又詐欺條例ニヨリ物品ノ承諾アリタルヤノ問題、提供ノ條件付ナリヤ無條件ナリヤノ問題、ハ陪審役ノ決スヘキモノトス

○幼者ニ給與シタル物品ノ必要品ナルヤ否ヤノ問題ハ陪審役ノ決スヘキモノトス然レモ到底、物品其レ自身ニ於テ必要品ナルト不必要品ナルトハ裁判官之ヲ決ス場合ニ由リテ必要トモナリ不必要トモナルヘキモノハ陪審役之ヲ決ス即チ陪審役ノ判定ニ對シ裁判官ハ一般ノ規則ヲ以テ之ヲ監視セリ其規則三アリ

第一 幼者カ其父ヨリ受クル所ノ小遣錢ノ多少ヲ參考トスルヲ得ス

第二 物品ハ眞ニ必要ト認メ得ヘキモノニシテ何等ノ場合ニテモ必要ト認メ得ヘカラサルモノハ必要品ニアラス

第三 場合ニヨリ必要品ト認ムヘキモノハ幼者ノ位地身分ヲ參照シテ之ヲ決ス

○書類ノ解釋トハ法律裁判上ノ記錄、證書、尺牘其他一切書面ノ解釋ヲ包含ス而シテ證書解釋ノ權ハ裁判官ニ專屬ス但シ證書解釋ニ付附帶ノ事情アルカ又言語ノ意味ニ付穿鑿スヘキ

モノアル時ハ事實問題トシテ陪審役ニ決セシムヘキモ右等ヲ事實トシテ陪審役ノ判定ヲ經タル上ハ證書全般ノ解釋ハ裁判官ノ爲スヘキモノトス例セハ證書中ニ商業上ノ語アルカ、學術的ノ語アルカ之ヲ陪審役ニ判定セシメ然ル後全般ノ解釋ハ裁判官之ヲ爲スカ如シ

○尺牘ノ解釋ニ就テハ外部ノ證據ヲ用ヒサルモハ裁判官之ヲ爲シ若シ外部ノ證據ニ參照シテ解釋ヲ必要トスル時ハ外部證據ノ眞偽ヲ判定スル權アル陪審役之ヲ判定スルモノトス

○書類ノ解釋ハ以上ニ述ヘタル如ク裁判官ノ權ニ專屬スト雖モ刑事事件ニ在リテハ陪審役ノ判定ニ任ス例セハ或文書ハ誹謗罪ヲ構成スヘキヤ否ヤノ問題ノ如キ是ナリ

○外國ノ法律習慣ハ前ニ述ヘタル如ク裁判上認識セラレサルヲ以テ事實トシテ證明スルノ必要ヲ生ス而シテ此場合ニ於ケル裁判官ノ職權ト陪審役ノ職權トハ未タ判然セサルナリ法律ノ存在及ヒ結局ノ意義ハ專門證人ノ證言ニ因テ陪審役ノ決スヘキモノナレモ裁判官ハ第一ニ證人ノ適否ヲ判定シ第二ニ證人ノ用井ル參考書ノ許否ヲ定メ第三ニ爭點ニ對シテ法律ノ適否ヲ判定ス

然レモ總テ法律上ノ事柄ハ陪審役ノ判定ニ任スヨリハ裁判官ニ任スルヲ以テ適當ト爲サルハモノトス

○外國法律ニ由テ定メタル證據法ハ此國ニ於テ適用スルヲ得サルモノトス即チ證據法ハ場所ノ法律ニ從ハスシテ裁判所ノ法律ニ從フヘキモノトス

第四章 信ノ基礎

本章ヨリ證據ノ一般ノ性質及ヒ其原理ニ付觀察スヘシ

茲ニハ人ノ智識ノ本源ニ就テ論スルニ非ス大家ノ說ニヨレハ哲學上總テ吾人ノ智識ハ觀察及ヒ考察ノ二者ニ基因スルモノタルヲ知ル然レモ吾人一個人ノ有スル智識ハ自己自身ノ觀察及ヒ考察ニヨルモノハ誠ニ智識全般ノ一小部分タルニ過キス即チ吾人カ智識ナリトシテ満足シ及ヒ之ニ依テ行爲ヲ左右スル所ノモノハ他人ノ觀察ニ由テ得タルモノヲ利用スルニ外ナラス造物カ人ヲ生シタルハ其經驗ニ由テ事物ヲ信スヘキ性質ヲ賦與シタルナリ然ラサレハ社會ハ之ヲ治ムルヲ能ハス又之ヲ進歩セシムルヲ能ハスシテ永ク人ノ始メテ生シタル時代ト同一ノ有様ニ傳マルヘシ

之ニ反シ幼少ノ時ニハ吾人ノ聞ク所ノモノヲ輕信スルノ傾キアリ然レモ此ノ如クシテ吾人ハ他ノ方法ヲ以テ得ル能ハサルノ智識ヲ得ルモノニシテ即チ吾人ノ保護ニ必要ナル所ナリ斯ク他人ノ言ヲ信スル性質ハ人類ノ天性ナルヘシ之ヲ信ノ第一原因トス然レモ幾クナクシテ吾人ハ其聞キ得タル所ニ就テ眞實ナラサルモノアルヲ發見スヘシ即チ輕信ノ度ヲ減スヘ

シ第一欺カレタル格段ノ事柄ニ關シ第二我ヲ欺キタル人ニ關シ第三欺カル、度數ノ増スニ從ヒ一般人ノ言ヲ疑フニ至ル是ニ於テ乎經驗上規則ニヨリ他人ノ言ノ眞偽ヲ試驗スルノ必要ヲ感スチヤタム卿カ或ル席ニ於テ「信認ハ老人ノ胸中ニ容易ク生セサル植物ナリ」ト浩歎セリ實ニ卿ノ言ノ如ク吾人ハ他ノ方法ニ由テ智識ヲ得ルノ能力増加スルニ從ヒ他人ノ言說ヲ輕信スルノ天性ヲ減シテ正當ナル信認ヲ爲スノ方法ヲ得ルモノナリ

去リ乍ラ人生何レノ時ニテモ又人智ノ何レノ程度ニ在リテモ他人ノ言ヲ疑フヨリモ寧ロ之ヲ信スルノ傾キアルモノナリ此性質ハ吾人天性ノ本源ニシテ造物カ吾人ニ賦與シタルモノナリ是レ即チ總テ證據ノ基礎ヲ爲スモノナリ

○以上ノ第一原則ニ續キテ證據ノ基礎タルヘキ第二ノ原則ハ吾人カ經驗ニ由テ慥メラレタル人證ニ付與スヘキ信認トス即チ智能アル人カ宣誓ノ上爲シタル陳述ハ經驗上信認スヘキモノナリ但シ其人ヤ觀察ノ能力及ヒ機會ヲ有シ眞實ヲ枉クヘキ情慾若クハ利害ノ關係ナキ者タルヘシ而シ其人ニシテ正直ナルノ風聞アリテ其陳述ニ反對ノ證言ナク且ツ其眞實ナルヲ補翼スヘキ傍證アルモ更ニ一層吾人ノ信認ヲ増加スヘシ

○事實裁判所ノ審問手續ハ通常急速ヲ要スルモノナルカ故ニ證人ノ性質即チ其人ト爲リノ正直ナルモノト否ト及ヒ證人ハ利害ノ關係等ヲ有スルヤ否ヤヲ慥ムルヲ殆ント爲ス可ラ

サルヲナレト充分ニ取調ヲ爲スノ熟練ヲ得タル時ハ事件ニ對スル眞實ヲ知ル又敢テ難キニ
アラス而シテ證人ノ容貌、態度、口氣、ハ充分ノ注意ヲ以テ之ヲ觀察スルヲ要ス眞實ヲ陳述スル
證人ノ口氣ハ自然ト輕快詳密ニシテ發語ニ苦勞ナシ之ニ反シ陪審役ヲ欺カントスルノ證言
ハ何トナク作爲、謹慎、不明ノ情アリ

若シ證人ニシテ事件ニ熱心ノ模様アルカ事柄ヲ過大ニスルノ傾キアルカ陳述ヲ拒ミ若クハ
未タ問アラサルニ答ヲナシ反證ノ出ツヘキ恐アル事實ヲ忘却シ證明ノ難キ事實ヲ詳細ニ陳
述シ故意ニ正面ノ答ヲ避ケ或ハ發問ヲ聞クヲ得サリキ爲ネシテ答辯ノ猶豫ヲ儉ミ故ラニ無
關係ノ情ヲ裝フモノハ其證言ノ多少疑フヘキヲタルヲ知ルヘシ之ニ反シ眞實ヲ陳述スル證
人ハ態度沈着輕快ニシテ自然ノ風態ヲ存シ前述ノ如キ諸般ノ狀況アル可ラス

○以上ニ述ヘタルカ如キ驗眞ノ法則ノ外ニ猶證人ノ種族ニヨリ其陳述ヲ取捨セサル可ラス
或人ノ說ニ壓制ノ治下ニ棲息セル人民ハ多少詐言ヲ吐露スルノ傾キアルモノナリ各種ノ專
制ニ慣レ詐言ヲ吐クコトハ殆ント偶發ノ刑罰ヲ免ル、ノ唯一手段トナレリト此言眞ニ然リ印
度ノ人民ノ如キ愛爾蘭ノ農民ノ如キハ幾分カ斯ル傾キアルモノナリ

○事實ヲ過大ニスルノ弊ハ通常不思議ヲ欲スルノ天性ヨリ出ツル者ニシテ此弊最モ女性ニ
多シ故ニ智者ハ通常婦人ノ證言ヲ採用スルニ注意スルモノナリ

童ニ婦人ノミナラス思慮淺キ人ハ故ラニ惡意ヲ挾マサルモ事實ニ想像ヲ交ヘ正確ノ陳述ヲ
爲スモノ鮮シ苟モ此點ヲ注意スレハ他ノ諸點ニ於テハ婦人ノ陳述モ男子ト同様ノ價值アル
モノナリ童ニ同様ノ價值アルノミナラス場合ニヨリテハ一層有用ナル證言トナル實ニ婦人
ハ男子ヨリモ觀察力細カク且其記憶力モ男子ノ如ク世務ニ煩雜ナラサル爲メ永久ニ存續シ
又辯舌輕快ニシテ一段ノ價值アリ

○ブラツクストーン氏ノ說ニ大人ノ陳述ヨリモ小兒ノ陳述ハ信シ難シト云ヘリ然レモ理論
經驗ハ其說ニ反對セリ小兒ハ觀察力記憶力共ニ概シテ大人ヨリモ強ク而シテ虛偽ヲ陳述ス
ヘキ私心少ナク且ツ弱シ無經驗ト思慮ノ淺キコトハ小兒ノ常體ナレハ假令ヒ偽證ヲ爲スコ
アルモ巧ニ之ヲ維持スルコト能ハスシテ推問ノ力ニヨリ抵觸ヲ來スヘシ之ニ反シ大人ノ偽證
ニハ抵觸ヲ避クルノ思慮アリ小兒ハ眞率ナルモノナレハ假令ヒ偽言ヲ吐クモ直ニ之ヲ發覺
スルコト容易ナリ而シテ眞實ノ陳述ヲ爲スルハ修飾ナク直言スルヲ以テ大人眞實ノ陳述ヲ爲
ス場合ニテモ猶ホ多少ノ修飾ノ爲ニ不審ヲ來スカ如キ恐ナシ

○外國人及ヒ外國ニ居住スル者ノ陳述ハ審問ノ地ヲ距ル遠方ヨリ來ルヲ以テ之ヲ注意スル
コト最モ必要トス何トナレハ斯ルモノハ假令ヒ偽證ヲナスモ郷黨ノ名譽ニ關係ナク又偽證ノ
發覺スルアルモ概テ刑罰ヲ免ル、モノナレハナリ

不正ナル外人ニシテ能ク國語ニ通セルモノハ最モ注意セサル可ラス何トナレハ外國人ナルカ故國語ニ通セサルノ故ヲ以テ通辯ヲ使用シ通譯ノ際充分己ノ答辯ヲ用意スルノ暇アレハナリ

○警察官其他犯罪ノ鎮壓發見ニ從事スル官吏ノ證言ハ注意ヲ要スヘキモノナリ何トナレハ是等ノ人ハ敢テ故意ニ事實ヲ枉クルニハ非レ其職務上ノ熱心ニ加フルニ平生惡徒ト近接セルモノナレハ自然ト人性ヲ醜惡ノ方向ニ觀察シ虚心平氣ヲ以テスレハ一向ニ犯罪ニ關係ナキ事實言辭迄モ何歟犯罪ニ關係アル如クニ解釋スルノ弊アリ「無罪ノ證明アル迄ハ何人モ犯罪者タル可シ」ト、格言ハ警吏間自然ニ行ハル、モノナレ其法廷ニ行ハル可ラサルノ格言タリ苟モ此點ニ注意セハ警吏ノ證言ハ通常ノ確信ヲ置クヘキモノナリ而シテ苟モ相當ノ事情アリテ不公平ノ恐レアラサル以上ハ其證言ノ正當ニシテ信ヲ置クヘキモノタルヲ社會上流ノ地位ヲ占ムル縉紳ニ劣ルモノニアラス

○大凡ソ最モ信ス可ラサルモノハ審廷ニ場慣レタル證人ノ陳述トス是等ノ人々ハ通常事實ニ付陳述ヲ要メラル、ニ非スシテ其説ヲ聞カル、モノナリ而シテ斯ル場合ニ於テハ證人ノ召喚ヲ求メタル對手人ノ望ミタル利益ニ應スヘキ意見ヲ述フルヲハ殆ント驚ク可キモノアリ假令ヒ故意ニ事實ヲ枉ケサルモ多クハ訴訟人ノ一方ノ爲ニ先入主トナリテ公平ノ説ヲ述

フルヲ少シ故ニ其者ノ陳述ハ多クハ實際斯クアリタリト云フニ非スシテ斯クアラサル可ラストノ事ヲ述ル多シカムペル卿ノ言ニヨレハ「場慣レタル證人ノ陳述ハ何等ノ重ミヲ置ク可キモノニ非スト」此言眞ニ然リ

○證據ニ信ヲ置ク可キ第二ノ理由ハ數多證人ノ證言ノ一致セル點ニ付取捨判斷ノ能力ヲ行フヨリ生ス

證言ノ一致ニシテ若シ證人間ニ豫メ通謀シタルカ又ハ申合セタル證跡ナキ時ハ右等證人ノ證言ハ信ヲ置クニ足ルヘキモノトス若シ證言ノ一致數多證人ノ通謀ニ出タルキハ反問ノ方法ヲ以テ抵觸ヲ來サシメ其情ヲ探リ得ルヲ敢テ難キニ非ス若シ證人間ニ申合セナク又證人ヲ欺キタルノ證跡ナキ時ハ數多證人證言ノ一致ハ各證人カ獨立ニナシタル證言ノ眞正ナルヲ假定スルニ非レハ他ニ其理由アルヲ見ス數多證人ハ各詐僞ノ陳述ヲ爲スモノトスルモ偶然同一ノ方角ニ詐欺ヲ爲シ互相證人間ニ陳述ノ一致ヲ來スヲハ實際上殆ントアリ得ヘカラサルヲナリ故ニ證人間ニ通謀ノ證跡ナキ時ハ證言ノ一致ハ事實ノ眞實ヲ證明スルモノナリ

○或事件ニ於テ判事マンズフ井ルド卿ハ左ノ如ク言ヘリ「ケンブル及ヒフリーマンノ兩判決集ハ信ヲ措クニ足ラサルノ書物ナリト云フモ若シ兩判決集ノ編纂者ノ編纂スル所ニシテ大

體ニ於テ同様ノ事ヲ記載セルナラハ其事項ハ信ヲ措クニ足ル可キモノトス然ラサレハ一致スル理由ナカル可シト」

以上マンスフ井ルド卿ノ言辭中大體ニ於テノ一句頗ル肝要ナリ何トナレハ一言一句モ異ナル所ナク符合スル時ハ是レ却テ通謀アリタルノ證據トナルヘシ何トナレハ申合ナキ時ハ數多證人ノ言辭ハ大體ニ於テ同シキモ言句ノ間多少ノ差異アル可キ筈ナレハナリ

パレー博士耶蘇教ノ證據ニ付此事ヲ快論セリ其言ニ曰ク「人證ノ普通ノ性質ハ情況ノ變化アルニモ拘ラス大體ニ於テ眞實ナルニ在リ此事屢々訟廷ニ顯ハル、所ニシテ若シ數多ノ證人眞實ヲ吐露スルモ其間ニ多少ノ異同抵觸アルモノナリ反對ノ辯論者ハ是等ノ異同抵觸ヲ我利益ニ解釋セント務ムレモ多クハ裁判官ノ心證ヲ動カスニ足ラス之ニ反シ數多證人ノ證言些細ノ事柄ニ至ル迄符節ヲ合スルカ如ク同一ニ出ル時ハ是ソ即チ證人間ニ詐欺通謀ノアリタリトノ疑念ヲ生スルニ足ルト」

以上最終ノ注意ハ若シ證言セラレタル事實他人ノ談話些細ナル事柄ノ存否ニ係リ且ツ歲月ヲ經タル後ナル時ハ最モ誤リナク適用セラル、モノナリ

○第四ニ他人ノ證言ニヨリ事實ノ眞實ヲ得ルニハ吾人ハ既ニ知り得タルカ又ハ既ニ信スル所ノ事實ト符合スルヤ否ヤニ因リテ大ニ影響セラル、モノナリ是レ所謂「或ハ然ラン」ト名

ケラル、モノナリ斯ク「或ハ然ラン」トセラル、所ノ陳述ハ吾人カ兼テ信スル所ノモノニ反對スル所ノ事實ヲ信用セシムルヨリモ少許ノ證據ヲ以テ満足スヘシ然レモ斯ク容易ク信セラル、證據ハ大ニ注意ヲ要ス可キモノナリ

輕信ハ薄弱ナル精神ノ免レサル所ニシテ薄弱ナル精神ヲ有スル人ハ自カラ思慮シ自カラ考察スル所ナキヲ以テ容易ク他人ノ言ヲ信スルナリ之ニ反シ疑念深キ人ハ自己自身ノ智識觀察ノミヲ信シ其他ノ事柄ニ對シテハ漫ニ疑ヲ懷クト雖モ是等ハ自己ノ智官ノ時アリテ誤マラル、コアルヲ知ラサル極端ノ弊害ニ陥リタルモノナリ

懷疑學派ノ哲學者ト雖モ人性ノ自然ニ反スルヲ得スシテ矢張り智識ノ大部分ハ他人ノ證言ニヨリ得ルモノナリ是等ハ自己ノ經驗ニ反スルコアルモ亦自己ノ哲理ニ反スルコアルモ却テ之ヲ信セリ例ヘハ懷疑哲學家ト雖モ古代ノ事跡ニ就テハ歴史家ノ言ヲ信シ物理ニ關シテハ物理學者ノ言ヲ信シ天文ノ事ニ就テハ星學者ノ說ヲ信スルカ如シヒュームノ如ク自己自身ノ確實ナル經驗ノ外ハ信スルニ足ラスト爲セルニ却テ是等ヲ信スルハ何ソヤ

○然レモ是等懷疑ノ說ニ惑溺セル人ハ獨リ哲學者ノミニ非ス諸種ノ人種中ニ在リテ此類ノ人笑フヘキ誤ヲ傳フルコト少ナシトセス例ヘハ和蘭公使カ暹羅ノ王ニ告クルニ其國ニ在リテハ水ノ氷結スルコアルヲ告ケシニ王之ヲ信セサリシ何トナレハ暹羅ノ如キ暖國ニ在リテハ

終歲氷アルナク和蘭使臣ノ言ハ全ク王ノ經驗ニ反シタレハナリ又一千八百廿五年ニ鐵道大
家ゾヨ―ジスチーブンソンガ英國國會委員會ノ前ニ於テ一時間ニ十二英里ヲ馳ス可キ鐵道
旅行ノ事ヲ談シタル時ニ一人ノ之ヲ信スルモノナカリシ斯ノ如キ例ハ一々之ヲ枚擧スルニ
暇アラス而シテ讀者ハ是等ノ例ニ由テ左ノ如キ考案ヲ得ルナル可シ

第一 吾人ノ限アル智識ハ動モスレハ吾人ノ經驗ニ反對ナル事實ヲ信セシメサルヲ

第二 智識ノ發達ハ吾人カ既知ノ事實ニ困セラル、モノニ非スシテ吾人ノ有スル少量ノ
智識ニ束縛セラル、トナク新ナル真理ノ開發ヲ爲スモノナルヲ

故ニア―キミジ―スノ如キ學者ハ前世紀ノ英人カ信スル能ハサリシ鐵道談モ或ハ之ヲ信セ
シナラン

○證據ノ第五ノ基礎ハ既ニ證明セラレタル諸般ノ傍證即チ情況證據ト爭ニ係ル事實トノ間
ニ存スル既知ノ關係トス是レ即チ物理學ニ於テ既知ノ顯象ト未知ノ顯象トノ一致ニ由テ生
スル立證ノ方法ヲ法律ニ適用シタルニ過キス右ノ如キ關係ハ物質的タルヲアリ又無形的タ
ルヲアリ例ヘハ竊盜ニ係ル物品ヲ時間及ヒ場所ノ隔ツルナクシテ之ヲ有スル者アリテ而シ
テ其所持ノ理由ヲ明示スル能ハサル時ハ必然ト云フ可ラサルモ其者ハ多分竊盜シタル可シ
トノ推測ヲ起スヘシ然レモ場所ヲ隔テ時間ノ經過シタル後ナル時ハ相當ノ方法ヲ以テ其物

品ヲ得タルモノト推測ス可キ理由ヲ生ス可ケレハ其者ヲ犯者ナリト推測スルヲ得サル可シ
○之ヲ要スルニ人世ノ出來事ニ於テ諸般ノ事柄ハ皆因果ノ關係ヲ有スルモノニシテ彼因ア
リテ此果アリ而シテ此果更ニ又他ノ果ヲ生スルノ因トナル故ニ巧ニ構造ノ事實ヲ作爲スル
モ左右ノ模様前後ノ事情ト對照スル時ハ捏造ノ事實ハ到底看破セラル、モノナリ故ニ經驗
ヲ積ミ練磨ヲ經テ人世ノ事情ニ明通シタル人ハ透鏡モ宙ナラサル明鑑ヲ以テ百偽中ニ眞理
ヲ發見シ殆ント證人ノ性質如何ニ拘ハラサル如キ先天ニ近キ熟達ヲ得ヘシ故ニ閱歷アル裁
判官ハ陪審役ノ欺罔セラル、如キ巧ナル證言ト雖モ容易ニ之ヲ看破ス此ノ如キ場合ニ於テ
ハ臆隨ハ一ノ新官ヲ得タルカ如ク見ユルモ其實ハ唯經驗ト觀察ノ二者ヨリ生スルノミ

○事實ノ審問ニ於テハ「爭點事實」ハ其事實ノ存在シタルヲ現實知得セル者ノ直接ノ證言
ニヨルカ又ハ之ヲ推測ス可キ數多ノ情況證ニヨルカノ二者ニ出テス前者ノ場合ニハ立證ノ
方法ハ前ニ述タル第二第三第四ノ證據ノ基礎ニヨルモノトス即チ之ヲ換言セハ經驗ニ由テ
髓メラレタル信スヘキ人證——該人證ハ證人ノ誠偽觀察力ノ確不確ニヨリ輕重セラル——
及ヒ諸種ノ異ナリタル證言ノ異同——此場合ニ於テハ證人ノ數及ヒ通謀ノ有無ニ由テ輕重
セラル——若クハ證言ノ經驗ト符合セルヤ否ヤニ由ルモノトス

後者ノ場合ニ於テハ——即チ爭ノ事實數多ノ情況ヨリ推測セラル、——場合立證ノ方法ハ前

ニ述タル諸基礎ト之ニ加フルニ争點ニ係ル事實ト傍證トノ間ニ存スル經驗上ノ關係ヨリ生
 ス是レ即チ前ニ述ヘタル證據ノ第五ノ基礎トス以上兩者ノ場合ニ於テハ證明ハ何レモ直接
 ニ立證セラレタルモノトス前者ノ場合ニ在リテハ立證ハ直ニ「争點ノ事實」ニ適應シ其間ニ
 介在スルモノナシ故ニ稱シテ「直接證據」若クハ「積極證據」ト稱ス後者ノ場合ニ於テハ立證ハ
 數多ノ間接事實ニ適應シ該間接事實ハ争點ノ事實ト多少ノ關係ヲ有スルモノナルカ故ニ「情
 況證據」ト稱ス時ニ或ハ「推測證據」ト稱スレハ確實ノ名稱ニアラス例セハ甲者乙者ニ死傷ヲ
 負ハシタルヲ目撃シタリト證言スル者アランカ是レ直接證據ナリ而シテ該證人ヲ信スヘキ
 モノト爲ス時ハ犯罪ハ立證セラレタルモノトス

若シ證人ニシテ或人ノ短銃ヲ以テ射殺セラレタルヲ及ヒ被告人ナリトシテ嫌疑ヲ蒙レル者
 ノ懷中ニ存セル手紙ノ殘餘ト銃塞ニ用ヒタル反古紙ト同一尺牘ノ一部ナルヲ證明シタル
 時ハ事實ノ證明ハ直接ナルモ該證據ヲ目シテ情況證據ト云フ何トナレハ被告人以上ノ事實
 ニ對シテ辯解ヲ爲ス能ハサル時ニ陪審役ハ以上ノ如キ事實ト被告人有罪ノ事實トノ自然ノ
 關係ヲ察シ或ハ被告ヲ有罪トシ或ハ之ヲ無罪トスルノ推測ヲ爲スヘケレハナリ
 以上何レノ場合ト雖モ皆證言ハ眞實ナルモノト假定シタルノ論ナリ然レモ後者ノ場合ニ在
 テハ對手人ノ有罪ナルヲト立證セラレタル事實トノ間ニ普通存在スル所ノ關係ニ由テ推測

ヲナスヲ要ス即チ後者ノ場合ニ在テハ前者ノ場合ヨリモ精神ノ作用錯綜セルヲ以テ推測證
 據ノ名稱ヲ生シタレモ其實ハ區別アルニ非ス

○直接及ヒ情況證據ノ價值ヲ比較シテ論述セル書物少ナシトセス然レモ是等ハ證據ノ性質
 及ヒ目的ヲ誤解セルヨリ生セシモノナレハ多クハ實益ナキヲ以テ茲ニハ之ヲ省略ス

「證人ハ人ヲ欺クヘシ情況ハ欺クヲ得ス」トハ屢々裁判官ノ口ヨリ出テタル言辭ナレモ斯ル
 甚シキ誤解ハアラサルナリ若シ「情況」ニシテ争點ニ係ル事實ヲ推測スヘキ諸般ノ事實ヲ意
 味ス可キモノトナサンカ——但シ他ノ意義ヲ有スルヲ得ス——是等ノ事實ハ能ク人ヲ欺ク
 モノナリ而シテ是等ヨリ推測セラレタル判斷ハ屢々虛妄ナルヲ見ル古昔譚ニセントポール
 ナル人、手ニ數多ノ蛇ヲ握レルヲ見テ土地ノ野蠻人ハ互ニ相語テ曰ク此者必ス兇惡、人ヲ殺
 スモノナラント而シ其者何等ノ害ヲ爲サ、ルヲ見テ又曰ク彼レ必ス神ナラント是等野蠻人
 ノ判斷ノ二者共ニ誤レルハ辯ヲ待タス

人或ハ言ハンは是等ハ輕卒ナル判斷ノ人ヲ誤リタル場合ニシテ適以テ其人ノ愚ヲ示スニ足
 ル可キモノナリト然ラハ則チ情況ハ欺クヲ得ストノ言辭ハ到底虛妄タルヲ免レス加之ナラ
 ス情況ハ他ノ事實ト同様ニ證人ニ因テ立證セラル、ヲ要ス可シ而シテ是等證人ハ人ヲ欺キ
 或ハ自ラ欺カル、ヲアルヘシ是ニ由テ之ヲ觀レハ何等ノ意義ヲ以テスルニ論ナク情況ヨリ

推測セラレタル判斷ハ必ス正當ナリトノ格言ハ到底理由ナキモノナリ

○直接證據ト情況證據トノ價值ヲ比較スルニ非レハ陪審役ノ爲メ多少ノ注意ヲ爲スハ敢テ無益ノ言ニ非ルヘシ設令ハ直接證據ヲ以テ立證セラル、場合ニハ證人ノ數ハ通常僅少ナレハ從テ容易ク通謀ヲ爲スヲ得ヘク又被告人ニ對シテ惡意等ヲ有スルコアリ而シテ證言スヘキ事實簡單ナルヲ以テ通謀スルニ易ク且ツ記憶シ易キカ故ニ反問ノ方法ヲ以テ之ヲ抵觸セシムルヲ難シ是レ重キ犯罪ニ對シテハ一人ノ證言ハ容易ニ採酌ス可カラスシテ其者惡キ評判アルカ或ハ裁判ノ結果ニ關係ヲ有スル時ハ取テ以テ有罪ノ資料ト爲スヲ得サル所以ナリ

○情況證據ニ由テ證明セラル、場合ニハ證人ノ數、多ク通謀ノ恐レ少ナク又通謀アルモ之ヲ發見スルニ易シト雖ヒ斯ル場合ニハ證人惡意ナクシテ眞實ト違フタル陳述ヲ爲スコアリ是等證人ハ通常些細ナル事實ヲ陳述スルモノニシテ日時、場所、足跡、筆跡、談話、等ハ最モ注意深キ證人ト雖ヒ往々精確ノ陳述ヲ爲サ、ルモノナリ然レハ是等些細ナル事實ハ何レモ裁判ニ必要ナル資料ナリ是等ノ資料ヲ序次シ照應シ始メテ眞正ノ事實ヲ得ルモノナレハ過ヲ避クルニハ非常ノ注意ヲ要スルコト論ヲ待タサルナリ

茲ニ或一人、或犯罪ニ付キ嫌疑ヲ蒙ルト假定ス可シ警察官吏ハ直ニ其者ノ行狀ヲ搜查シ其者ノ書類其者ノ談話ヲ注意シ有罪ノ眼ヲ以テ之ヲ見ルハ先入主ト爲リテ動モスレハ無關

係ノ行爲、談話ヲ有罪ノ事實ナリト誤ルコアリ加之ナラス一旦有罪者ナリトシテ拘留シタル場合ニハ之ヲ放ツハ恰モ職務上ノ失策ノ如ク思量シ銃獵者カ狙ヒ定メタル野禽ヲ逸シタルト一般其胸中ニ遺憾ノ念ヲ懷クヲ以テ往々不穩當ノ推測ヲ爲スコアリ是獨リ警察官吏ニ向テ言フニ非ス苟モ専門ノ職業アル者ハ學者ニセヨ軍人ニセヨ職務ニ熱心ナルノ餘知ラス識ラス陷ル所ノ弊害ナリ

○證人ノ陳述シタル事實ハ總テ眞實ニシテ立證セラレタルモノトスルモ猶ホ事實裁判官ニ最モ注意ス可キ義務アリ即チ右等ノ事實ハ犯罪ノ事實ヲ推定スルニ足ル可キモノナリヤ或ハ又他ノ正當ナル所爲ト見做ス可キ事實ヲ推測シ得ルヤ否ヤヲ判定セサル可ラス若シ或情況事實ニシテ幾分ノ有罪ヲ推測シ得ヘント雖ヒ同時ニ無罪ノ推測ヲ爲シ得ヘキ時ハ決シテ有罪ノ證據充分ナリト爲ス可ラス

第五章 推測證據

推測證據ハ之ヲ二大綱目ニ區別ス法律ノ推測事實ノ推測即チ是ナリ法律ノ推測トハ或場合ニ於テ事實ノ穿鑿ヲ禁シ若クハ必要トセサルコトヲ定ムル法律規則ナリ是等ハ正義ノ原理自然ノ通則人事ノ常態ニ由リ定メラレタルモノナリ故ニ推測證據ノ原理ハ敢テ國法ニ限リタルモノニ非ス他ノ學藝ニモ普通ノモノタリ例ヘハ兇器ヲ以テ故意二人ノ急所ニ傷ケタルモ

ノハ殺意アルヲ推測シ蹊アル動物ヲ見タルキハ水中ニ住ムモノナルヲ推測スルカ如シ
即チ一ノ事實證明セラル、キハ必然之ニ隨伴スル他ノ事實ハ自カラ之ヲ推測スルヲ得ヘシ
此ノ如ク必然争ヲ可ラサル關係ハ他ノ證據ナキモ法律ハ其推測ヲ許スモノトス然レモ經驗
ノ充分ナルト不充分ナルトニ由テ確信ス可キモノト否トノ別アリ是即チ法律上確定推測不
確定推測ノ區別ヲ生スル所以ナリ

○確定推測或ハ完全推測ト稱スルモノハ反證ヲ許サ、ルモノナリ是等ハ多年經驗セラレタ
ル結果ニ由テ公共ノ利益ノ爲メ反證ヲ許サ、ルヲ便利ト爲スニ由ル

○時トシテハ是等確定推測ヲ立法官ニ於テ明文ヲ以テ定ムルヲアリ例セハ一千八百六十九
年ノ破産條例ニ和談仲裁ノ協議ヲ債主間ニ議決シ登記ヲ經タル時ハ登記ノ事實ニ反對スル
ヲ得スト規定シ(詐欺アル時ハ例外トス)又一千八百七十年ノ印紙規則ニ於テブリタニヤ合
衆王國外ニ於テ振出サレタリト爲セル爲替及約束手形ハ其事實内國ニ於テ振出サレタルモ
ノナルモ反證ヲ舉クルヲ許サ、ルカ如シ

○出訴期限ノ法律ニ由リ尋常契約ノ負債ハ六ケ年ヲ經過シタル時ハ負債ノ償却セラレタル
モノト推測ス其他此類ノ法例頗ル多シ而シテ是等法律ハ推測ノ原理ニ出テタルモノナリヤ
又ハ他ニ理由アリテ然ルヤハ一々其明文ニ就テ觀察ヲ下サ、ル可ラス確答ス可ラスト雖モ

要スルニ其多數ハ推測法ニ出テタルヤ疑ナシフランケツ卿ノ演說中ニ左ノ語アリ「時ハ所
有權ノ證據ヲ湮滅ス故ニ法律ハ時ノ經過ヲ以テ證據ニ充ツルハ蓋シ智者ノ謀ナリ」ト

○以上ノ如キ推測ハ司法官ノ判決ニ由テ國法トナレルモノナリ而シテ其効力ハ明文ヲ以テ
定メタルモノニ同シ例セハ十四歳以上ノ瘋癲白痴ニ非ル人ハ總テ國家ノ法律ヲ知ルモノト
推測ス而シテ外國人其本國ノ法律ニ由リ罰セサル事實モ猶國家ノ法律ヲ以テ罰ス瘋癲白痴
ニ非ル人ハ自己ノ所爲ヨリ生スル自然ノ結果ヲ知ルモノト推測ス故ニ故意ニ兇器ヲ用ヒタ
ル者ハ殺意アル者ト推測シ他人ノ水車ニ放火シタル者ハ之ヲ滅盡スルノ意思アリタルモノ
ナルヲ推測スルカ如シ

○以上ノ原則ニ反對セルカ如キ判決例ナキニ非ス然レモ是等ハ被告人ノ真正ノ意思ヲ知ル
ト必要ナル場合ニシテ即チ陪審役ニ放任シテ事實ノ判決ヲ爲サシメタル場合ナリ

○對手人ハ自己ノ所爲ノ自然ノ結果ヲ希圖シタルモノナリトノ推測ハ民事事件ニモ適用セ
ラル、モノトス例セハ他人ノ名譽ヲ害スヘキ文書ヲ刊行シ其事實ノ有無ヲ知ラサル時ハ法
律ハ惡意アルモノト推測ス又故意ニ不實ノ陳述ヲ爲シ他人ニ損害ヲ負ハシメタル時ハ眞意
ノ如何ヲ問ハス法律ハ惡意アルモノト推測ス又訴訟ノ被告人故意ニ法律ニ定メタル期限内
ニ答辯ヲ爲サ、ル時ハ原告ノ訴權ヲ認メタルモノト推測ス

○裁判手續ニ關シテモ確定推測ヲ生スルコトアリ例セハ明ニ外面ニ顯ハレタル事實アルニ非レハ上等裁判所ハ訴訟事件ニ對シテ管轄權ヲ有シタルモノト推測ス又國會ノ上院及ヒ下院ノ事務ハ其管轄内ニ於テ爲シタルモノト推測ス而シテ上等裁判所ノ爲シタル呼出狀ノ如キハ其文面ニ於テ不法ノ廉ナキ以上ハ正當ナルモノト推測ス而シテ裁判所ノ令狀ヲ執行シタル場合ハ令狀ノ無効ナル場合ニテモ猶責任ヲ負フコトナシ是等推測中ニハ隨分極端ニ奔レルモノ無キニ非ルモ全體ヨリ論スレハ相當ナルモノナル可シ

○裁判所ハ外國若クハ殖民地裁判所ノ裁判ヲ正當ナルモノトノ不確定推測ヲナス何トナレハ斯ル推測ヲ爲スニ非レハ原裁判ヲ訂正スルノ權力ナキ控訴裁判所ノ如キ有様ニ陷ルヘケレハナリ裁判所ノ記録ハ總テ正當ニ爲サレタルモノト推測ス又其書類ハ正當ニ記載セラレタルモノト推測ス

○法律ハ古證文古遺囑ヲ正當ニ作爲セラレタルモノト推測ス即チ右等ノ證書ニシテ三十年以上ヲ經過シタルモノナル時ハ立合人等ハ悉ク死亡シタルモノト推測シ之ヲ呼出スコトヲ用ヒス但シ是等ハ確定推測ニ非ルヲ以テ反證ヲ舉グルコトヲ得而シテ正當作爲ノ推測ヲ生スルニハ證書面ニ變更増減ナク法律ニ於テ確實ナル場所ニ保存セラレタルモノト見做シ得ヘキモノナルヲ要ス(作爲トハ證書ノ真正ニ成立シタルコトヲ云フモノナレハ證書中記載ノ事柄ハ

反證ヲ以テ其正偽ヲ爭フヲ得ヘシ)

○獨リ證書遺囑ノミナラス尺牘帳簿及ヒ其他ノ書類ニシテ果シテ三十年以上ノモノナル時ハ其保存セラレタル場所ノ正確ナル時ニ限り筆跡鑑定等ヲ用ヒス正當ナルモノト推測ス

○禁反言ノ推測ト同種類ニ屬スルモノナル可シ人アリ或事ヲ爲シ又ハ他人ヲシテ或事ヲ爲サシメタル時ハ後日ニ至リ之ニ反對シ若クハ之ヲ取消スコトヲ得ス禁反言ノ規則ハ動モスレハ不公平ノ結果ヲ生ス可シトハ往々人ノ唱フル所ナレハ決シテ然ラスシテ是即チ吾人ニ眞實ヲ陳述シ眞實ノ行爲ヲ爲サシムル義務アルコトヲ強ユルモノニシテ法律ノ政畧ト云フモ可ナリ

○禁反言ハ啻ニ自己ノ行爲言辭ニ對シテ功アルノミナラス自己ノ承權者タル場合ニ於テハ原權者ノ行爲言辭ニ對シテモ束縛セラル、モノトス

○禁反言ヲ三種ニ區別ス(一)裁判言渡ニヨルモノ(二)證書ニヨルモノ(三)行爲ニヨルモノ是ナリ裁判言渡及ヒ證書ニヨル禁反言ト雖モ權利者之ニ由ラスシテ他ノ理由ヲ以テ答辯シタルトハ反對々手ニ對スル禁反言ノ効力ヲ放棄シタルモノト見做ス

○甲ノ資格ニ於テ爲シタル禁反言ハ假令ヒ同一人ナルモ其人ノ乙ノ資格ナル場合ハ其効力無キコトアリ

○捺印證書ニ係ル禁反言ニ就テハ證書記載ノ事柄ニ付悉ク皆禁反言ノ効アルニ非ス即チ證書ノ主タル事柄ニ關シテハ禁反言ノ効アリト雖モ他ノ些細ナル事柄ニ就テハ其効ナシ例ヘハ證書ノ日附ノ如キハ反證ヲ以テ打破スルコトヲ得ルモノナリ又地所ノ引渡賣買等ニ就テハ地味説明ノ文章ノ如キハ之ヲ翻意スルコトヲ許セリ然レモ代價ノ授受ノ既濟ナリヤ未濟ナリヤノ如キ重要ナル事柄ハ禁反言ノ効ヲ有ス米國法律ニヨレハ代價授受ニ關スル記載ハ不確定推測ヲ生スルノミトセリ

○禁反言ノ効力ニ就テハ其効力ノ及フ範圍ヲ注意スルヲ要ス禁反言ハ互相ノ効力ヲ有スルモノニシテ一方ノ對手ニ關シ効力アル時ハ必ス他ノ對手ニモ効力アリ然レモ第三者ハ更ニ權利義務ノ影響ヲ蒙ルモノニ非ス例ヘハ一人ノ家屋賃借人、或破産者ノ管財人ヨリ完全所有權アリトセラレタル地所ヲ捺印證書ニ由テ賃借シタル場合ニ破産者ノ妻、該地所ニ對シ訴ヲ起シタルモ其事實ヲ證明シ完全所有權ニ非ルノ立證ヲ許シタリ

○行爲上ノ禁反言ノ最モ普通ナル場合ハ地所家屋ノ借人ハ貸主ニ對シテ其所有權ヲ爭フコトヲ得サル是ナリ故ニ貸主ニ於テ地所家屋ノ明渡ヲ訴フルコトアルモ借人ハ貸主ノ所有權ヲ抗爭スルヲ得サルモノトス何トナレハ家屋ヲ借受ケタル事實其レ自身ハ貸主ニ所有權アルコトヲ認メタルモノナレハナリ若シ錯誤其他相當ノ理由アリテ所有權ヲ爭フコトヲ得ル場合ニテ

モ一旦ハ家屋ヲ明渡シ更ニ自己ノ權利ヲ伸張スル爲メ訴訟ヲ提起スルコトヲ要ス

○以上ノ場合ニ於テ借人ハ貸主ノ權利ヲ爭フコトヲ得スト雖モ是只貸借ノ時ニ當リテ貸主ニ所有權ナキコトヲ得スト云フニ過キス故ニ其日時前ニ在リテ貸主ニ所有權ナキコトノ事實ハ之ヲ證明スルコトヲ得ヘシ又貸借ノアリタル日時以後ニ於テ貸主所有權ヲ失フタルノ事實アル時ハ無論之ヲ證明スルコトヲ得ヘシ例ヘハ貸主ノ所有權他人ノ生命間繼續スルモノニシテ借主訴ヲ受ケタル當時其人既ニ死亡セル事實ノ如シ

○法律ノ確定推測ハ幼者ノ場合ニ適用セラル、コト多シ例ヘハ七歳未滿ノ幼者ハ犯罪ノ能力ナキモノトノ確定推測アリ又十四歳未滿ノ男子ハ強姦罪ノ正犯タルヲ得可カラサルモノトナセリ又十二歳未滿ノ女子ハ何等ノ場合ト雖モ姦罪タル可キ所爲ニ承諾ヲ與フルコトナキモノトセリ又二十一歳未滿ノ幼者ハ必需品ニ關スル外ハ自己ノ財産ニ對シテ處分ノ能力ナキモノトセリ

○法律ハ或場合ニ於テ適法ノ確定推測ヲ爲スコトアリ例セハ夫妻間ニ擧ケタ子ハ妻他人ト姦通ノ事實アルモ適法ノ子ナリト推測ス夫妻離居セル場合ト雖モ事實上荷モ接近ヲ推測スル能ハサル場合ノ外ハ猶適法ノ推測ヲ生ス夫妻寢食ノ離縁ヲ爲シタル後ノ子ハ私生兒タルノ不確定推測ヲ生ス

○確定推測ノ場合ハ或事實ノ證明セラレタル時ニハ法律ノ強制ヲ以テ或結果ヲ推定スルモノニシテ決シテ尋常ノ推理法ヲ適用シタルモノニ非ス即チ公益ノ爲メ若クハ其他便宜上ノ思慮ヨリシテ眞實ノ有無ニ拘ラス推定ヲ爲スモノトス捺印證書ノ場合ト雖ヒ書中記載ノ事柄ハ必シモ眞實ト云フ可ラス然レモ多數ノ場合ニ於テハ證明ヲ許スノ害ハ却テ之ヲ許サ、ルノ害ヨリモ大ナル可ケレハナリ

○不確定推測トハ反證ヲ以テ打破スルコトヲ許スノ推測ナリ是等モ前ニ述タル確定推測ト同一ノ理由ニヨリ法律上認めラル、モノニシテ即チ經驗上事物ノ關係ヨリ生スル結果ニ過キス然レモ此場合ハ前者ノ如ク適用ノ範圍廣カラス經驗モ少ケレハ從テ反證ヲ許スモノナリ法律ハ或事實ノ證明セラレタルモ之ヲ以テ一應ハ甲對手ノ申立ヲ正當トシ之ニ反對セントスル乙對手ヲシテ舉證ノ責ヲ負ハシムルナリ而シテ法律ハ如何ナル場合ニ於テ舉證ノ責ヲ先方ニ移スヤヲ規定スルコト少シトセス若シ一應ノ舉證アリタルニモ拘ラス陪審役反對ノ證據ナクシテ裁判ヲ爲スモハ上訴破毀ノ理由トナルヘシ

○此類ノ推測ハ公共ノ利益ノ爲メ普通ノ經驗ヨリ生スルモノナレモ反證ヲ許スナリ例ヘハ何人モ刑法ヲ犯サ、ル可シトハ法律上ノ推測ニシテ各人ハ皆無罪視セラル、モノナリ然レモ時トシテ法ヲ犯ス者アルハ疑フ可ラサルコトナルカ故或事實ヲ證明スルモハ犯罪者タリト

ノ推測ヲ起サルヘシ而シテ之ヲ打破スルニハ被告人ニ於テ反證ヲ舉クルノ必要アリ

○不確定推測ノ確定推測ト異ナル所ノ要點ニアリ(第一)裁判官ハ或事實ノ證明セラレタル場合ニ於テハ法律上斯々ノ推測ヲ生スルコトヲ陪審役ニ説明スルヲ要ス(第二)陪審役ハ裁判官ノ説明ニ從ヒ其推測ヲ遵守スルヲ要ス(第三)陪審役ニ拘ラス裁判官ハ審判手續ニ由テ得タル事實ニ對シ法律上ノ推測ヲ爲スヲ得

以上ノ如ク差異アリト雖モ實際上百般ノ事柄ニ關シテ確定推測ト不確定推測トヲ區別スルコト頗ル難シ

○法律上ノ推測中ニテ最も重要ナルモノハ無罪ノ推測トス即チ疑ヲ容ル、餘地ナキ迄ニ充分ノ證據アラサルモハ刑法上ハ有罪ノ事實證明セラレタルモノニ非ス之ニ反シ民事訴訟ニアリテハ犯罪ニ關係ナキ場合ニ於テハ原被雙方共充分ノ證據ナキ場合ニテモ兩造ノ事實ヲ比較シ何レカ一方ニ利益ノ裁判ヲ與フルモノトス即チ之ヲ換言セハ民事ニハ刑事ノ如ク充分ノ證據ヲ要セスシテ原被兩造ノ證據ヲ比較シ少シニテモ慥ナルモノニ利益ノ裁判ヲ與フルヲ得ヘシト雖モ刑事ニ於テハ決シテ檢察官ノ證據ト被告人ノ證據トヲ對照スルカ如キコトヲ許サス

民事事件ト雖モ爭點ノ事實、犯罪事實ナル時例ヘハ離婚ノ訴訟ニ於テ姦通ノ證明ヲ要スル

場合ノ如キハ刑事事件ト同様ニ充分ノ證據アルヲ要ス

○無罪ノ推測ハ頗ル強盛ナルモノニシテ有罪ヲ證明スルニ消極的ノ事實ヲ證明スルヲ必要ナル場合ニハ猶消極ノ事實ヲ證明セシム是レ尋常ノ場合ニ於テ舉證ノ責任積極ヲ主張スル者ニ在リトノ規則ノ例外ナリ例ヘハ船主タル原告被告ヲ訴フルニ船長ニ告ケスシテ燃燒物ヲ船舶ニ積込ミタルヲ以テシタルニ告ケスト云フ積極ノ事實ハ原告ニ於テ證明ス可キモノトセラレタリ

○場合ニヨリテハ無罪ノ推測ト他ノ推測ト抵觸スルコトアリ斯ル場合ニテモ反證ノアラサル以上ハ無罪ノ推測行ハル、モノナリ或事件ニ於テ夫外役中十二ヶ月間音信アラサリシヲ以テ妻ハ他ノ男子ト婚姻シ數子ヲ擧ケタリ而シテ該小兒等ノ財産ニ關シ訴訟ノ提起セラレタル場合ニ於テ裁判官ハ第二ノ婚姻ノ時ニハ前ノ夫ハ既ニ死亡シタルモノト推測セリ元來英國法律ニ於テハ生存セル人ハ死亡ノ證據アル迄ハ依然生存スルモノト推測スルモノナレト此場合ニ於テ夫ノ生存ヲ推測スルハ妻ハ重婚ノ犯者タルヲ以テ夫生存ノ確證アル迄ハ妻ノ無罪タル推測勝ヲ制シテ前夫ノ死亡ヲ推測スルモノトス又或事件ニ於テ妻、夫ト離居シタルヨリ四年後ニ或男子ト結婚シタル時ニ裁判官ハ夫生存ノ推測ヲ爲サスト云ヘリ而シテ此事件ハ重婚ニ關スル控訴事件ナリシヲ以テ裁判官ハ陪審役

ニ命スルニ第二婚姻ノ際前夫ノ死生ハ事實トシテ取調フヘキモノト諭示セリ

○以上無罪ノ推測ニ關シ代理ノ場合ニ於テ例外トセラル、モノアリ其性質ハ以下ノ例ニ由テ明瞭ナル可シ或事件ニ於テ雇人食麵包ニ不健康ノ食料ヲ混和セルコトヲ知り乍ラ主人其儘之ヲ賣却セシメタル事實ニヨリ食品條例ニ由テ罰セラレタリ又質屋條例ニヨレハ質物營業ニ關シ雇人見習人ノ爲シタル事ハ主人自ラ之ヲ爲シタルモノト推測ストアリ又或書店ノ手代讓謗ノ記事アル書籍ヲ賣捌キタル場合ニ主人其責アルモノトセラレタリ是等ハ公ノ利益ノ爲メ止ムヲ得サルモノナレト此條例ニ明文アルモノ、外ハ無罪ノ反證ヲ擧グルコトヲ得ヘシ

○訴訟對手人證據ヲ滅盡シ或ハ隱匿シタル場合ニ於テハ無罪ノ推測消滅シテ有罪ノ推測起生スルコトアリ例セハ船舶ノ局外中立船タル資格ヲ證明スルニ必要ナル書類ヲ毀損シタルハ中立船タル反對ノ推測ヲ起サルヘシ又遺失金石ノ拾得者現品ヲ差出サ、ル時ハ金若クハ石類ノ最優等品ナリトノ推測ヲ起サルヘシ之ニ反シ被告人故意ナク不都合ノ所爲ナキ時ハ右ノ如キ推測ヲ生セス即チ或事件ニ於テ原告ハ被告ニ或商品ヲ交付シタルニ商品ノ品質ニ付商標ナカリシ場合ニ於テ判事ハ劣等品ナリトノ推測ヲ爲シタリ

○證據ノ製作ハ其レ自ラニ於テ被告人ニ對スル無罪ノ推測ヲ打破スルモノニ非ス元來無罪人ニテモ裁判所ニ訴ヘラル、ヨリ畏懼心ヲ生シ證據ヲ作爲シタルノ例アリ故ニ是等ノ場合

ハ總テ陪審役ノ判定ニ一任ス可キモノトス

通常ノ場合ニ在リテハ訴訟對手人證書ノ提出ヲ拒ムモ法律上ノ推測ヲ生スヘキモノニ非ス
只反對々手ヲシテ書中ノ記事ヲ口證セシムルノ權利ヲ得セシムルノミサレト茲ニ正當ノ理
由ナクシテ證據物ノ提出ヲ拒ム時ハ陪審役ニ不利ノ推測ヲ起サルハ到底避ク可ラサルナ
リ

○法律ノ推測ハ各人ヲ無罪視スルニ在ルコトハ前既ニ述ヘタル所ナレモ若干ノ證ヲ具備スル
時ハ遂ニ被告ニ無罪ノ證明ヲ爲スノ責任ヲ生ス可シ例ヘハ殺人事件ニ於テ殺人ノ事實證明
セラレタル時ハ法律ハ惡意アルコトヲ推測スヘシ故ニ被告ハ惡意ナキコトヲ證明スルノ責任ヲ
負フニ至ル民事々件ニ於テモ同一ノ場合少カラズ誹譏ノ事件ニ於テ被告人故意ニ或文書ヲ
出版シタル時ハ法律ハ惡意アリテ出版シタルモノト推測スヘシ故ニ被告ノ其責任ヲ免レン
ニハ惡意ナキノ事實ヲ證明スルヲ要ス

○財産ノ所有權ニ關スル或種ノ推測ハ二三茲ニ枚舉スルヲ得ヘシ

(第一)財産ノ境界ニ關シ二個ノ地所若クハ村落潮汐ノ作用ナキ河川ヲ以テ境界ト爲スルハ
河川ノ中流ヲ以テ界ト推測ス

(第二)漁業ノ權ヲ有スル者ハ反證ナキ以上ハ土地ノ所有者ト推測ス

(第三)航行ニ堪ヘサル河川ハ漁業ノ權ト共ニ岸地所有者ニ屬ス但シ航行スヘキ河川及ヒ海
灣ハ帝室ニ屬シ漁業ノ權ハ公共トス

以上ニ述ヘタル河川ニ關スル推測ハ湖水ニ適用スルヲ得ス然レモ湖水及ヒ海岸ニ關スル推
測ハ稍以上ト似タル所ナキニアラス通常滿潮ノ時ニ浸サル、岸地ハ反證ナキ以上ハ帝室ノ
所有ト推測ス而シテ春潮ノ時ノミニ浸サル、岸地ハ接續地ノ所有者ニ屬スルモノト推測ス
以上ニ述ヘタル推測ハ單ニ湖海ノ岸地ニ適用スルノミナラス海峽海灣及ヒ湖水ノ干満アル
河川ニ適用セラル、モノトス

○數多ノ所有者ニ屬スル地所垣及ヒ溝ヲ以テ境界トセラル、時ハ溝ノアラサル地所ヲ有ス
ル者ニ垣ノ所有權アルモノト推測ス若シ垣ノ兩面ニ溝アル時ハ法律ハ何等ノ推測ヲ爲サ、
ルヲ以テ何人ニテモ所有權ヲ主張スル者其證憑ヲ提出スルヲ要ス

地所若クハ家屋ヲ隔ツル所ノ壁ハ若シ地所家屋二個ノ異ナリタル人ノ所有ニ係ル時ハ壁ノ
樹立セル地所ヲ併セテ雙方ノ共有ニ屬セルモノト推測ス

地所ノ境界線ニ生長スル樹木ハ其根兩地ニ跨ルト雖モ其始メテ樹木ノ種子ヲ下シタル地所
若クハ植付タル地所ノ所有者ニ屬ス

○地面及ヒ地下ノ礦物各異ナリタル所有者ニ屬スル時若シ他ニ兩所有者ノ權利ヲ慥ムル

證書類ナキハ鑛物ノ所有者ハ地面ヲ支フルノ義務アリ

二三階ノ家屋階毎ニ其所有者ヲ異ニスル時ハ上階ノ所有者ハ下階者ニ支ヘラル、ノ權利アリ又下階者ハ上階者ノ爲メニ保護セラル、ノ權利アレハ上階者ハ恣ニ屋根等ヲ取去ルヲ得サルナリ

若シ二個ノ古建物異ナリタル所有者ニ屬スル時ハ兩所有者ハ互ニ隣家ノ建物ニ由テ支ヘラル、ノ權利アリ而シテ新建築ノ場合ニハ斯ル推測上ノ權利ナシト雖モ二十年以上經過シタルキハ支保ノ權利ヲ得ヘシ

地所ノ所有者接續シテ二個以上ノ家屋ヲ建築シ互ニ支ヘラル、カ又ハ同一ノ溝ヲ以テ疏通ヲ共ニシタル時ハ他日異ナリタル所有者ニ家屋ノ所有權ヲ讓渡スモ新所有者ハ相互ニ家屋支保溝渠共有ノ權利ヲ有ス

○財産ノ占有者ハ通常其所有者ナルヲ以テ占有ノ證明アルキハ所有權アルモノト推測ス例ヘハ船舶及ヒ船舶ニ積込ミタル物品ノ保險契約ニ關スル訴訟事件ニ於テ原告ニ他ノ證據物ナシト雖モ反對々手ニ於テ何等ノ證據物ヲ有セサル時ハ原告者占有ノ事實ハ自己ニ所有權アルノ推測ヲ生スルモノナリ此推測ハ動産及ヒ不動産ニ適用スヘシ例ヘハ不動産ニ付侵界ノ所爲アル者ニ對シテハ原告者ハ所有權ヲ證明セサルモ占有ノミニ由テ侵界者ヲ訴フルヲ

得ヘシ又不動産復歸權ヲ有スル者其權利ヲ他人ヨリ犯サル、時ハ自己ニ地代ヲ受取リタルノ證據アル時ハ復歸權アル充分ノ證據タルヘシ又動産ニ對シテモ占有ノ證據及ヒ特別財産權ノ證據アルキハ加害者ヲ訴フル充分ノ權利アルヘシ

船舶ヲ真正所有者ヨリ讓受ケタル者登記ノ手續ヲ爲サ、ル爲メ讓渡ノ無効ナル場合ニテモ原告者該船舶ヲ占有セル時ハ第三者ノ非行ニ對シテ訴フルヲ得ヘシ

財産ノ單純保管者ト雖モ真正所有者ノ爲メニ非行アル第三者ヲ訴フルヲ得ヘシ

○宛名ナキ書類ト雖モ其占有者ハ自己ニ關係セルモノト推測ヲ起サル、コトアルヘシ例ヘハ宛名ナキ借用證文ハ占有者ニ宛テタルモノト推測シ書牘ノ宛名ノ切取ラレタルモノト雖モ反證ナキ以上ハ占有者ニ宛テタルモノト推測セラル、コトアルカ如シ

○占有ヨリ生スル所有權ノ推測ハ占有時間ノ長キニ從テ益之ヲ確實ナラシム多クノ場合ニ於テハ完全所有權ヲ得ルニ必要ナル占有ノ年數ヲ定メアリト雖モ占有者ハ必シモ條例ノ年月ニ由テ自己ノ權利ヲ慥ムルヲ要セスシテ法定ノ年數ニ欠クル所アルモ他ノ情況ヲ證明シテ己ノ所有權ヲ慥ムルヲ得ヘシ

○歲月ノ經過ハ手續ノ正當ニ行ハレシコトヲ推測スルモノナリ古證文ニ關シテ既ニ此事ヲ述ヘタリ

亞米利加ノ裁判例ニヨレハ二十年ヲ經過シタル後ハ訴訟事件ニ必要ナル總テノ對手人ハ總テ呼出サレタルモノト推測ス又管財人後見人其他裁判所ノ命令ニ由テ執職スル官吏ハ財産ノ賣却其他ノ所爲ニ付三十年ヲ經過シタル時ハ總テ適法ノ手續ヲ盡シタルモノトノ確定推測ヲ生ス

○一千八百七十四年ノ條例ニヨリ地所賣買ノ契約證書ニ記載スル事柄ハ細大トナク反證ノアル迄ハ確實ナルモノトセリ

○港稅、通行稅其他同種類ノ特權ハ政府ノ許可ニヨリテ一私人ニ付與スルモノナレ其權利ヲ行フ既ニ久シキ時ハ許可狀ナシト雖反證アラサル以上ハ正當ニ許可セラレタルモノト推測ス又帝室ニ屬スル岸地等ト雖一私人ニ於テ之ヲ使用スル既ニ久シキハ帝室ヨリ許可アリタルモノト推測ス

○竊盜ノアリタル後日時ヲ經スシテ盜品ヲ所持スル者アル時ハ時ノ模様ニ由リ其所持人ヲ以テ竊盜犯者若クハ受贓犯者ナリト推測ス可シ此推測ヲ受ケタル者其所持ノ理由ヲ證明スル能ハサルカ又ハ其性質品行ノ善良ナルコトヲ證明セサル時ハ陪審役ハ通例以上ノ推測ヲ確實ノモノト爲スヘシ而シテ日時ノ經過如何ノ問題ハ物品ノ性質ニ由リテ大ニ異ルヘシ即チ容易ク輾轉スル物品ハ其容易ク輾轉セサルモノヨリモ僅少ノ時間ヲ以テ既ニ許多ノ月日

ヲ經タルモノト見做スヘシ即チ或事件ニ於テ木綿反物ヲ竊盜犯罪ノアリタル二ヶ月後ニ所持シタルモノアリシニ裁判官ハ該所持人ニ所持ノ理由ヲ辯解スヘキ責任アルモノトセリ然ルニ或事件ニ於テハ盜品タル或物件ヲ盜罪アリタルヨリ三ヶ月ノ後ニ所持スル者ニ所持ノ理由ヲ説明スルノ責任ナキモノトセラレタリ

盜罪ノ目的物被告ノ家宅内ニ發見セラレタル場合ト雖同居人ノ盜罪ヲ犯シ得ヘキモノアル時ハ之ヲ以テ直ニ被告ノ所爲ト爲ス可ラス

○以上ノ推測ハ法律上ノ推測ニ非スシテ事實上ノ推測ナリト雖其場合ニ由テハ其證據力頗ル強大ニシテ直ニ有罪ノ證據トナルヲ得ルモノナリ判事モール氏ノ引例ニ曰ク「人アリ酒類ヲ貯ヘタル倉庫内ニ入り其出ル時泥酔セル時ハ倉庫中ノ酒類ノ紛失シタル證據ナシト雖其者ノ酒類ノ竊盜者タル事ハ他ノ證據ヲ要セスシテ何人モ之ヲ疑ハサル可シト」

○以上ノ推測ハ單ニ竊盜罪ニ適用シ得ヘキノミナラス他ノ犯罪ニモ適用セラル、モノナリ或放火事件ニ於テ放火アリタル後未タ時間ヲ經サルニ燒毀セラレタル家宅内ニアリタル財物ヲ所持シタル者ヲ以テ放火犯關係者ト推測セラレタリ又強盜殺人罪ノ事件ニ於テ盜品ヲ所持セシ者偽造貨幣ヲ所持セシ者等ハ何レモ其犯罪ノ關係者ナリト推測セラレタリ

○官吏ノ製作シタル文書ハ式ニ由テ適法ニ爲サレタルモノト推測ス或事件ニ於テ證書ノ効

カヲ有スルニハ宣誓ヲ必要トセラレタル場合ニ於テ該證書ニ官吏ノ署名捺印アリタルカ爲メ式ニ由テ宣誓セラレタルモノト推測セリ又戰時ニ在テ敵ノ占領シタル市街ニ揭示シタル命令ハ指令長官ノ指揮ニ由テ爲シタルモノト推測セラレタリ

○以上類似ノ推測ハ私證書ノ場合ニモ適用セラレタルコトアリ例ヘハ本證書ヲ出ス能ハスシテ法律ニ於テ副書ノ提出ヲ許サレタル場合ニハ本書ハ相當ノ印紙ヲ貼用シタルモノト推測シ又會社ノ所爲ニシテ法律上式ヲ定メタルモノハ反證ノアラサル以上ハ式ニ從フタルモノト推測スルカ如シ

○捺印證書ニ立合證人アル場合ニシテ對手人ノ署名ノ眞實ナルヲ證明セラル、以上ハ立合證人ノ捺印及ヒ手渡ハ正當ニ遂ケラレタルモノト推測ス又捺印ノ必要ナル場合ニ於テモ捺印ハ必スシモ式ニ從フヲ要セス相當印紙ノ貼用アリテ猶他ニ信スヘキ模樣アル時ハ必スシモ捺印ノ違式ヲ咎メス殊ニ古證書ニ在テハ印影ノ認ム可ラサル時ト雖モ歲月ノ爲メ剝脱シタルモノト爲シ効力ヲ與フルヲアリ又會社ノ證書ノ如キハ社印ヲ用ヒスシテ會社員ノ私印ヲ用ヒタル場合ト雖モ會社長若クハ役員ニ由リ正當ニ執行セラレタルモノナル時ハ社印ニ對スル違式ハ法律上之ヲ咎メサルナリ

○反證アラサル時ハ法律ハ捺印證書ノ眞實ニシテ有効ナルモノタルヲ推測ス然レモ場合ニヨリ例外ナキニ非ス例ヘハ賣主ニ於テ其債主ヲ害スルノ賣買ヲ爲シタル時ノ如シ

○捺印證書ノ効力ノ如何ヲ判定スルニ就テハ習慣法ノ原理ノ外猶至當ノ規定アリ即チ對手人間ニ信認ノ關係アル時ハ捺印證書ヲ以テ贈與ヲ爲スノ契約ハ効力ヲ奪ハル、トアリ例ヘハ訴訟依頼人ノ代理人ニ對シ患者ノ醫師ニ對シテ爲セシ贈與契約ノ如キハ事情ニ由リ無効トナス即チ受贈者ニ於テ契約ノ正當ニシテ欺騙威壓等ナクシテ眞實ノ合意ニ出タルヲ證明スルニ非サレハ證書ノ効ナシトス

○遺囑證書ノ製作、變更、取消、解釋ニ關シテハ法律ハ一定ノ推測ヲ設ケリ第一死者ノ署名ノ正當ナルコトヲ證明シタル時ハ遺囑證書記載ノ事柄ヲ以テ死者ノ承諾ニ出タルモノト推測ス尤モ此推測ハ反證ヲ以テ打破スルコトヲ得ヘシ

○第二 遺囑證書執行ノ前ニ當テ遺囑證書ノ文章ヲ死者ニ讀ミ聞カセタルノ證據アル時ハ管ニ第一ニ述ヘタルカ如キ推測ヲ起スノミナラス右記載ノ事項ヲ以テ確定不動ノモノト爲スヘシ

○第三 遺囑證書數種ヨリ成立スル時ハ其間ニ多少ノ抵觸アルモ最終ノ一紙正當ニ署名セラル、時ハ全體ヲ以テ有効ノモノトスヘシ

○第四 遺囑證書ノ立合ノ正當ニ爲サレタルコトヲ推測スルニ就テハ遺囑者立合人ノ署名

セルヲ知ルヘキ筈ナル時ハ實際之ヲ知リタルモノト推測ス例ヘハ立合人署名ヲ爲シタル時ニ遺囑者同室内ニ在リタル時ハ其事柄ヲ目撃シタルモノト推測スルカ如シ

○第五 反對ノ證據アラサル時ハ證書ノ變更抹殺ハ證書執行後ニ爲サレタルモノト推測シ遺囑副書アル時ハ副書ヲ本書成立ノ後ニ爲サレタルモノト推測ス故ニ原文ノ讀ミ得ヘキ場合ニハ原文ノ通執行シ變更抹殺ノ効ナシ但シ特ニ文字ヲ挿入スヘキ爲メ白地ヲ餘シタル場合ハ此限ニ在ラス

○第六 遺囑者死亡ノ際ニ所持シタル遺囑證書其死後ニ於テ直ニ出テサル時ハ死者自カラ其遺囑ヲ反古ニシタルモノト推測ス

遺囑證書ヲ製作シタル後遺囑者瘋癲トナリタル時ハ未タ瘋癲タラサル前ニ遺囑ヲ無効ニシタリトノ證據ハ無効ヲ主張スル者ニ於テ之ヲ擧クルノ責アリ

○第七 法律上遺囑者ハ遺囑ニ記載シタル事項ヲ實行スルニ足ルヘキ遺産アルモノト自信セルコトヲ推測スルヲ以テ反證アラサル以上ハ若シ遺産不足ナル時ハ遺囑ニ記載シタル諸種ノ贈與ハ同一ノ比例ヲ以テ減額スヘキモノトス尤モ或贈與ニ限り減額スヘキモノニ非スシテ先取ノ權アルヲ主張スルヲ得ルト雖モ其主張者ハ擧證ノ責ヲ負フモノトス

○遺囑證書ニ管財人トシテ指名セラレタル者ニ贈與ヲ爲セル時ハ其人管財人タルノ職務ヲ

行フニ非レハ贈與ヲ受クルヲ得サルモノト推測ス

故ニ管財人ヲ辭シタル者ハ管財人ノ身分ニ拘ラス贈與ヲ得タルモノナルコトヲ證明スルヲ要ス

遺囑書中管財人ノ同意ヲ以テ爲スヘキコトヲ記載スト雖モ管財人ヲ辭シタル者ハ同意ヲ表スルノ權利ヲ失シタルモノト推測ス

管財處分ヲ遂ケタル後死者ノ遺産ニ餘剩アル時ハ近親ノ利益トナリ近親ナキ時ハ(私生子ノ場合ノ如シ)法律ハ管財者ノ利益ニ歸スルモノト推測ス

○遺囑書中子女ナル語ハ英吉利法律ニ由リ適法ノ子女トセラル、者ニ限ル但シ此推測ハ遺囑書中ノ文字ニヨリ反證ヲ擧クルヲ許ス又親族ナル語ハ子孫ヲ意味スルモノト推測シ金錢ナル語ハ現在ノ貨幣ニ限ルモノトス又未婚ナル語ハ曾テ婚姻シタルコトナキ者ト推測ス故ニ現ニ獨身ナル者ト雖モ曾テ夫妻アリシ者ハ未婚トセス

○證書ニ日附アル時ハ該證書ハ日附ノ日ニ製作セラレタルモノトノ推測ハ總テノ證書ニ適用スルモノナリ即チ捺印證書、約束手形、爲替手形、其他尺牘等ニモ適用ス然レモ場合ニ由テハ此推測ヲ適用セサルコトアリ即チ有名ナル判事ノ說ニヨルニ二個ノ著シキ例外アリ第一破産處分ニ於テ破産者ノ作爲シタル證書ハ往々其日附ヲ古クシ破産處分ノ制裁タル無効ノ結

果ヲ避ケントスルコアルヲ以テ日附ニ重キヲ置カス第二有夫姦ノ損害賠償ヲ求ムル訴訟ニ於テハ夫婦ノ關係ヲ古カラシメンカ爲メ證書ノ日附ヲ作爲スルコアリ是等ノ場合ハ日附ノ効力頗ル弱キヲ以テ其日附ノ信憑スヘキモノタルコトハ更ニ他ノ證據ニ由ラサルヲ得ス

○或人カ官吏ノ資格ヲ以テ事ヲ行フタル時ハ其者ハ官吏ニ任命セラレタルモノト推測ス何トナレハ官吏ノ資格ナクシテ公務ヲ執行スルカ如キハ頗ル稀ナルコトナレハナリ此推測タル立法ノ作用ヲ以テ諸種ノ官吏ニ適用セラレタリ

官吏ノ任命書面又ハ捺印證書ヲ以テ行フヘキ場合ニテモ右ノ推測ヲ適用シタルコトアリ而シテ此推測ハ刑事々件タルト民事々件タルト問ハス又官吏ノ資格訴件ノ直接ノ問題タルト間接ノ問題タルト問ハス總テ適用セラル、モノトス例セハ遞信官吏書狀ヲ竊取シタル犯罪事件ニ於テ正式ノ任命アリタルコトヲ舉證セサルモ被告人官吏ノ資格ヲ以テ事務ヲ取扱ヒタル事實ヲ證明シタル時ハ充分トセラレタリ

○以上類似ノ推測ハ身分上ノ關係ニモ適用セラレタリ例セハ地主及ヒ借地人、組合員、雇主及ヒ雇人ノ關係ハ對手人ノ舉動ヨリ推測セラレタルコトアリ即チ主人及ヒ見習人ノ關係ニ付通常ハ見習契約ノ證書アルヘキ筈ナレトモ相互間ノ舉動ヨリシテ主人及ヒ見習ノ關係アルモノトセラレタリ又男女間事實上夫婦ノ如ク暮セル時ハ婚姻ノ有効ニ成立シタルモ

ノト推測セラレタリ但シ此推測ニ對シテハ英國法律ニ二個ノ例外ヲ認メリ第一ハ重婚ノ罪ニ對シテハ第一ノ婚姻ノ正式ニ舉行セラレタルコトヲ證明スルヲ要ス第二ハ姦罪事件ニ對シテハ適法ノ婚姻式アリタルヲ要ス而シテ此點ハ頗ル嚴格ニシテ對手人等ハ正式ノ婚姻ヲ爲シタルコトヲ信スルモ實際ニ於テ法律ニ合格セサル時ハ正當ノ婚姻ト爲サス是等例外ノ設ケアル理由ハ刑事々件ニ在リテハ嚴格ナル證據ヲ要スルノミナラス往々虛偽ノ婚姻ヲ申立テ、不當ノ利益ヲ貪ルモノアルヲ豫防スル爲メナリ

○前ニ述ヘタル官吏ノ身分ニ關スル推測ハ會社、一私人、職業家、等ニハ適用スルヲ得ルヤ否ヤハ未タ確定セスト雖モ現今ノ傾向ニテハ適用スルヲ得サルモノ、如シマンスフ井ルド卿ノ判決ニ由レハ僧侶ノ身分ニ對スル事件ニ於テ實際村落ノ寺職トシテ多年或職權ヲ行ヒタルコトハ充分ノ證據トセラレタレモ後來ノ或事件ニ於テ醫者ノ名譽ヲ毀損シタルヤ否ヤノ爭點ヲ決スルカ爲メ單ニ醫務ニ從事シタルコトヲ以テ充分トセラレス又蘇國ノ免狀ヲ有スルノミヲ以テ充分ト爲サスシテ醫學士ノ稱號ヲ有スルノ證據ヲ必要トセラレタリ是ニ由テ之ヲ觀レハ未タ確實ノ結果ヲ明示スルヲ得スト雖モ以上ノ推測ハ公ケノ官吏ニ限ルモノナルヘシ

○以上トハ少シク異レモ同種類ノ理由ニ屬スル推測アリ即チ人事普通ノ狀態ヨリ胎生シタ

ルモノトス例へハ借地契約ノ期限經過シタル後一方ニ於テ地料ヲ拂ヒ一方ニ於テ地料ヲ受取リタル時ハ不定期限ノ借地契約ヲ結ヒタルモノト推測ス但シ錯誤ニ由テ地料ヲ授受シタル場合ハ以上ノ如キ推測ヲ爲サス例セハ借地期限既ニ盡キタルニモ拘ラス猶期限内ナリト誤信シ地料ヲ授受シタルカ如シ

○雇人雇入ノ契約ニ期限ヲ定メサル時ハ法律ハ一年間ノ契約ナリト推測ス但シ反對ノ事情アレハ特別トス且ツ此推測ハ尋常ノ雇人ニ適用セラル、ノミニシテ手代、倉守、行商人編纂者、報告者、等ニハ適用スルコトナシ但シ各地方ノ習慣ニ由テ相當ノ推測ヲ生スルコトアリ又結婚ノ契約ノ如キ期限ヲ定メサル時ハ相當期限内ニ實行スヘキモノト推測ス而シテ此相當期限ノ推測ハ物品ノ引渡其他總テ期限ヲ明示セサル契約ニ適用スルヲ得ルモノトス

○各人ハ其財産ヲ護リ其權利ヲ主張スルコトヲ怠ラサルモノナレハ法律ハ左ノ如キ推測ヲ爲ス

約束手形、支拂人ノ手ニ在ル時、商品引渡證、受取人ノ手ニ在ル時ハ金錢ハ支拂ハレ物品ハ引渡サレタルモノト推測ス約束手形、振出人ノ手ニ在ル時モ同様ノ推測ヲ爲ス一年前ニ受取ルヘキ地代若クハ其他ノ金額ヲ受取リタル時ハ其前年即チ二年三年分ハ既ニ落手シタルモノト推測ス

金錢、銀行ノ手形、株券等ヲ他人ニ交付シ交付ノ理由明ナラサル時ハ新ナル貸借ト爲サスシテ舊義務ヲ盡ス爲ニ支拂フタルモノト推測ス

○公ケノ役所ニ於テ通常爲サル、事柄ハ實際ニ決行セラレタルモノト推測ス例セハ書狀ニ郵便ノ印章アル時ハ(若シ意味ノ説明シ得ヘキ時ハ)書狀ハ印章ニ記載シタル時及ヒ場所ニ於テ郵致セラレタルモノト推測ス又郵便局ニ於テ爲シタル物品上包ミノ記載金額ハ確實ナルモノト推測スルノ條例アリ又正確ニ宛名ヲ記載シタル書狀ノ郵便局又ハ郵便配夫ニ渡シタルコトハ確證アル時ハ定期内ニ先方ニ着シタルモノト推測ス

○以上ノ推測ハ通常ハ確定推測ニ非スシテ反證ヲ以テ打破スルコトヲ得ルモノナレハ條例ニ由リテ確定推測トセラレタル場合アリ例セハ裁判所ノ送達郵便ヲ以テ爲シタル時ハ其事實立證セラル、時ハ先方ニ着シタルモノトノ確定推測ヲ爲ス又破産條例ニヨレハ總テノ通達書類等ハ郵便ヲ以テ送達ヲ受ケヘキモノ、最終ノ住所ニ宛テタル時ハ送達アリタルモノト推測ス又條例ニヨレハ書留郵便ヲ必要トスル場合モアルナリ

○習慣法ニヨレハ船舶出帆ニ許可ヲ要スル時ハ其時刻ハ許可狀ニ記載セラレタルモノト推測ス尤モ許可狀ノ紛失シタル時ニ限ルモノナレハ斯ル推測ヲ生スル理由ハ海關ニ於テ右等ノコトヲ爲サ、レハ荷物ノ積込ヲ許サ、ルヘケレハナリ

許可ナクシテ輸出スルヲ得サル物品ハ輸出ノ爲メ海關ノ簿冊ニ記入セラレタル時ハ輸出ノ許可ヲ得タルモノト推測ス

○同様ノ推測ハ一個人ノ私業ニ就テモ適用セラレ、トアリ例セハ外國航海船ノ保險者ハ船舶ニ關係スヘキ外國ノ法律習慣ヲ知得セルモノト推測ス何トナレハ是等ノ智識ナクシテ保險營業ニ従事スルヲ得サレハナリ又或市場ニ於テ取引ヲ爲ス時ハ市場ノ習慣ヲ知ルモノト推測ス又代人ヲ使用シテ或場所ニ於テ事務ヲ執ラシムル時ハ代人ニ其場所ノ習慣ニ從フヲ許可シタルモノト推測ス例ヘハ仲買人ヲ以テ株式市場ノ取引ヲ爲サシメタル時ハ本人タル者市場ノ規則ヲ知ラサルモ代人ニハ市場ノ規則ニ從テ取引スルヲ許シタルモノトス

○主人ニ宛タル書狀ヲ其雇人ニ渡シタル時ハ主人ニ送達シタルモノトノ不確定推測ヲ生ス
○以上類似ノ推測ハ器械ノ作用ニ適用スルヲ得例セハ或事由ノ生シタル時ニ其制限ヲ知ル爲メ時計ヲ見タルノ證據アル時ハ反對ノ證據アラサル以上ハ時計ヲ正當ノモト推測スヘシ寒暖計、計里計、ノ如キモ時計ノ場合ト同一ノ推測ヲ爲ス是等ハ何レモ不確定推測ノ場合ナレモ立法ノ作用ニ由テ採用セラレタルモノアリ即チ瓦斯局條例、衛生條例、等ニヨレハ瓦斯若クハ水ノ分量ヲ示ス所ノ局ノ記載ハ費消セラレタル瓦斯若クハ水ノ分量ヲ證明スル所ノ不確定推測ヲ生スルヲ規定セリ

○通常ノ商業組合ニ在テハ各社員ハ營業普通ノ目的ノ爲ニ會社ノ代理者タル權アルモノト推測ス故ニ金錢ヲ借入レ負債ヲ支拂ヒ流通證書ヲ振出シ又ハ裏書スル等ノ事ハ組合ノ名義ヲ以テ爲スコトヲ得ルモノトス然レモ鑛業組合ノ場合ニ於テハ以上ニ述ヘタルカ如キ權ナキモノトス

營業ノ目的ヲ有セサル組合例セハ代書人ノ組合ノ如キハ其組合員爲替手形、約束手形ヲ振出シ或ハ裏書スル等ノ推定委任權ナキモノトス又普通ノ組合ト雖モ組合取引以外ノ事柄ニ就テハ組合員タル者契約ヲ以テ他ノ組合員ヲ拘束スルコト能ハス例ヘハ組合員ノ一人組合營業内ニ屬スル取引ヲ爲シ之ニ效果ヲ與フルノ目的ヲ以テ組合ノ名義ニテ擔保ノ約束ヲ爲シタル場合ニ於テ裁判所ハ該約束ノ組合ヲ拘束スルニ足ラサルコトヲ判決シタリ但シ他ノ組合員ニ於テ其行爲ヲ採用シタル證據アリタル時ハ自ラ異ナリタル結果ヲ生スヘシ

○代理法ニ關シテハ左ノ注意ヲ爲スヲ要ス賣主此國ニ在留スル代理者ト取引ヲ爲シ本人外國ニ在ル時ハ普通ノ推測ハ本人ト取引ヲ爲シタルニアラスシテ實際取引ノ衝ニ當リタル代理者ヲ信シタルモノト爲ス判事ストリー氏ハ此推測ヲ目シテ法律上確定推測タル程ノ強盛ナル効力ヲ有スルモノト云ヘリ然レモ是唯事實上ノ推測ニシテ反證ヲ擧ケ得ルハ勿論トス
○或格段ナル營業ニ關スル二三ノ推測ヲ述フルコト必要ナリ是等ノ推測タル嚴格ニ失スル

カ如キ外觀アレ其事實ハ公ケノ政畧上相當ノ理由アルモノトス例セハ普通運送營業者ニ托シタル貨物紛失スルカ又ハ損害ヲ蒙ル時ハ運送營業者ニ於テ其原因天災ニ出テタルコトヲ證明スルニ非レハ法律ハ運送營業者ニ不注意アリタリトノ確定推測ヲ爲スナリ又馬車營業者及ヒ無報酬受托者ノ場合ト雖モ物品ノ紛失損害アリタル時ハ一應ハ不注意アリタルモノト推測ス又旅客カ其價值三十磅以下ノ物品ヲ旅店若クハ飲食店ニ預ケタル時其物品紛失又ハ損害セラル、コトアル時ハ旅店若クハ飲食店ノ主人若クハ雇人ノ不注意ニ由テ生シタルモノト推測ス而シテ旅客ニ不注意アリタルノ證據アラサル時ハ店主ハ其責任ヲ辭スルヲ得ス

○不注意ノ有無ニ就テハ單ニ或事柄ノ生シタルノミヲ以テ不注意アリタルモノト爲シ裁判官ハ其旨ヲ以テ陪審役ニ教示スルコトアリ例セハ同一會社ニ屬スル二個ノ蒸汽車衝突シ或ハ列車軌道ヲ外ル、等ノコトアル時ハ其事自身ニテ既ニ會社ニ不注意アリタルモノト爲ス又倉庫ノ窓ヨリ荷物墮落シ通行人ヲ傷ケタル場合ニハ如何ナル理由ニ由テ墮落シタルヲ問フヲ須ヒス倉庫主ニ不注意アリタルモノト推測ス何トナレハ以上ニ述ヘタルカ如キ出來事ハ通常ノ注意ヲ用ヒタル時ニハ起生セサル事柄ナレハ被告ニ於テ正當ノ辯解ヲ爲サ、ル以上ハ不注意アリタルモノト見做サル、モ當然ナルヘシ然レモ又左ノ如キ判決例アリ或事件

ニ於テ一私人ノ住居ノ梯子原由不明ナレモ窓戸ニ向テ倒レ之カ爲メ硝子ヲ破リ通行人ヲ傷ケタリシニ右ノ事實ノミニテハ家屋ノ所有主ハ不注意アリタルモノト爲スヲ得スト判定セラレタレハ適用ノ際注意セサルヘカラス

○幼者ニ關スル推測ニシテ適用ノ疑ハシキモノアリ例セハ七歳以上十五歳未満ノ幼者ハ罪ヲ犯ス能ハサルモノト一應ノ推測ヲ爲シ犯罪ノ當時幼者タルモノ惡事ヲ爲セルコトヲ知り居タルコトノ充分ナルニ非レハ之ヲ罰スルヲ得ス

此規則タル元來ハ大罪ノミニ就テ適用シタルモノナルヘケレモ久シキ以來總テノ重罪ニ適用スルモノトセラレタリ然レモ僅少ノ例外ノ外ハ輕罪ニ適用セラレサルノ理由ナシ但シ幼者不動産ノ占有主タル場合ニ於テ不動産ニ附着スル橋梁若クハ道路ニ關スル犯罪ノ如キハ幼者ト雖モ其責ニ任セサルヲ得スヘール卿カ幼者ノ犯罪責任ニ付論シタル言ニ曰ク善惡ノ辨別アル時ハ犯罪ノ責ニ任セサル可ラスト然レモ此論タル頗ル漠然ニシテ善惡トハ法律的ナリヤ又ハ道德的ナリヤ明ナラス而シテ幼者ト雖モ法律上ノ罪惡タルコトヲ知ラスト雖モ道德上竊盜ノ罪惡タルコトヲ知ルハ十中八九皆然リ斯ル場合ニ於テ道德上ノ是非ノ辨別ヲ有スルカ爲メ大人同様ニ幼者ヲ罰スルハ苛酷ニ過グルモノト謂ハサルヲ得ス幼者ヲ寬遇スル以上ノ推測ノ漠然トシテ不明ナルカ爲メ實際原則ノ利益ヲ無ニシタルコト

ハ統計表ニ照シテ充分ナリ即チ今朝ニ公示セラレタル統計表中首府ノミニ於テ十五歳未満ノ幼者ニシテ求刑セラレタル者二百九十七人其中二百二十八人ハ實刑セラレ内又遠流ニ處セラレタル者二十六人ナリシ

○有夫ノ婦女ニ關シテモ法律ニ於テ又多少ノ推測アリ例セハ有夫ノ婦女重罪ヲ犯スト雖ヒ(國事犯殺人罪若クハ街道強盜ヲ除キ)夫ノ脅迫ニ由テ爲シタルモノト推測ス故ニ夫ニ於テ脅迫ヲ爲サ、ルノ證據アルニ非レハ罰セラル、コトナシ或學者ハ曰ク此推測タル或場合ニ於テハ殆ント確定推測ノ効力ヲ有シ且犯罪事件顯然ノ性質ヲ有スル時ハ實際ニ於テ特ニ婦女ノ罪ヲ赦シタルノ傾キアリタリト然レモ現今ノ處ニテハ右様ノコトナク婦女ノ自由罪主タリシコトヲ證明スルトキハ以上ノ推測ヲ打破スルコトヲ得ルモノトス又或事件ニ於テ此點ニ付愛蘭判事ハ大ニ研究ヲ遂ケ左ノ如ク斷言セリ即チ婦女ニ犯罪ノ自由能力アリタルコトハ必スシモ確定證據ヲ要セス訴訟事件全體ノ模様ニヨリ陪審役ニ於テ相當ノ判決ヲ爲シ得ルモノナリト何等ノ場合ト雖ヒ夫ノ盜取シタル贓品ハ其妻之ヲ受寄スト雖ヒ贓物受寄ノ罪ヲ構成セサルモノ、如シ又一千八百八十三年一月一日前ニハ妻他人ト姦通シ姦夫ト共ニ逃亡スル際夫ノ財物ヲ持逃ケシタル場合ト雖ヒ盜罪ヲ構造セサリシ然レモ此規則ハ一千八百八十二年結婚婦財產條例ニ據リ幸ニ廢棄セラレタリ

○脅迫ノ原則ハ輕罪ニ適用セラル、ヤ否ヤハ頗ル疑フヘシ然レモ輕罪ト雖ヒ其情重キモノ例ヘハ偽造貨幣行使ノ罪ノ如キハ妻法律上ノ保護ヲ蒙ルヘシ但シ毆打罪、私窩子ニ房屋ヲ給與スル罪ノ如キハ妻其實ニ任スルトノ説ヲ穩當トス

○夫ニ對シ家族又ハ妻ニ給與シタル物品代價請求ノ訴訟ニ於テハ妻夫ト同居セル時ハ妻ノ爲シタル注文ハ夫ノ代理者トシテ爲シタルモノト推測ス但シ分量非常ニ多キカ品柄非常ニ不相當ナルカ或ハ代價過當ナル時ハ以上ノ推測ヲ生セス而シテ妻夫ノ代理者タル推測ハ夫、妻ニ相當ノ給與ヲ爲シ必需品ノ買入ニ付夫ノ信用ヲ用非ルコトヲ禁シタル場合ニ於テハ商人其事情ヲ知ラサルモ夫其事實ヲ證明シテ妻ニ代理權アリトノ推測ヲ打破スルヲ得ヘシ
 夫妻別居中妻負債ヲ爲シタル時ハ別居ノ原因如何ニ由リテ代理推測ノ結果ヲ異ニス妻夫ノ爲メニ放逐セラル、カ又ハ放棄セラル、カ若クハ夫不行跡ニシテ同居ニ堪ヘスシテ別居シタル場合ハ夫ノ信用ヲ以テ必需品ヲ買入ル、ノ推測代理權ハ法律ニ於テ妻之ヲ有ス但シ夫、妻ニ相當ノ給與ヲ爲シタルカ或ハ約束上又ハ妻ノ力量ニ由リ自己及ヒ子女ヲ養育スヘキ場合ハ別段トス之ニ反シ夫ノ承諾若クハ正當ノ理由ナク妻、夫家ヲ去ル時ハ契約ヲ以テ夫ヲ拘束スルノ權ナシ而シテ夫妻承諾上別居シ別居後妻ノ身分相當ノ物品ヲ買入レタル場合ハ賣主ニ於テ夫ニ對シ其要求ヲ爲サントセハ明ニ或ハ暗ニ妻ニ代理ノ權アルコトヲ證明

セサル可ラス例セハ妻相當ノ給與ヲ夫ヨリ受ケサルカ或ハ夫約束シタル給與ヲ爲サ、ル時
ノ如シ而シテ妻、夫ノ信用ヲ用フルノ權利ハ夫ノ普通人タルト瘋癲人タルトニヨリ區別ヲ
生スルコトナシ

○妻、夫ノ信用ニ由テ物品ヲ買入ル、ノ權アルコトヲ推測シ得ル場合ト雖モ古法ニ由レハ
金錢ヲ借入ル、ノ權ナキモノトセラレタリ而シテ夫ノ不行跡ニ由テ別居シタル場合ト雖モ
又必要品買入ノ爲メニ費シタルモト雖モ妻ニ貸與シタル金額ハ夫ニ對シテ要求ヲ爲スヲ得
サリシ然レモ此原則タル普通感情ニ違フモノナレハ衡平法廳ハ物品ト金額ノ間ニ區別ヲ爲
サス必要品買入ノ爲ニ費シタル金額ハ必要品同様ニ見做スヲ以テ現行法トセリ

○療治ス可カラサル陰陽不具ヲ原因トセル婚姻無効ノ訴ニ於テハ古代ノ婚姻裁判所ハ稍ヤ
奇怪ナル原則ヲ採用セリ即チ陰陽ノ不具外部ニ顯然タラサル時ハ三年間無効ノ同居ヲ爲シ
タル後ニ非レハ不具タルコトヲ推測セス然レモ是唯他ニ善良ナル證據ナキ場合ニ限ルヘシ
然ラサレハ斯ル曖昧ナル規則ニヨリ事ヲ決スルノ必要ヲ見ス

○親子ニ關スル推測ニシテ敢テ必要ナルモノニアラサレモ左ニ一二ヲ列叙ス

親子同姓同名ニシテ證書類ニ記載ノ姓名親ナルヤ子ナルヤ疑ハシキ時ハ年長者ヲ指シタル
モノト推測ス例セハ遺囑證書若クハ約束手形ニ由リ甲氏、乙殿ニ或金額ヲ支拂フヘキ場合

ニ甲氏乙ナル者二名アル時ハ親ヲ以テ權利者ト推測ス但此推測ハ固ヨリ反證ヲ以テ打破ス
ルコトヲ得ルモノニシテ贈與者父ヲ知ラスシテ子ノミヲ知レルカ或ハ子手形ヲ有シタルノ
證據アルモハ充分ナル反證トス

親ハ子女ヲ養育スルノ道德上ノ義務アリト雖モ子女ノ負債ヲ支拂フノ義務ナシ又必要品買
入ニ費シタル負債ト雖モ同様トス

○事物ノ繼續ヨリ經驗セラレタル結果ニ基ケル多少ノ推測アリ即チ人ノ存立、人ノ關係、物
ノ或有様、ヲ證明シタル時ハ反證アラサル以上ハ若クハ事柄ノ性質ニ由リ反對ノ推測ヲ生
セサル以上ハ一度アリタル事ハ或時間繼續スルモノト推測ス例セハ一千六百八十九年迄或
習慣ノ存在セシコトヲ陪審役ニ於テ認定シタル場合ニ裁判官ハ右習慣ノ廢リタル證據ナキ
以上ハ一千八百四十年ニ猶右習慣アルモノト推測セリ又或財産分配事件ニ於テ既ニ丁年ニ
達シタル男子ナリシト雖モ反證アラサル以上ハ(家族ト別居セルノ類)依然獨立ヲ得サルモ
ノト推測シタリ又官吏ニ任セラレタル證據アリタル時ハ相當ノ年月内ニ於テハ反證アルニ
非レハ依然官職ヲ帶フルモノト推測ス

組合、代理、小作ノ關係其他類似ノ關係ハ其存在ヲ證明シタル時ハ解散若クハ消滅ノ證據ア
ラサル以上ハ依然存在セルモノト推測ス故ニ或事件ニ於テ一千八百十六年ニ成立ヲ證明セ

ラレタル組合ハ反證アラサリシヲ以テ一千八百二十八年ニ猶存セルモノト推測セラレタリ
又約束ニ由テ定メタル期限ヲ經過シタル後猶組合營業ヲ繼續シタル場合ニハ無定期組合ニ
抵觸セル個條ノ外ハ前ノ組合規則ハ依然採用セラル、モノト推測セラレタリ又或一人其妻
ニ自己ノ信用ヲ貸シテ物品買入ヲ爲サシメ右様ノ事柄數回繼續シタル後ハ其者妾ヲ放逐シ
タリト雖其情實ヲ知ラサル商人ニ對シテハ舊妾ノ買入レタル物品代價支拂ノ義務アルモ
ノトセラレタリ

○負債ノ存在ヲ證明シタル時ハ支拂若クハ解除等ノ證憑アラサル時ハ負債義務ハ依然繼續
セルモノト推測ス

人ノ意見ニ就テモ一度或意見ヲ有シタル時ハ(實際現今ノ有様ニ反對スト雖其變説ノ反證
アラサルトキハ依然其説ヲ有スルモノト推測ス例セハ耶蘇社會ノ人ハ耶蘇ヲ信スル者ト推
測スルカ故ニ其者不信ノ旨ヲ明言スル迄ハ依然該教ヲ信スルモノト推測ス然レ其瘋癲病ニ
罹リタルコトヲ證明スル時ハ反證アラサル以上ハ依然瘋癲者ト推測ス

○一度人ノ生存ヲ證明シタルキハ何等ノ消息アラスト雖其七年迄ハ生存セルモノト推測ス
羅馬法ニヨレハ消息ナキ人百歳以上ナル時ハ死亡シタルモノト推測シ又蘇國ノ法律ニモ同
様ノ規定アレ其英國法ニハ右様ノ事ナシ老年者ノ死生如何ニ就テハ英國法律ニ特別ノ推測
ナシト雖其儘少ナル事實ニヨリ往々其死亡ヲ推測

スルコトアリ例セハ發信ニ返信ナキ事實廣告
ノ搜索ニ通報ナカリシ等ノ事實ノ類ノ如シ

○生命繼續ノ推測ハ半世紀以上ノ長年月ニ涉ルト雖其或情況アル時ハ遙ニ短縮ナル年月ニ
制限セラル、トアリ例セハ永年ノ不在ニ理由ナキ時或ハ消息ヲ受ケヘキ者其消息ヲ得サル
時ノ如シ斯ル場合ニハ七年經過ノ後ハ生存ノ推測消滅シ舉證ノ責ハ死亡ヲ否定スル者ニ歸
ス此期限ハチャールス二世ノ條例ニヨリ畢生間ノ小作權ニ關シテ定メラレタルモノナレ其
他ノ場合ニモ適用セラル、コト、ナリタリ

重婚罪ニ關シテモ種々ノ條例ニ由テ此原則ヲ適用セリ而シテ重婚罪求刑ニ於テハ被告人及
ヒ其第一ノ妻トノ離居七年以上ニ涉ル時ハ第二ノ婚姻ノ際ニ前妻ノ生存ヲ證明スルノミニ
テハ重婚ノ罪ヲ組織スルニ足ラスシテ被告人ニ於テ前妻ノ生存ヲ知り居タルコトヲ證明セ
サル可ラス又七年間消息ナキ人ハ死亡シタルモノト推測スト雖其何年ニ死亡シタリヤ否ヤ
ノ推測ヲ生スルコトナシ故ニ三年目ニ死亡セシトカ四年目ニ死亡セシトカノ事實ヲ主張ス
ル者ハ其事ヲ舉證セサル可ラス

○或事件ニ於テ一小舟一千八百二十八年十二月ニテメララ地方ヨリ英國ニ向テ出發シ其月
ノ廿四日ニドミニカニ着シ其後乗組員一同ノ消息ナカリシ依テ副大法官ナイト、ブルース氏
ハ七ヶ年經過ノ後一千八百二十九年一月二十九日前ニ業ニ已ニ舟及ヒ乗組員ノ亡失セシモ

ノト推測シタリ其理由ハ八月ヨリ翌年十一月十日ノ間ニ在テハ西印度地方ニ於テハ非常ノ暴風ニテ保険料モ平生ニ倍加シ且ツドミニカヨリ英國迄ノ航海日數ハ通常二ヶ月以内ナルヲ以テ以上ノ如ク推測セラレタリ

又或事件ニ於テ人ノ死生ノ問題トナリシ時ニ事實ノ模様ニヨリ未タ七ケ年ヲ經過セサルニ死亡ヲ推測シタルコトアリ例セハ最終ノ消息ヲ得タル人老人ナルカ病身ナルカ又ハ非常ノ危険ニ遭遇シタル事實アル時ハ死亡シタルモノト推測セシカ如キ是ナリ

○二人以上ノ人殊ニ此者互ニ親戚ニシテ破船、討死、燒死等ノ如キ同一危難ノ爲メニ死亡セシ時ハ相續權ノ問題ニ關シ死亡ノ前後ヲ知ルコトノ必要ヲ生スヘシ然レモ斯ル場合ニハ證據ヲ得ルコトハ殆ント不能ノコトナリ故ニ羅馬法并ニ其他ノ法典ニ於テ附會ノ推測ヲ採用セリ

是等ノ推測ハ體格年齢男女等ノ區別ニ由テ差異アルモノトス羅馬法ニヨレハ父子同一危難ニ死シタル時ハ子成男前ナラハ親ヨリモ先ニ死亡シタルモノトシ既ニ成男後ナラハ親ヨリモ後ニ死亡シタルモノト推測ス其理由ハ前者ノ場合ニハ老者ヲ以テ體格健全ト爲シ後者ノ場合ニハ若者ヲ以テ體格健全ナリト爲スニ由ル

佛蘭西法典ニヨレハ十五歳及ヒ六十歳ノ二期ニ就テ區別ヲ爲スモノナリ即チ十五歳未滿ナ

ル時ハ老者ヲ以テ生存者ト見做シ六十歳以上ナル時ハ若者ヲ以テ生存者ト見做ス若シ一人十五歳未滿ニシテ他ノ者六十歳以上ナル時ハ若者ヲ以テ生存者ト見做シ二人共ニ十五歳以上六十歳未滿ニシテ男女性ヲ異ニセル時ハ男子ヲ以テ生存者ト見做ス但シ女子ヨリモ一年以上少者ニ非ル時ニ限ル

○斯ル場合ニ於テハ英國法律ハ何等ノ推測ヲモ爲サハルナリ而シテ全ク證據ナキ時ハ到底決ス可カラサルモノトシテ放棄ス譯者補以上ノ如キ場合ニハ原被告何レニテモ舉證ノ責アリ利ヲ伸張セントスル者ノ失敗ニ歸スル譯ナリ

或事件ニ於テ副大法官ナイト、ブルース氏ハ以上ニ類似セルカ如キ說ヲ吐露シタルコトアリ即チ年齢、體格、熟練ノ有無ニ由テ區別ヲ爲シタルコトアリ其事件ハ難船事件ニシテ二人ノ兄弟同様ニ死亡シタリ然ルニ兄ハ廿八歳ニシテ船長ヲ勤メ弟ハ未丁年ニシテ二等助手ヲ勤メタリ依テ兄ヲ以テ強壯ニシテ且ツ熟練アルモノトナシ弟ヨリモ活キ延ヒタルモノト推測セラレタリ然レモ此事件ハ信奉スルニ足ラサルモノトス

○保險法ニ於テハ船舶出帆ノ後相當ノ期限内ニ何等ノ報知ニモ接セサル時ハ其船舶ハ洋海ニ沈没シタルモノト推測ス報知トハ風説ノ類ヲ云フニ非スシテ確實ナル通信ヲ云フモノナリ又保險證書ニ由テ訴ヲ起スニハ其仕向港ノ證人ヲ呼出シテ船舶ノ未着ヲ證明セシムルニ

及ハス

保險船舶ニ付消息ナキ場合ニ於テ其亡失ヲ推測スルニ未タ一定ノ期限ヲ定メスト雖モ歐洲ノ港ニ在テハ出發ノ後六ヶ月其他ノ場所ニ在テハ十二ヶ月ヲ經過シテ消息ナキ時ハ保險金ヲ要求シ得ルトノ習慣ハ大ニ流行セルモノ、如シ

○保險法ニ關シ更ニ一ノ推測アリ即チ船舶出帆ノ後幾クナラスシテ原由ナク漏處ヲ生シ若クハ其他航海ニ不適當ナルニ至ルトキハ航海ノ當初ヨリ該船舶ヲ以テ航海ニ堪ヘサルモノト推測スルコトアリ然レモ此推測タル其實ハ法律ニ於ケル推測ニ非スシテ必スシモ保險人ヨリ船主ニ舉證ノ責ヲ移スニ足ルモノニアラス單ニ陪審役ノ參照ニ供スルノミ

○高等裁判所海事部ニ於テ採用スル若干ノ推測法ハ舉證ノ責ヲ移スノ結果アルヲ以テ多少ノ注意ヲ要ス例セハ衝突ノ場合ニ於テ甲船碇泊中ニシテ錨ヲ下シ居タル時ハ甲船ニ利益ノ推測ヲ爲シ乙船ニ於テ過失ナキノ證據ヲ舉クルヲ要ス又衝突ノ時ニ於テ甲船靜止ノ有様ニアル時ハ避クルヲ得サリシモノト推測ス故ニ之ト衝突シタル乙船ハ自己ノ責任ヲ免レン爲メニハ甲船ニ過失アルカ或ハ避クヘカラサル事柄若クハ天災ニ基因シタルコトヲ證明スルヲ要ス

兩船衝突ノ場合ニ於テハ船舶ノ管理者即チ船長ハ他ノ船舶ヲ助クルノ義務アリ若シ救助ヲ

爲サ、ル時ハ反證アラサル以上ハ其者ノ過失ヨリ衝突ヲ生シタルモノト推測ス又一千八百六十二年ノ商船法修正條例ニヨリ定メタル海上衝突豫防規則ヲ守ラサル時ハ違反者ニ過失アリタルモノト爲ス但シ該規則ヲ遵守スル能ハサル事由アルカ若クハ規則違反ハ決シテ衝突ニ關係ナキコトヲ證明スルヲ許ス

救難船、救難行爲中ニ損害ヲ受ケタル時ハ該損害ハ救難事業ヨリ生シタルモノト推測シ救難者ノ過失ニ原因シタルモノト推測セス

○我海律ノ原則ニヨレハ物品所有者及ヒ救助人間ニ打荷ニ關スル問題ヲ生スル時ハ財產權ノ所在ニ就テハ所有者ニ利益ナル推測ヲ爲ス即チオレロンノ條例三十三條ノ文ハ左ノ如シ「若シ堅牢ニ荷造シタル物品ヲ船舶ヨリ海上ニ投シタル時若クハ海水ノ爲ニ損害ヲ受ケサル様注意シタル簿冊ヲ海上ニ投棄シタル時ハ再ヒ之ヲ回收スルノ見込ヲ以テ爲シタルモノト推測ス故ニ發見者ハ右等物品ヲ其搜索セル事主ニ返還スルノ義務アルモノトス此原則タル七百五十年間海國ノ遵守スル所ト爲リ現時猶効力ヲ有スルモノナリ故ニ救助人棄船ニ對シテ要求ヲ爲ス場合ニテモ單ニ船舶ノ漂流セルコトヲ證明スルヲ以テ充分ト爲サス船長及ヒ海員ハ回收ノ見込ナクシテ棄船シタルモノナルコトヲ證明セサルヲ得ス

○船舶ノ所有主ハ一千八百五十四年及一千八百六十二年ノ商船條例ニ由リテ制限セラレタ

ル以外ニ於テハ自己所有ノ船舶航行中不注意ヨリ生シタル損害ヲ賠償スルノ義務アルモノトス而シテ第一條例ニヨリ船主責任ヲ免レントスルニハ條例ニヨリテ義務トシタル水先案内人ヲ用井ルヲ要ス然レモ單ニ危難ノ際水先案内人ヲ用井居タルコトヲ證明スルノミヲ以テ充分ト爲サス併セテ義務トシテ水先案内人ヲ用ヒタルコト及ヒ損害ハ水先案内人ノ過失ニ出テタルコトヲ證明スルヲ要ス

然レモ船主ハ自己ニ過失ナシト云フ消極ノ事實ヲ證明スルヲ要セス水先人ノ過失ニ出テタルコトヲ證明スレハ充分トス而シテ被害者ニ於テ猶ホ船主ニ責任ヲ負ハシメントスル時ハ須ラク船主ニ共同懈怠ノアリタルコトヲ證明セサル可ラス即チ舉證ノ責任ハ被害者之ヲ負フモノトス

船舶ノ法律上ノ持主ハ船長ノ注文シタル總テノ修繕船舶ニ必要ナル物品ヲ支拂フノ義務ヲ有ス何トナレハ反證アラサル以上ハ船長ハ總テ是等ノコトヲ爲ス代理權ヲ有スルモノト推測スレハナリ

○定マリタル住居ヲ有セス若クハ二個以上ノ住居ヲ有スル者ノ國民分限ニ就テハ法律ハ原住所ニ利益ノ推測ヲ爲ス但シ原住所トハ其者ノ生誕ノ地ヲ云フニ非ス其者ノ兩親ノ住居地ヲ云フナリ若シ原住所不分明ナル時若クハ原住所ヲ放棄シタルノ證據アル時ハ其者ノ現ニ

住居セル所ヲ以テ其者ノ定メタル住居ト推測ス然レモ此推測ハ反證ヲ以テ打破スルヲ得ヘシ即チ其者ハ或目的ノ爲ニ一時假ニ住居ヲ定メタルコト又ハ現住居ニ止マルノ意思ナキコトヲ證明シタル時ハ是等暫少ノ住居ヲ以テ法律上ノ住居ト爲ス可ラス

二個以上ノ國ニ家屋ヲ有スル者ハ己ノ妻子ノアル所ヲ以テ住居トス

○事實上ノ推測ハ通常推測證據法ノ第二部ヲ構成セルモノ、如ク論セラレタリ然レモ是レ實ニ證據法ノ範圍内ニ屬ス可キモノニ非ス是等ハ皆推論ノ方法ニシテ其前提ハ法律ノ規則ニ非ス即チ是等推論ノ方法ハ總テノ事柄ニ適用セラレ、モノニシテ論理ノ普通法式ニ由テ定メラル、モノナリ即チ法律上ノ關係ニ拘ハラス經驗上ヨリ示サレタル起信ノ法則トス是等ノ推測ノ法律上ノ推測ニ異ナル所以ハ法律上ノ推測ハ確定セラレタル成規ヲ爲シ國法ノ一部分ヲ構成スルモノナレモ事實上ノ推測ハ法律規則ニ關係ナク人間ノ經驗ニ由テ定メラル、モノトス例セハ折刀ノ一部分被害者ノ居宅ニ存シ他ノ一部分被告人ノ手中ニ存スル時ハ其者ヲ以テ犯罪者ナリトノ推測ヲ生スルコトハ法律ニ關係アルニ非ス

○事實上ノ推測ハ法律ノ如何ニ拘ハラス同様タルヘキモノトス即チ法律上ノ推測ハ各國法律ヲ異ニスルニ從ヒ差異ヲ生スヘキモ事實上ノ推測ハ法律ノ異同ニ由テ差異ヲ生スヘキモノニ非スローン王カ二個ノ婦人ノ小兒爭ヒヲ爲シタル時ニ真正ノ母ヲ發見セント欲シテ

用井タル手段ハ今日ト雖ヒ猶ホ用井ラル、モノナリ二個ノ婦人一子ヲ争フデ決セス依テ王ハ其子ヲ殺シ折半シテ各婦人ニ一部ヲ與ヘント命シタルニ痛哭之ヲ留メ他ノ婦人ニ其子ヲ與ヘンコトヲ申出タル者ヲ實母ト爲シ王ハ之ニ其子ヲ與ヘタリ是等ヲコソ事實ノ推測トコソ云フ可ケレ

○事實ノ推測ヲ爲スハ陪審役ノ專權ニ屬ス然レヒ判事ハ其見込ニ由リテ忠言ヲ爲スコトアリ

第二編 證據提出ノ規則

第一章 陳述ト證據ノ一致スル事 争點事實 不一致 修正

○訴訟審理ニ於ケル證據ノ提出ハ數多ノ原則ニ由リテ支配セララル今之ヲ大別スレハ四トナル第一證據ハ對手人ノ陳述ト一致スルヲ要ス而シテ争點ニ關スル事實ノミヲ立證スヘシ第二證據ハ争點ニ關スルモノ、ハミニ制限セララル第三舉證ノ責ハ主トシテ積極ヲ主張スルモノニ在リ第四事柄ノ性質ニヨリ最善ノ證據ヲ提出スルヲ要ス今順序ヲ逐フテ是等ノ諸規則ヲ説明スヘシ

○訴答狀ハ對手人等ノ書面陳述ヲ以テ成立ス而シテ一方ニ於テ申張シ他方ニ於テ否拒スル所ノモノヲ争點ト名ツク若シ争點事實ニ關スルキハ第一ニ必要ナル規則ハ下ノ如シ即チ證據ハ陳述ト一致スルヲ要スト雖ヒ争點ノ主體ニ就テ立證アル時ハ充分トス抑モ訴狀ノ主タル目的ハ訴訟對手人ヲシテ争論ノ性質ヲ豫知セシムルニ在ルカ故若シ對手人ニシテ訴答狀記載ノ事柄ト不一致ナル事實ヲ隨意ニ陳述セシムルヲ許ストキハ訴答狀ノ主意ニ反スヘシ故ニ此原則ヲ設クル頗ル必要ナリ古昔ハ此原則ヲ執行スル嚴ニ過キ陳述ト證據ト差異アルトキハ之ヲ不一致ト稱ヘ對手人ハ敗訴ニ至リシモノナリ

○例セハ馬匹賣買擔保破約ノ訴ニ於テ原告ハ馬匹ノ佳良ナルコトヲ一般擔保トシテ訴狀ニ

記載セリ然ルニ原告ノ提出シタル證據ニヨレハ馬匹ハ或ル水腫病ニ罹レルコトヲ立證セリ然ルニ裁判官ハ訴狀記載ノ事實ト立證ノ事實トノ不一致ヲ以テ原告ヲ敗訴トセリ又誹謗ノ訴ニ於テ原告ノ訴狀ニハ「不扱及ヒ不學」ノ語アリシ然ルニ證據物トシテ提出シタル書類ニハ「不學及ヒ怠慢」ノ語アリシヲ以テ不一致ト爲シ原告敗訴セリ

○右等顯著ナル弊ハ遂ニ立法官ノ注意ヲ促カシ救治ニ從事セシメタリ即チ一千八百二十八年一千八百三十三年一千八百五十二年一千八百五十四年一千八百六十年等ノ條例ニヨリ訴答狀ノ錯誤不一致ヲ訂正スルコトヲ許セリ

○訴狀修正ニ關スル法律ハ以上ニ述ヘタル沿革ノ外一千八百七十三年及ヒ一千八百七十五年ノ法律執行迄ハ何等ノ變更モナカリシ而シテ以上ニ法律ハ一千八百八十三年ノ法律ニ由テ廢セラレタリ而シテ高等裁判所ニ於ケル訴狀修正ニ關スル法律ハ同年ノ法律第十六號第十九號第二十八號ニヨリテ規定セラレ

○以上諸法律ハ刑事訴訟及ヒ離婚其他夫婦間ノ訴訟ニ適用セリ

○第十六號法律中最モ肝要ナルモノハ第二條、第十一條及ヒ第十二條トス其第二條ノ文ハ左ノ如シ

原告トシテ起訴シタル人ニ誤アルカ又ハ正當原告ノ名ニテ起訴セラレタルコト疑ハシキ場

合ニハ裁判所又ハ裁判官ハ若シ其誤善意ニ出テ訴訟ノ事柄ヲ正當ニ判決スル爲メニ原告ヲ變換スルノ必要アルカ或ハ原告人ヲ追加スヘキ必要アル時ハ相當ノ條件ニ由リ之ヲ許ス以上ノ法文ニ由レハ錯誤ノ善意ニ出テタルコトヲ必要トス又新ニ原告者ヲ追加スル場合ニハ其者ノ承諾アルヲ要スヘシ

○第十一條ノ文ハ左ノ如シ

訴訟事件ニ於テ誤テ連帶ニス可カラサル對手ヲ連帶ニシ若クハ連帶ニスヘキ者ヲ連帶ニセサル時ト雖モ之カ爲メ對手人等ノ有スル本案權利ノ消長ニ關係ナカルヘシ又裁判所若クハ裁判官ハ訴訟中何時ニテモ對手人ノ請願ノ有無ニ拘ハラズ不都合ト認ムル時ハ相當ノ條件ヲ附シ連帶對手人ヲ削リ若クハ追加スルコトヲ得

○第十二條ノ文ハ左ノ如シ

原告人若クハ被告人ヲ追加シ消除シ若クハ變換スルノ請願ハ審問前何時ニテモ之ヲ爲スヲ得又畧式訴訟ナル時ハ審問ノ際ト雖モ猶之ヲ爲スヲ得此規定ニヨレハ郡裁判所判事ト雖モ高等裁判所ヨリ移サレタル事件ニ就テハ修正ヲ爲スヲ得ルモノトス又第十九條ニヨレハ訴訟中何時ニテモ裁判所若クハ裁判官ハ訴狀中誹謗ニ涉ル文字、不用ナル文字、訴訟審理ニ妨害アル文字ヲ取消サシムルヲ得

○法律第二十八號ハ左ノ如シ

- 一、裁判所又ハ裁判官ハ訴訟中何時ニテモ對手人間ノ權利ヲ真正ニ判定スル爲メ必要ト認ムルキハ原被告何レニテモ相當ノ條件ニ由リ書類ノ修正ヲ許スヘシ
- 二、原告ハ裁判所ノ許ヲ待タズ被告ノ答辯期限前又ハ答辯ヲ爲サ、ル前ニハ己ノ要求ヲ變更スルコトヲ得若シ被告答辯ヲ爲サ、ル時ハ被告ノ最終ニ出廷スヘキ日ヨリ四週間内ナラハ己ノ要求ヲ變更スルヲ得
- 三、被告反求ヲ爲スカ又ハ相殺ヲ求ムル時ハ答辯期限内ナラハ裁判所ノ許可ヲ待タズ修正ヲ申立ツルヲ得又原告ニ於テ之ニ對スル答辯ヲ爲サ、ル時ハ二十八日以内ニ於テハ修正ヲ申立ツルヲ得
- 四、前二條ニ由テ修正ヲ爲シタル時ハ反對々手ハ修正ノ訴狀ヲ得タルヨリ八日以内ニ裁判所若クハ裁判官ニ申立テ修正ヲ許可スヘカラサルノ理由ヲ述フルヲ得裁判官若シ正當ト認ムル時ハ修正ヲ許可セサルカ或ハ之ヲ許可スルモ訴訟費用若クハ其他ノ點ニ付相當ノ條件ヲ附スルヲ得ルナリ
- 五、對手人第二條若クハ第三條ニヨリ訴答狀ヲ修正シタル時ハ反對々手ハ八日以内ニ修正訴狀ニ對スル答辯ヲ爲スヘシ若シ之ヲ爲サ、ル時ハ前ニ差出シタル答辯ヲ以テ修正訴狀ニ充

テタルモノト見做ス

- 六、以上諸規則ニ合格セサル場合ニ於テ對手人訴答狀ヲ修正セントスル時ハ裁判所又ハ裁判官ノ許可ヲ得ルヲ要ス裁判官若シ之ヲ許スキハ訴訟費用其他ノ點ニ付相當ノ條件ヲ附スヘシ
- 七、修正ノ許可ヲ得タル對手人ハ判事ノ定メタル期限内ニ修正ヲ爲スヲ要ス若シ期限ノ特定ナキ時ハ許可ヲ得タルヨリ十四日以内ニ修正スヘシ若シ其期限ヲ經過シタル時ハ修正ノ許可ハ當然無効ニ歸ス
- 八、令狀裏書若クハ訴答狀ヲ修正スル場合ニハ原本ニ付修正ヲ爲スモ可ナリ又紙片ヲ貼附シ記入ヲ爲スモ可ナリ但シ字數百四十四言ナル時又ハ修正頗ル錯雜シテ讀ミ難キ場合ハ更ニ修正本ヲ印刷ニ附シテ提出スヘシ
- 九、令狀裏書若クハ訴答狀ヲ修正シタル時ハ修正ノ日及ヒ修正ノ命ヲ受ケタル日ヲ記入スヘシ
- 十、令狀裏書又ハ訴答狀ヲ修正シタルキハ修正本ヲ反對々手ニ送達スヘシ
- 十一、裁判言渡又ハ命令書ノ筆記ノ誤ハ上訴ニヨラス請願ヲ以テ裁判所又ハ裁判官之ヲ訂正ス
- 十二、裁判所又ハ裁判官ハ何時ニテモ相當ナリト思量スル條件ニヨリ訂正ヲ爲スヲ得

十三、第二條、第三條ニ由リ修正ヲ爲シタル爲メ生シタル費用ハ裁判官ノ特別命令ノ外ハ修正者ノ負擔スヘキモノトス

○以上諸規則ヲ總括スル時ハ第一裁判所又ハ裁判官ハ訴訟中何時ニテモ令狀裏書若クハ訴答狀ノ變更修正ヲ許スコトヲ得第二是等變更増減ヲ許スハ訴訟ノ真正ノ争アル所ヲ決スルニ必要ナル處分トシテ之ヲ行フヘキモノトス第三訴訟費用ヲ負擔スルノ覺悟ヲ以テスル時ハ原被告共裁判所ノ許ナク申立ヲ變更スルヲ得第四修正許可ノ請願ハ裁判所又ハ審理席ニ於テ裁判官ニ對シ之ヲ爲スヲ得第五訴答狀中ノ誹謗ニ涉ル言語若クハ不都合ナル言語ハ除去セシムルヲ得第六是等修正ハ費用若クハ其他ノ點ニ付相當ナル條件ヲ附シ許可スルヲ得ルモノトス

○是等諸規則ニ由テ判事ニ與ヘラレタル修正許可ノ權ハ訴訟人ニ非常ノ便益ヲ與フルモノナリ然レモ未タ疑點ヲ充分ニ説明スル程ノ判決例ハ之アラサルナリ

○是等諸點ヲ説明スル判決例中最モ重要ナルモノハブツチング對マルドックノ事件トス本訴ハ流水ニ關スル權利ノ争ナリシ而シテ原告ハ最初ニハ證書及ヒ經時効ニ由テ自己ノ權利ヲ主張セリ然ルニ審理ノ際右兩點ニ於テ失敗シタルヲ以テ更ニ新ナル事實ヲ提出シ原告ハ非常ナル費用ヲ以テ水路ヲ築造シ被告ノ先代ハ之ニ對シ故障ヲ述ヘス暗黙ノ承諾ヲ爲シタル

モノトノ論點ヲ提出シタリ依テ裁判官ハ原告論點ノ修正ヲ許可シ更ニ原被告共新ナル證據ヲ差出シ辯論ヲ改ムルコトヲ許セリキング對コルクノ事件ニテハ原告ハ故意ノ怠慢ヲ以テ被告ヲ訴ヘタリサレト何等ノ事實ヲモ證明スル能ハサリシ然ルニ審理ノ際却テ被告答辯中ノ事實ニ原告利益ノモノアリシヲ以テ之ヲ原告訴狀中ニ修正記入センコトヲ請願セリ依テ裁判官ハ之ヲ許可シ併セテ其日ノ訴訟費用ハ原告ノ負擔ト定メタリ又或事件ニ於テ詐欺及脅迫ヲ理由トシ財産處分ノ取消ヲ請求シタルニ審理ノ後其申立ヲ變更シ處分者ノ精神不完全ヲ理由ト變更スルコトヲ許セリ又或事件ニ於テハ被告ハ他ノ連帶被告ト同一連帶ノ答辯ヲ爲シタルニ其者ニ限り他ノ被告トハ別ニ答辯スヘキコトアリタルヲ以テ裁判官ヨリ之ヲ注意セラレ更ニ答辯ヲ爲スコトヲ許サレタリ然レモ夫レカ爲メ原告ニ不用ノ費用ヲ蒙ラシメタルヲ以テ被告ハ其辨償ヲ命セラレタリ

○チルレスレー對ハーパーノ事件ニ於ケル事實ハ左ノ如クナリシ
被告ハ原告ヲシテ小作ヲ承諾セシムル爲メ原告ニ五百磅ノ禮金即チ賄賂ヲ與フルコトヲ約シ實際二百磅ヲ支拂フタリトノ原告ノ陳述ニ對シ被告ハ原告ノ陳述ヲ許否シタリシカ何等ノ賄賂モ授受セサリシトノ陳述ナカリシヲ以テ裁判官ハ或賄賂ハ被告ニ於テ承諾シタルモノト認定セリ依テ被告ハ己ノ答辯ヲ修正シ更ニ何等ノ賄賂ヲモ授受セサリシ旨ヲ答辯セン

トシタリシニ判事ハ右修正ヲ許可セサリシヲ以テ被告ハ之ニ服セスシテ上訴シタリシカ上訴裁判所ハ原裁判ヲ破毀シ修正ヲ許可セリ判事ブラムウエル卿ノ説ニ曰ク修正ハ請願書ニ惡意アラサルカ或ハ修正ノ爲メ原告ニ償フ可カラサル損害ヲ與フル場合ノ外ハ總テ之ヲ許可スヘキモノト云ヘリ然レモ修正ノ許否ハ判事ノ見込ニアルコトナレハ非常ノ不都合ニアラサル以上ハ大抵ハ上訴スト雖モ原判事ノ意見ハ容易ニ破毀セラレサルナリ

○以上ニ述ヘタル諸判例ハ未タ修正ニ關スル疑問ヲ盡スニ足ラサルヲ以テ更ニ舊法時代ノ判例ニヨリ必要ナル陳述ト不必要ナル陳述トノ區別ヲモ説明スヘシ今先ツ修正ノ許可セラレタル場合ヨリ枚擧セン

○メー對フートナーノ事件ニ於テ原告陳述ノ要領ハ被告ニ於テ原告ノ地所ニ侵入シタリトノコトナリシ從テ第一ニ地所ハ原告ノ所有ナルヤ第二地所ニ往還ナキヤトノ問題ヲ生シタリ然ルニ審理ノ未被告侵入ノ際ニハ地所ハ或小作人ノ占有ナリシヲ以テ原告ハ己ノ申立ヲ變更シ地所ノ未來權ニ對スル損害ト訴旨ヲ變換スルコトヲ請求セシカ裁判官ハ之ヲ許可セリ又他ノ事件ニ於テハ或物品ハ三月某日ニ於テ引渡サレシヤ否ヤノ事實爭點トナレリ然ルニ審理ノ未物品ノ引渡ヲ爲サレタル時間ハ被告ニ於テ物品ヲ受取ルヘキ義務ヲ生スヘキ正當ノ時間ナリシヤ否ヤカ眞ノ爭點トナリシヲ以テ裁判官ハ原告ノ申立ニヨリ爭點變換ヲ許

可セリ

○修正ヲ許サ、リシ事件ハ深ク之ヲ研究スルノ必要ナシ何トナレハ舊法時代ノ判例ハ新法施行以來標準トナラサレハナリ只茲ニ一個ノ適當ナル事件アレハ之ヲ表出スヘシウヰルキ對リードノ事件ニシテ其要領ハ左ノ如シ原告ハ其訴狀ニ於テ被告カ其解備シタル手代ヲ原告ノ雇入ル、ニ際シ何故解備シタルヤヲ問ヒシニ自己ノ商業衰微シタルヲ以テ之ヲ解備シタルモノナレハ其手代ハ原告ニ於テ遣ヒ試ムヘシト陳述セリ然レモ其實ハ該手代ハ不正ノ所爲アリテ解備シタルモノナル事實ヲ故意ニ隱匿シタルモノナリト記載セリ而シテ審理ノ際發見シタル事實ニヨレハ原告ハ手代解雇ノ事實ヲ問合セタルコトハ眞實ニシテ又被告カ原告ニ答ヘタルモ己ノ商業衰微ノ原因ヲ以テシタルコトモ事實ナリシ然ルニ其手代ハ被告ニ雇ハレ中受寄ノ金錢ヲ費消シタルコトアリタレモ手代ノ性質ニ付原告ハ何等ノコトモ問合ハサ、リシヲ以テ被告ハ何等ノ答辯モ爲サ、リシナリ斯ル事實ノ證明セラレタル爲メ原告ハ訴狀ノ修正ヲ申出タリ即チ手代不正ノ行爲アリシ事實ヲ被告ニ於テ故意ニ隱蔽シタルコトアリト訴狀ヲ修正センコトヲ申出タルナリ然ルニ判事ハ其修正ヲ許サ、リシ何トナレハ本訴ノ爭點ハ手代ノ不正ナリヤ否ヤニアラスシテ被告ニ於テ己レカ其手代ヲ解備シタル眞實ノ事實ヲ述ヘタルヤ否ヤニアレハナリ

○原告カ故意ニ訴狀中ニ記載シタル事柄ハ概ネ之ヲ除去スルヲ許サ、ルモノトス例セハ輕躁不注意ヲ以テ誤テ記入シタル事柄ハ修正ヲ許スト雖モ被告ニ不便ヲ與フル爲メ故意ニ記入シタル事柄ハ原告ノ不利トナルニ至ルモ裁判官ハ削除ヲ許サ、ルヘシ又審問ノ際原告ニ於テ其求ムル救濟ヲ誤リタルコトヲ發見スルモ訴訟ノ性質ヲ變更スルコトハ裁判官ニ於テ之ヲ許サス

○事實裁判所ニ於テ原告訴狀ノ修正ハ被告ヲシテ相當ノ答辯ヲ爲スヘキ機會ヲ失ハシメタル場合又被告ヲシテ全然異ナリタル答辯ヲ爲サシメ或ハ原告ニ於テ當初訴狀ニ記載シタル契約トハ全然異ナリタル他ノ契約ヲ提出セシメ被告ニ不意ノ答辯ヲ強エルカ如キ場合ハ其修正ヲ許サ、ルヘシ

○真正ノ争點ヲ判決スル爲メ必要ナル修正ハ何レノ點迄之ヲ許可スルヤハ實際ニ就テ論スル外他ニ方法ナシ或時判事モール氏ノ云ヘルニ訴訟人ノ不注意、無學或ハ不熟練ノ爲メ訴訟真正ノ争點ヲ訴狀ニ記載セサルコトアリ斯ル場合ニ修正ヲ許サ、ル時ハ實際ニ於テ不公平ノ結果ヲ生ス然レモ既ニ原被告訴狀ヲ提出シ争點一定シタル後ナラハ修正ヲ許スト許サ、ルトハ法律ノ命令的強制ニアラスシテ判事ノ見込ニ任セサル可カラス或貸金事件ニ於テ原告ハ貸金アリト主張シ被告ハ借リタル覺ナシト拒絕シ争點一定シタル後被告ハ更ニ答辯

ヲ改メ借リタルコトハアレモ違法貸借ナルヲ以テ原告ニ回復ノ權利ナシト修正セリ然ルニ判事ハ之ヲ許サ、リシ

○舊法時代ノ判例ナレモ實際的ノ關係若干ヲ述フヘシ第一ニ事實裁判所ニ於テハ修正ハ審問中ノ許スト雖モ審問終了ノ後判決前ニ之ヲ爲スヲ許サス但シ反對々手ニ於テ其權利ヲ放棄スル時ハ特別トス第二ニ許否ハ主任判事ノ權内ニアルモノトス第三ニ修正ヲ許シタルカ爲メ他ノ書類ニ變更ヲナスコト必要ナル時ハ判事之ヲ命スヘシ第四裁判官許否ノ權ハ裁判所ニ於テ之ニ干渉スルコトナシ但シ雙方對手人承諾アル時ハ裁判官ハ許否ノ點ニ付尋常法律ニ於テ有スルヨリハ過分ノ權ヲ有ス

○訴訟費用ノ點ニ就テハ各事件ノ模様ニヨリ變化ヲ來スカ故ニ一定ノ原理ヲ述フルコト頗ル難シ然レモ訴狀修正ノ爲メ反對々手人ニ餘分ノ費用ヲ負擔セシムルコトヲ得ヌ例セハ修正ノ爲メ呼出シタル證人ノ不必要ヲ生シ或ハ提出スル必要ナキ書類ヲ提出セシメタル時ハ修正者ハ其費用ヲ辨償スヘシ又訴狀修正ノ爲メ延期ヲ必要トスル時ハ反對々手ニ延期ヲ與ヘ延期ヨリ生スル費用ハ修正者之ヲ負擔セサル可ラス而シテ假令修正シタル場合ト雖モ反對々手ヲ誤ラシメサル時ハ費用ヲ負擔スルノ必要ナシ

○事實裁判所ノ判事ニ於テ修正ヲ許シ同時ニ費用ノ分擔者ヲ指定スヘキニ誤テ指定セサル

モ費用ヲ要求スルノ妨ト爲ラス

○郡裁判所判事ニハ過大ナル修正ノ權利ヲ法律ニ於テ附與セリ即チ訴訟人ノ姓名、説明、數、訴訟人ノ資格等ニ誤アル時ハ何時ニテモ之カ修正ヲ許ス又ヅ井クトリヤ十九、二十年ノ法律第八篇第五十七節ニヨレハ即裁判所判事ハ何時ニテモ訂正スヘキ錯誤ノ修正ヲ要求スル對手人ノ過失ナルト否トニ拘ハラヌ總テ之ヲ爲スヲ許ス而シテ費用其他ノ點ニ就テハ總テ判事ノ見込ニ一任ス然レモ原告ノ要求果シテ郡裁判所ノ管轄權内ニ屬スルヤ否ヤ明瞭ナラサル場合ニハ裁判官ニ於テ自ラ之カ修正ヲ命シ明ニ己ノ管轄内ノ事件タラシム可ラス

○一千八百四十八年前ニ在リテ刑事訴訟ニ於ケル修正許可ノ法律ハチヨ一シ九年ノ法律ノミナリシ即チ訴狀ト書類證據トニ異同アル時ハ輕罪事件ニ限り修正ヲ許セリ然ルニ一千八百四十八年ニ至リ總テノ犯罪ニ之ヲ適用スルヲ許シタリ然ルニ未タ之ヲ以テ充分トナサス一千八百五十一年ニ至リカムベル卿ノ發案ニ由リ記錄及ヒ證據トノ間ニ異同アル時ニハ之カ修正ヲ許シ民事事ノ間遂ニ甚シキ逕庭ナキニ至レリ

○從來公訴狀記載ノ事柄ト證據上ノ人名、日附、事實、ニ差異アル時ハ本案ニ對シ影響ヲ生セサル場合ト雖モ猶ホ修正ヲ許サ、リシカ爲メ法律ノ執行ヲ妨ケタルニヨリ同年法律第一節ニ左ノ文アリ

重輕罪ノ審問ニ於テ公訴狀記載ノ事實ト證據書類記載ノ事實トノ間ニ郡名、町名等ノ差異、人物ノ説明、財産所有者ノ誤記等アリテ異同ヲ生スト雖モ本案裁判ノ有無罪ニ影響ヲ及ホスコトナク且之カ爲メ被告ニ答辯ノ不利ヲ生セサル時ハ裁判所ノ官吏又ハ其他適當ナル人ハ修正ヲ爲スコトヲ許ス又審問延期ヲ相當トスル時ハ延期ヲ爲スコトヲ許ス而シテ修正ヲ遂ケタル時ハ始メヨリ修正ヲ經サルト同様更ニ審理ニ着手シ修正本ハ他ノ書類ト共ニ裁判所ノ記錄ニ存ス

○是等ノ條例ニヨリ從來ノ不都合ヲ改正シ大ニ面目ヲ改メタリ又被告辯護人ニ於テ陪審役ニ對シ既ニ辯論ヲ試ミタル後ト雖モ猶修正ヲ許ス但シ裁判言渡ノ後ハ修正ヲ許サス又一旦修正ヲ許サレタル時ハ更ニ修正ノ誤ナルヲ發見スト雖モ原告公訴狀ニ復スルヲ得ス又重輕罪ノ變更ヲ來スヘキ修正ヲ許サス

○カムベル卿ノ法律ノ行ハレテヨリ既ニ三十三年ヲ經過シタレモ裁判官ノ之ニ對シテ爲シタル解釋ハ未タ充分ト考ヘラレス或ニ三判事カ舊法律ニ對シテ爲シタル過嚴ノ解釋ハ動モスレハ吾人ヲシテ杞憂ヲ懷カシムルモノナリ然レモ現時ニ在リテハ裁判官ニ在リテモ單ニ法文ニ拘泥シテ實際ノ不都合ヲ生スルノ不可ナルヲ發見シタルノ傾キアレハ此法律ヤ蓋シ適當ノ解釋ヲ得ルニ至ラン民法ニ於テハ寬大ナル解釋ヲナシテ至當ノ修正ヲ許シ任ラ獨リ

刑事ニ至リテハ舊來ノ格言ヲ墨守シ嚴格ナル解釋ヲ以テ新法ノ精神ヲ失ハ、余輩ハ其可ナルヲ知ラサルナリ

○民刑訴訟手續ニ關シ修正ヲ許ス法律ニ付既ニ述ヘタル所ヲ以テ充分トスレモ修正ヲ求ムル對手人ハ之カ爲メ費用ヲ蒙リ不便ヲ受クルコトナレハ不一致ニ關スル多少ノ事例ヲ述フルノ必要アリ

○第一不要ナル陳述ハ立證ヲ要セス若シ證明スル爲メ證據ヲ提出スルハ之ヲ排斥スルモノトス不要トハ之ヲ抹殺スルモ訴訟本案ノ勝敗ニ關係ナキ一切ノ事柄ヲ云フ此定義タル固ヨリ不完全タルヲ免レスト雖モ斯ル問題ハ各訴件ノ實地ノ模様ニ由テ差異ヲ生スルモノナルカ故ニ一言シテ能ク盡シ得ヘキニ非スウヰリヤムソン對アンソンノ事件ハ能ク此點ヲ證明スルモノナリ該訴狀ハ私犯ノ訴ニシテ或葡萄酒ヲ印度ニ輸出スル爲メ充分適當ナル有様ナルコトノ擔保アリタルニ被告ハ其不適當ナルコトヲ知リツ、原告ヲ欺キタリト云フニアリシ審問ノ際原告ハ被告ニ於テ不適當ノ有様ナルコトヲ知リシトハ證據ヲ提出セサリシモ裁判官ハ原告勝訴ノ裁判ヲ與ヘタリ依テ被告ハ再審理ノ請願ヲ爲シ其理由トシテ原告カ訴狀記載ノ事實ニ對シ證據ヲ提出セサリシコトヲ申立タリ然ルニ裁判官ハ被告ノ請願ヲ拒絕シ其理由トシテ述ヘタルニハ本訴ニ於テハ物品擔保ノ約束アルヲ以テ被告カ不適當ナルコトヲ知ルト否トハ擔保破約ニ關係ナキモノナリ故ニ實際物品ニシテ不適當ナリシナラハ被告ノ之ヲ知リシト否トハ本案裁判ニ關係ナケレハ原告訴狀ニ其事ヲ記載シタレハ逆之ヲ證明セシムルノ必要ナシト

○又被告カ土砂ヲ取去リタル爲メ原告家屋ノ基礎ノ傾覆ニ對スル損害賠償ノ訴ニ於テ被告ニ惡意アリシコトノ陳述ハ原告訴狀中ニ之アリタレモ裁判官ハ證明セシムルヲ要セスト爲セリ何トナレハ其記載ヲ抹殺スルモ猶原告ニ訴權アレハナリ

○刑事々件ニ在リテモ民事々件ト同様不要ナルコトハ證明スルニ及ハスト雖モ原告ニ於テ無用ノ事柄ヲ記載シ原告ノ爲メニハ無用ナルモ若シ被告ノ爲ニ利益ナル事柄ナルカ又ハ利益ノ端緒トナルヘキモノナレハ原告ハ之ヲ證明セシメラル、コトアリ右ノ原則ニヨリウヰクトリヤ十四、十五年ノ條例前ニハ生ケル家畜ヲ盜取シタリトノ訴狀ナル時ハ死セル家畜ヲ盜取シタリトノ證據ニテハ充分トセス又動物ノ色ヲ記述シタルハ之ヲ立證スルノ必要アリトセラレタリ

○第二重複ノ記載ハ其不必要ナル一部分ハ立證ヲ要セス或被告事件ニ於テ訴狀ニハ被告カ誹譏文章ヲ編述、印刷出版シタルコトヲ記載セリ然ルニ被告ハ其文章ノ著者ナリトノ證據憑ナカリシ然レモ裁判官ハ之ヲ必要ト爲サ、リキ何トナレハ英法ニ於テハ誹譏ノ文章ヲ印

刷出版スルキハ著者ナルト否トニ拘ラス同罪ナレハナリ

○謀殺ノ公訴狀ニ於テ豫謀ノ證憑ナシト雖モ通常殺人ノ判決ヲ爲ス妨害ト爲ラス何トナレハ謀殺ト通常殺人トハ罪質ニ差異ナク只加減ノ理由タルニ過キサレハナリ

○意思ノ立證ハ同種類ノ意思ナル時ハ一部分ニ對スル證明ヲ以テ充分トスレモ異リタル時ハ各自ニ立證ヲ要ス例セハ羊全群ヲ盜取スルノ意思ヲ以テ羊ヲ殺シタリトノ公訴狀ニ於テハ其一部分ヲ盜取スルノ意思ニテ一部分ヲ殺シタリトノ事實ニ修正スルヲ得ト雖モ盜罪ノ意思ニテ家宅ニ侵入シタルコトヲ公訴狀ニ記載シタル場合ニ姦罪ヲ目的トシテ家宅ニ侵入シタルコトヲ立證シタル時ハ其差異ハ公訴狀ヲ廢棄スルノ結果ヲ生スヘシ

○上來述ヘタル事柄ハ立法上多クノ場合ニ採用セルコトアリ例セハ殺兒罪ヲ以テ求刑セラレタル婦女ハ出產隱蔽ノ罪ヲ以テ罰スルコトヲ得又身體生命ニ關スル重罪ノ被告人ハ身體生命ニ對スル輕罪ヲ以テ罰セラル、コトヲ得又普通強盜、加重ノ條件アル強盜罪ヲ以テ求刑セラレタル被告人ハ盜罪ヲ犯スノ目的ニテ脅迫シタルノ罪ヲ以テ罰スルヲ得又一千八百五十一年ノ法律ニヨリ重輕罪ノ被告人ハ重輕罪未遂ヲ以テ罰セラル、ヲ得ト定メタリ

○海軍刑法ニ於テ以上ニ述ヘタルト同一ノ原則ヲ採用セリ例セハ一千八百六十六年海軍刑法第四十八節ニ曰ク謀殺ヲ以テ求刑セラレタル被告人ハ軍法會議ニ於テ殺人罪若クハ毆打

罪ヲ以テ裁判ヲ言渡スヲ得竊姦ヲ以テ求刑セラレタル被告人ハ軍法會議ニ於テ猥褻的暴行ヲ以テ裁判ヲ言渡スヲ得、盜罪ヲ以テ訴ヘラレタル被告人ハ軍法會議ニ於テ盜罪未遂、受寄物費消ヲ以テ裁判ヲ言渡スヲ得ト而シテ此法律ニ由テ罰セラル、總テノ犯罪ニ對スル證憑不充ナル時ハ同種類ニ屬スル輕刑ノ犯罪ヲ以テ罰セラル、ヲ得ト規定セリ

○一千八百八十一年陸軍刑法ハ其第五十六節ニ於テ以上ト同様ノ規定ヲ爲セリ即チ盜罪ノ被告人ハ受寄物費消ヲ以テ罰セラル、ヲ得又受寄物費消ヲ以テ訴ヘラレタル被告人ハ盜罪ヲ以テ罰セラル、ヲ得又軍隊逃亡ヲ以テ求刑セラレタル被告人ハ許可ナクシテ隊ヲ離ル、ノ罪又ハ盜罪未遂ヲ以テ罰セラル、ヲ得而シテ總テ此法律ニ由テ罰セラル、犯罪ノ爲メ軍法會議ニ求刑セラレタル被告人ハ其證憑不充ナリト雖モ同種ノ輕罪ヲ以テ罰セラル、ヲ得ト規定セリ

○民事訴訟ニ於テモ同一ノ原則ヲ適用ス例セハ誹譏ノ訴ニ於テ原告人損害アリタルコトヲ明言シ之ヲ證明スル能ハスト雖モ誹譏ヲ構造スル言語其レ自身ヲ以テ起訴ノ理由トナル時ハ損害ノ不證明ハ原告ノ訴權ヲ害セス又保險契約ニ於ケル訴ニ於テモ損失ノアリタルコトヲ明言セル時ハ全損分損ノ區別ハ程度ノ問題ニ屬スルヲ以テ必要トセス又全損ヲ明言シ證明ハ分損ニ止マルト雖モ原告敗訴ノ原因ト爲ラス又訴狀ニ於テ明記シタル事實ヲ證明スル

能ハスト雖同種類ニ屬スル輕件ハ之ヲ要求スルノ妨トナラス

○不一致ニ關スル第三ノ原則ハ左ノ如シ

總テ式ニ屬スル明言ハ立證ヲ要セス

式ニ屬スル明言トハ場所、時、數、價值、性質等ニ關スル陳述ニシテ一種ノ儀式トシテ訴狀ニ明記セラルレトモ訴訟本案ニ關係ナキモノハ立證ヲ要セス舊時ニ在リテハ英國代官人ハ訴狀中本案ニ關係ナキ無用ノ閑話ヲ記載スルコトヲ習慣トセリ是等ハ古代ニ在リテハ或ハ必要ナリシナレトモ今日ニテハ唯歷史上ノ價值ヲ有スルノミニシテ無用ニ屬ス

○民事訴訟ニ在リテハ習慣上ノ式語ハ無用ノ贅言トナレリ而シテ刑事事件ニ於テモ一千八百五十一年カムベル卿ノ條例以來是等ノ事柄ハ無用ニ屬セリ例セハ場所ニ關シテモ特ニ犯罪ノ場所ヲ必要原素トナス場合ニ非ル以上ハ場所ノ記述ニ誤アルモ妨トナラス

○然レトモ關地的ノ犯罪ノ如キハ公訴狀ニ記載シタル場所ト立證トハ符合スルヲ要ス又差異アル場合ト雖モ裁判官ハ容易ク公訴狀ノ修正ヲ許スヘシ

○時ニ關スル陳述ハ刑事事件ニ於テハ場所ニ關スルモノヨリモ更ニ一層ノ價值ナキモノトス而シテ時ヲ以テ犯罪ノ必要原素ト爲サ、ル場合ニハ公訴狀ニ時間ヲ記載スルノ必要ナシ

○數并ニ價格ニ關スル陳述ハ公訴狀ニ於テハ更ニ一層ノ影響少シ例セハ五頭ノ馬ヲ盜ミタ

リト求刑セラレタル被告人ハ一頭ヲ盜ミタルコトヲ以テ罰セラルヘシ又盜罪ヲ以テ求刑セラレタル被告事件ノ公訴狀ニ於テ贓品價格二十シルリングト記載シタル場合ニテモ實際其物品ノ價值ハ殆ント帝國通用貨幣ヲ以テ計算スルヲ得サル程ノ少價值ニテモ猶盜罪ヲ構成スヘシ然レトモ犯罪ノ性質ニヨリテハ或金額ニ達スルコトヲ必要トスル場合アリ例セハ破産者十磅以上ヲ藏匿スルノ罪、二十磅以上ヲ拐帶逃走スルノ罪、五磅以上ノ財産ヲ故意ニ損害スルノ罪、五磅以上ノ價格アル財産ヲ竊取スル罪、ノ如キハ金額犯罪ノ必要原素タルヲ以テ之ヲ立證スルヲ要ス

○以上ノ如キ犯罪ノ場合ニハ犯罪價格ニ關シ公訴狀ノ記載ト立證トハ相符合スルヲ要ス然レトモ犯罪ニ係ル物品ノ價值法律ノ定限以上ナル時ハ其範圍内ニ於ケル差異ハ求刑ノ瑕疵ト爲ラス

○政府ノ官吏又ハ雇員ニ對スル受寄ノ金額費消罪ノ場合ニハ貨幣ノ名稱ヲ記載スルノ必要ナク其多寡ニ拘ハラズ費消ノ事實ノアリタルコトヲ證明スレハ充分トス又何人ヨリ何等ノ種類ノ貨幣ヲ受取り又ハ若干額ノ貨幣ヲ受取りタリトノ證據ナシト雖モ被告人ノ計算スヘキ正數ノ額ニ足ラサルコトヲ證明シタル時ハ費消罪ヲ構成スヘシ

○公訴狀ニハ犯罪ノ方法ヲ記載スルノ必要ナク又一々之ヲ立證スルノ必要ナシ例セハ謀殺若クハ其他ノ殺人罪ニ於テ犯罪ノ手段方法被害者死亡ノ原因等ハ詳細之ヲ公訴狀ニ記載ス

ルノ必要ナシ又公訴狀ニ過詳ノ記述ヲ爲シタル場合ニハ一々之ヲ立證スルノ必要ナシ又公訴狀記載ノ犯罪手段ト立證セラレタル犯罪手段トニ差異アルモ瑕瑾ヲ生スヘキ不一致ト爲サス

○不一致ニ關スル第四ノ原則ハ左ノ如シ

事件ニ必要ナル記載ハ立證セラル、ヲ要ス

何等ノ事柄ヲ以テ事件ニ必要ナリト爲スヤハ隨分困難ナル問題トス而シテ此原則ヲ解スルニハ判決例ノ實地ニ就テ取調ヲ爲スノ外他ニ好手段ナシト雖凡ソ是等ノ問題ニ就テハ民刑事ニ拘ハラス裁判官ハ過大ノ權力ヲ有スルモノタルコトヲ記應スルコトヲ要ス第一ニ刑事事件ニ就テハ盜罪贓品若クハ犯罪ニ因テ損害セラレタル物品ノ名稱及ヒ性質ハ必要ナル事實ナルヘシ例セハ放火犯ニ於テ公訴狀ニハ枯草ニ放火シタルモノト記述シ證憑上ニテハ麥ニ放火シタルコト明瞭ナル場合若クハ鷄ヲ竊取シタリト公訴狀ニ記述シ事實上ハ豚ナル時ハ公訴狀ノ修正ヲ許サル、ニ非ル以上ハ瑕瑾アル不一致トス

○舊法ニ於ケル偽證罪ノ求刑ニ於テハ偽證ニ係ル證書ハ頗ル詳密ニ記載セラル、コトヲ要セシカ故ニ記載ノ事實ト立證ノ事實トニ差異ヲ生シ多クノ被告人ハ無罪ノ僥倖ヲ得タリ然レモ現行法ニテハ精密ノ記載ヲ要セサルカ故齟齬ヲ來スノ憂少ナク又多少ノ齟齬アルモ訂

正ヲ許サ、ルカ故倖免ヲ得ル被告人ノ數ヲ減シタレモ刑罰ハ頗ル輕減セラレタリ何トナレハ舊法ニヨレハ偽證罪ハ死刑ヲ以テ罰セラレタレモ現今ハ然セサレハナリ

○被害者ノ姓名及ヒ公訴狀ニ必要トシテ記載セラレタル人ノ姓名ハ一般ニ必要ナルコト、セラレタリ而シテ舊時ニハ頗ル嚴格ノ規則行ハレシモ現今ニテハ頗ル寬大ニシテ錯誤アル時ハ訂正ヲ許スヲ以テ殆ント當然ノ事トセリ此點ニ付二三ノ個條ヲ擧ケンニ第一被害者ノ姓名知レサル時ハ被害者知レスト記載スルヲ得第二真正ノ姓名明ナラサル時ハ通行ノ字ヲ以テ稱呼トスルヲ得ヘシ第三私生子ニハ姓ヲ記述スルノ必要ナシ第四貴族正當ノ稱呼ハ姓及ヒ爵位ヲ記述スルモノナレモ姓ヲ省クヲ得ヘシ又侯爵以下ノ貴族ハ總テ一樣ニ卿ノ稱呼ヲ用井レハ充分トス第五外國ノ貴族モ姓及ヒ爵位ヲ記述スルモノナレモ爵ヲ省キ姓名ヲ記入スルノミヲ以テ充分トス第六親子同姓名ナル場合ニテモ之ヲ區別スルノ必要ナシ第七會社、無形人、共有者、ノ場合ニハ其一人ノ姓名ヲ記述スレハ充分トス

○或僅少ノ場合ニ於テハ不一致ヨリ生スル弊害ヲ除カンカ爲メ立法官ハ更ニ一層ノ干涉ヲ爲シ犯罪ノ種類ニ由リテハ被害者ノ姓名ハ之ヲ明言セサルモ亦之ヲ證明セサルモ更ニ差支ナキコト、ナセリ即チ一千八百六十一年ノ條例ニ對スル犯罪ニ就テハ被告人若シ財産ヲ害スル意思若クハ人ヲ欺罔スルノ意思アル時ハ何人ノ財産若クハ何人ヲ欺罔スルノ意思ナル

ヤハ特ニ其人ヲ指名立證スルノ必要ナシトセリ

何等ノ種類タルニ論ナク總テノ證書類ヲ偽造、變換、行使、處分スルノ罪、及ヒ詐欺ノ理由ヲ以テ財産、金額、若クハ價值アル證書類ヲ詐取スルノ罪、及ヒ其未遂罪ニハ以上ノ原則ヲ用井財産、金額、若クハ價值アル證書類ノ所有者ヲ指名立證スルヲ要セストセリ

遺囑證書ヲ竊取シ若クハ不正ニ毀棄シ或ハ藏匿スルノ罪、書類、證書類ヲ竊取シ若クハ不正ニ毀棄シ或ハ藏匿スルノ罪、公共ノ使用ニ供セル市街若クハ其他ノ場所ニ附着セシメタル物件若クハ裝飾ヲ竊取スルノ罪ハ犯罪ニ係ル目的物ノ何人ノ所有タルコトヲ特ニ指定スルノ必要ナキモノトス

○被告人ノ姓名ハ特ニ記述スルノ必要ナシ何トナレハ被告人ハ往々其姓名ヲ偽リ或ハ之ヲ隱シ真正ノ姓名ヲ得ル場合頗ル稀有ナレハナリ若シ被告人ノ姓名ニ誤アルカ、又ハ知レサリシ姓名ノ明ナルニ至ル時ハ何時ニテモ訂正増補ヲ許シ被告人ヲシテ訂正セラレタル公訴狀ニ對シ答辯ヲ爲サシム

○民事訴訟ニ於テ必要的ノ明言ヲ立證スルニ必要ナル規則ハ修正ヲ許ス規則ヲ論セル場合ニ通論スルヲ以テ茲ニ之ヲ畧ス

第二章 證據ヲ爭點ニ關スル事實ニ限ルコト

○證據提出ニ關スル第二ノ一般ノ原則ハ總テノ證據ハ爭點事實ニ限制セラルト云フニ在リ此規則ノ理由トスル所ハ總テ對手人ハ其訴狀ニ自ラ撰テ記載シタル要點ノミニ就テ訴訟ノ運命ヲ決セントスルモノナレハ對手人ノ撰定記述セサル點ニハ證據ヲ提出セシムル必要モナク又一方ノ對手人ニ於テ明言シタル事實ヲ反對々手人ニ於テ抗辯セサル時ニハ其真正ナルコトヲ許シタルモノナレハ又證據ヲ要セスト爲スニ在リ即チ之ヲ換言セハ一方ニ於テ明言シ他方ニ於テ抗辯シタル點ノミニ就テ證據ヲ提出セシメ之ニ關係ナキ一切ノ事柄ヲ拒絕スルニ在リ例セハ契約ノ訴ニ於テ被告出訴期限ノ斷レタルコトヲ答辯シ原告ニ於テ契約ノ六年以内前ニ結ハレタルコトヲ反答シタルキハ之ニテ爭點ノ定マリタルモノナリ依テ原告ハ更ニ被告ニ詐欺アルコトヲ發見シ其之ヲ發見シタルハ訴訟提起前六年以内ナリトシ證據ヲ提出スルモ爭點ニ關係ナケレハ採用セラレス(譯者註)原告ノ訴狀ト被告ノ答辯トニヨリ出訴期限ノ斷レタルヤ否ヤヲ爭點トシタルモノナレハ其斷レタルヤ否ヤノ問題ハ契約ノ六年以内ニ結ハレタルヤ或ハ六年以上前ニ結ハレタルヤヲ決スルヲ必要トス然ルニ原告ハ爭點ヲ外ニシ詐欺ヲ發見シタルヨリ出訴期限ヲ計算セント試ミタルモノナレハ無論爭點外ノ事實ト謂ハサルヲ得ス但シ原告ニ於テ其申立ヲ變更スルハ格別トス即チ之ヲ換言セハ其一旦爭點トシタル所ヲ變更スルハ他ノ規則ニ由リテ支配セラルヘシ)又小作事件ニ於テ原告ノ

申立ハ被告ニ於テ農夫ノ習慣ヲ誤リ土地ヲ荒蕪ナラシメタリトノ趣旨ナリシ時ニ原告ハ被告ニ不都合ノ所爲アルコトヲ證明セントシタルモ其事柄タル立證セラル、モノト假定スルモ荒蕪ノ所爲ニ非ルヲ以テ排斥セラレタリ又或誹譏事件ニ於テ原被告ノ訴答狀ニヨリ原告ハ其徒弟ニ惡食ヲ供シ粗服、粗住ヲ給シ其徒弟ニ誣多シトノ事實爭點トナリタル時ニ被告代言人ハ證人ニ對シ徒弟ノ惡シク教育セラレタル事實ヲ訊問セントシタルモ裁判官ハ之ヲ許サ、リシ

○此原則ヲ說明セン爲メ以上ニ援引シタル訴訟事件ハ唯匆々ニ撰取シタルモノナレハ充分善良ナル判例ト云ヒ難キモ此肝要ナル點ニ付實際上有益ナル智識ヲ得ントスルニハ訴訟規則ヲ研究シ之ニ附帶スル判決例ヲ穿鑿スルコト頗ル肝要トス是等ノ訴訟手續ハ一千八百八十三年高等裁判所條例第十九編ニ於テ之ヲ規定シ同年十月二十四日ヨリ執行セラレタルモノトス而シテ此法律ハ三個ノ目的ヲ有ス第一雙方對手人ヲシテ各爭ノ要點ヲ前知セシメ審理席ニ於テ不意ノ申立ニ依リ他方對手ヲ當惑セシムルヲ防止スルニ在リ第二不用ナル證據ヲ蒐集提出スルヨリ生スル費用ヲ省ク爲トス第三訴訟ノ要點ヲ明瞭ナラシメ不用ノ記事ノ爲メ要點ヲ埋没セシメサル爲メトス

○是等ノ目的ヲ達センカ爲メ一般ノ言辭ヲ以テ左ノ如ク規定セリ

總テノ訴狀ハ左ノ諸件ヲ包含スヘシ第一、要求ノ點及訴訟人ノ要ムル救濟第二、辯護、相殺、反求、第三、答辯アラハ其答辯第四訴訟人一方ヨリノ爭點ノ構成トス

該法律ハ更ニ左ノ如ク規定セリ

總テノ記事ハ事件ノ許シ得ル限り簡單ニ記載スヘシ訴答狀ハ對手人ニ於テ訴訟ノ根據トスル總テ必要ナル事實ノミヲ簡單ナル方法ニテ記載シ事實ヲ證明スヘキ證據ヲ記載ス可ラス例セハ訴狀ニ於テ合意アリタルコトヲ記載スル時ハ單ニ合意アリタルコト及ヒ其效果ヲ記載スルヲ以テ充分ト爲サス其合意ハ書面ナルヤ口約ナルヤ將又合意、數通ノ證書ヨリ成立スル時ハ其統合ノ結果ヲモ記載スヘシ

メリングトン對ローリングノ事件ニ於テ必要ナル事實トハ如何トノ問題ニ付頗ル痛論セラレタリ而シテ始審裁判ニ於テハ必要ナル事實トハ原告若クハ被告人カ要求若クハ辯護ノ基礎ト爲ス所ノ事實ニ限ルトセラレタリ然ルニ復審裁判ニ於テハ審問ノ際ニ立證ヲ許サル、事柄ハ總テ必要事實ノ中ニ包含セラル、モノトセリ例セハ結婚破約ノ訴ニ於テ原告ハ其要求記事ノ中ニ契約後被告ニ誘拐セラレタリトノ事實ヲ記載セシニ不用ノ記載ト爲サレサリシ何トナレハ斯ル事實ハ被告ノ破約ノ罪ヲ加重スル模様ナルヲ以テ審問ノ際ニハ無論立證ヲ許サル、事實ナレハナリ

○以上ニ述ヘタル大原則ノ外更ニ十二ノ訴答規則アリ是等ハ證據法ニ淺カラサル關係ヲ有スルヲ以テ逐次之ヲ掲載スヘシ

第一ハ條例十三編十三則ニシテ即チ訴狀ニ記載シタル事實ハ(請願又ハ呼出ニ係ル記事ハ例外)反對々手ニ於テ特ニ之ヲ打消スカ又ハ一般ニ排斥スルニ非レハ先方ノ申立ヲ許容シ眞實ト認メタルモノトス但シ幼者、瘋癲人ニ對シテハ以上ノ規則ヲ適用セス

第二ハ第十四則ナリ其文ニ曰ク

總テノ條件ニシテ其履行若クハ起生ヲ爭ハントスル時ハ特ニ明瞭ニ被告若クハ原告ニ於テ之ヲ申立ヘシ

第三十五則ハ左ノ如シ

被告若クハ原告(場合ノ模様ニヨリ)ハ己ノ訴狀ニ於テ要求若クハ反求ノ維持スヘカラサルコト又ハ法律上取引ノ無効若クハ取消シ得ヘキモノニ屬スルコト及ヒ辯護若クハ答辯ノ材料ニシテ之カ記載ヲ怠ルルハ反對々手ニ不意ノ當惑ヲ生セシムル事柄ハ總テ明瞭ニ記述スルヲ要ス例セハ取引ニ詐欺アルコト出訴期限ノ經過シタルコト、解除ヲ得タルコト、支拂ノ濟ミタルコト、履行ノ完結シタルコト、條例若クハ習慣法ニヨリ取引ノ違法ナルコト等ハ之ヲ明記スルヲ要ス

第四、第十六則ハ左ノ如シ

請願及ヒ呼出ヲ除クノ外總テノ訴狀ハ訂正ノ方法ニ由ル外ハ一切新ナル論點ヲ記述ス可カラス又前ノ訴狀ニ記述シタルコト、反對ナル事柄ヲ記載ス可カラス

○第十七則ハ左ノ如シ

被告ハ其答辯ニ於テ原告要求ノ諸點ヲ一般ニ反駁スルヲ以テ充分ト爲サス又原告ハ其反駁ニ於テ被告ノ反求ヲ一般ニ排斥スルノミニテハ充分ト爲サス即チ原被兩對手人ハ反對々手ノ申立ニ對シ一々別ニ答辯スヘキモノトス答辯ニ漏レタル事柄アルルハ其眞實ヲ許シタルモノト爲ス但シ損害高ニ關スル事柄ハ此限ニ在ラス

第五、第十八則ハ左ノ如シ

以上ノ規則ニ由リ原告ハ被告ノ爲シタル答辯ニ對シ爭點ヲ定ムルノ答辯ヲ爲シ各對手人ハ總テ反對々手ノ差出シタル前訴狀ニ對シ爭點ヲ定ムルノ訴狀ヲ差出スヲ得、斯ノ如ク爭點ヲ定メタル時ハ總テ訴狀中必要ナル點ハ雙方ニ於テ互ニ拒絶シタルモノト爲ス但シ對手人ニ於テ反對々手ノ申立ヲ許サントスル時ハ特ニ之ヲ許シ其許サハルモノニ付爭點ヲ定ムルヲ得

○前ニ述ヘタル二原則ハ從來訴訟人カ汎博ノ爭點ト唱ヘ來リタル所ノモノヲ消滅セシムル

ノ効力アリ尤モ對手人ノ望ニ依リ答狀若クハ其後捧呈スル訴狀ニ於テ一切汎博ハ爭點ヲ爲シ能ハスト云フニ非ス

此規則ノ精神ハ舊法時代ノ習慣ト比較シ其差異ノアル所ヲ指摘スル時ハ充分ニ明瞭スヘシ舊法ノ訴答式ニ由レハ被告ニ於テ訴訟提起前事實負債ヲ負ハサルハ負債ナシトノ簡單ナル答辯ヲ以テ充分トセラレタリ例セハ物品ノ賣掛代金請求ノ訴ヲ受ケタル被告人ハ負債ナシトノ汎博ナル答辯ヲ爲シ置キ實際ノ審理ニ臨ミテハ既ニ現金ニテ支拂ヲ終リタリトカ信用上ノ賣買ニシテ未タ支拂ノ期限ニ到ラサルトカ或ハ賣主ノ代理者ヨリ買求メ代價モ其代理者ニ支拂ヒタリトカ條件付ノ賣買ニシテ代價支拂ノ義務ヲ生スル條件満足サレザリシトカ特別ノ約束ニ基キ遂ケタル賣買ニシテ其約束破約セラレタリトカ賣買ニ非スシテ物品交換ナリシトカ實際渡サレタル物品ノ品柄ト約束ノ品柄ト差異アリトカ其他荷モ被告ニ於テ義務ヲ免レ得ル事柄ハ負債ナシトノ汎博ナル答辯ノ後ニ陳辯スルヲ許サレタルモノナリ然ルニ新法ニ由レハ以上ニ述ヘタルカ如キ理由ハ被告ニ於テ特ニ之ヲ答辯セサル可カラスシテ汎博ナル拒絶ヲ許サス

○家屋、土地、賃錢要求ノ訴ヲ受ケタル被告人ハ賃錢未タ支拂ノ期日ニ至ラストモ貸主約束ニ背キテ借主ヲ逐ヒ出セシトノ答辯ハ汎博抗辯ノ下ニ提出スルヲ得タリシ又賃錢支拂ノ期

日前ニ貸主ハ賃錢ヲ抵當取主ニ支拂フヘシトノ通知ヲ受ケタリトカ又ハ家屋ハ住居ニ堪ヘスシテ賃錢支拂ノ義務ナシトカ若クハ賃錢ハ家屋前持主ニ既ニ支拂ヒタリトカノ總テノ答辯ハ之ヲ爲スヲ得タリシ即チ之ヲ換言セハ義務ナシトノ汎博ナル答辯ヲ爲シ置キ後ニ至リ何等ノ理由ニテモ荷モ義務ヲ免ル、ニ足ルノ事柄ハ總テ之ヲ陳辯スルヲ得タリシ然ルニ現行ノ新法ニヨレハ是等答辯ノ理由ハ當初ヨリ特ニ之ヲ明言スルヲ必要トセリ

○第六、第十九則ハ左ノ如シ

訴答狀ニ於テ對手人、反對々手ノ事實陳辯ヲ拒絶スルニハ明ニ之ヲ拒絶シ何レノ點ヲ何レ迄拒絶スルヤヲ確ニスルヲ要ス曖昧ナル拒絶ヲナシテ答辯ノ眞意ヲ漠然ナラシメ正當ノ爭點ヲ一定スルヲ避クルカ如キコトヲ爲スヲ許サス例セハ原告ニ於テ或金額ヲ渡シタリト申立テ被告ニ於テ之ヲ拒絶スルニハ單ニ受取ラストノ簡單ナル答辯ヲ以テ充分ト爲サスシテ該金額ノ全部ハ受取ラサルモ一部分ハ受取リタリトカ或ハ全部モ一部分ヲモ受取ラストカ免ニ角一度ノ答辯ニテ爭ノ點ヲ明確ニセシメサルヘカラス何トナレハ單ニ受取ラストノ簡單ナル答辯ニテハ原告ノ申立ノ金額ハ受取ラサルモ夫レヨリ少額ノ金額ハ被告ニ於テ之ヲ受取リタルヤモ知ル可カラサレハナリ

若シ又原告ノ陳述ニ數多ノ模樣事情ノ附帶セル時ハ單ニ原告ノ陳述通りノ事情、模樣ノ附

帶シタル儘漠然ト之ヲ拒絶スルヲ得スシテ原告ノ申立ノ全部ヲ悉ク拒絶スルトカ或ハ一部分ヲ排斥シテ他ヲ拒絶スルトカ或ハ修正ノ上拒絶スルトカ兎ニ角原被告間ノ真正ノ争點ヲ露出セシムルヲ要ス何トナレハ此規則ヲ解釋スルニ就テモ又ハ拒絶スヘキ事實ハ各々別々ニ之ヲ拒絶スヘシトノ原則ハ裁判上頗ル嚴格ニ解釋セラルレハナリ然レモ是レ頗ル至當ノ解釋ト爲ス何トナレハ法律ノ精神ハ迂回シタル方法ニ由ラスシテ短刀直入ニ對手間ノ争點ノ眞ニ存在スル點ヲ發揮セシムルニアレハナリ即チ此法律ノ目的ハ對手間ノ争點ヲ成ルヘク明確ニシ其範圍ヲ成ルヘク縮少シ以テ費用ト延滞ヲ防キ審問ノ際、口證ノ數ヲ減スルニ在レハナリ

裁判官カ以上ノ説ヲ述ヘタル訴訟事件ハ組合ノ解散ニ關スル民事訴訟ナリシ即チ原告ハ組合ノ解散ヲ請求シ其申立ニ原告ト被告ハ口約ヲ以テ組合ヲ組織シ各其社員トナリ約款ハ原告ト被告ト上ニテ定メタリト云フニ在リシ依テ被告ハ之ニ對シテ答辯ヲ爲シ言ヒケルニハ成ル程原告ノ申立通り組合ヲ結ヒタレトモ約款ハ原告ノ申立ツルカ如キモノニアラスト陳述シタリ判事チヨ―シレッセル氏ハ被告ノ答辯ヲ以テ争點ヲ忌避スルモノト爲シタリ判事ノ曰ク被告ノ答辯ニヨレハ單ニ原告ノ申立通りノ約款ヲ結ハスト云フニ過キサレハ其答辯ニ由リ被告ハ原告ノ申立ツル約款ノ全部ヲ拒否スルモノナリヤ又ハ原告ノ申立ノ一部ハ真正

ト爲スモ全部真正ニ非ルカ爲メ原告ノ申立ヲ拒否スルヤ判然セス依テ被告ハ更ニ詳細ノ答辯ヲ爲シ明確ニ何レノ部分ヲ拒否スルヤ或ハ眞ニ全部ヲ拒否スルヤヲ答辯セサルヘカラス又原告ノ申立ニ差異アラハ差異ノ點ヲ示シ之ヲ訂正スルノ義務アリト明言シタリ

○第七、第二十則ハ左ノ如シ

訴狀中ニ契約、約束若クハ合意ヲ記載シ反對ノ對手單ニ之ヲ拒否スルニ止マル時ハ事實トシテ右等契約、約束、若クハ合意ノ成立ヲ拒否スルモノト見做シ法律上右等契約、約束若クハ合意ノ違法ナルコトヲ争フモノト認メス

此規則ノ結果ヲ畧言スレハ對手人ニ於テ違法ヲ理由トシテ契約ノ責任ヲ免レントスル時ハ詐欺條例若クハ其他ノ法律ニ由リ違法ナル旨ヲ明確ニ記述スルヲ要ス決シテ契約セストカ契約上ノ義務ナシトカ云フカ如キ汎博ナル答辯ヲ許サスト云フニ歸ス

又條例ニ由リ違法ナリトノ答辯ヲ爲サントスル者ハ單ニ法律ニ由リ違法ナリトカ何々ノ條例ニ由リ違法ナリト云フカ如キ汎博ナル答辯ヲ許サスシテ明ニ其違法ニ係ル事實ヲ申立ツルヲ要ス

○第八、條例二十一編第五則ハ左ノ如シ

訴訟對手人反對々手ニ於テ破産事件若クハ其他ノ事件ニ於テ管財人或ハ信託人又ハ其他

代表ノ資格及ヒ組合會社ノ約款ヲ拒絶セントスル時ハ明ニ其事柄ヲ指定シテ申立ツヘシ

○或僅少ノ場合ニ於テハ以上ニ述ヘタル法律規則ノ文章ト他ノ法律ト抵觸スルカ如キ場合アリ例セハ醫師藥價ヲ回復スルノ訴ニ於テ原告其訴狀ニ自己ノ身分ヲ官許醫師ナリト明記シタル場合ニ被告ニ於テ確定特示ノ答辯ヲ怠リタル場合ニハ其結果如何單ニ藥價ヲ拂フノ義務ナキモノト拒絶シタルカ或ハ原告ノ官許醫師ニ非サルコトヲモ併セテ拒絶シタルモノト爲スカハ頗ル困難ノ問題ナリ

一千八百五十八年ノ醫業條例ハ庸醫ヨリ生スル弊害ヲ防止スル爲メニ設ケタルモノニシテ其第三十二節ニ曰ク何人ニテモ疾病ノ診察、治療ノ施行、藥劑ノ費用ヲ要求スル者ハ條例ニ由リ官許醫師タルノ登記ヲ經タルコトヲ立證スルニ非レハ申立相立タスト規定セリ
斯ル條例アルニモ拘ラス被告ニ於テ拒絶ヲ怠リタルカ爲メ原告ニ於テ立證ノ責ヲ免レタルモノト爲スヤ如何之ヲ要スルニ自認ハ立證ニ非スシテ立證ニ代ルヘキモノナレハ斯ル場合ニハ被告ニ於テ拒絶ヲ怠ルモ原告ニ於テ其實ヲ免レタルモノト爲ス可カラス然ラサレハ不公平ヲ生シ法ノ精神ヲ消滅セシムルニ至ラン

○證書ニ印紙ノ貼用ヲ怠リ又ハ貼用印紙ノ額不足ナリトノ故障ハ訴狀ニ其事ヲ記載セスシテ審理ノ際ニ至テ之ヲ申立ツルヲ得ルヤ如何若シ尋常ノ場合ニ於テ之ヲ爲シ得ルモノト假定スル時ハ反對々手ニ於テ特ニ印紙ヲ貼用シタリト確言シタル場合ニテモ猶ホ以上ノ如キ故障ヲ爲シ得ルヤ如何若シ新法ヲ嚴格ニ解釋スル時ニハ以上二問ハ消極ノ答ヲ爲サ、ルヲ得ス是レ大ニ政府ノ收入ニ關スルコトニシテ判事長又ハ裁判所ノ官吏ハ如何シテ政府ノ收入ヲ保護セントスルカ是レ頗ル疑問ニ屬スル所ナリ

○被告ニ於テ裁判所ニ正當管轄權ナシトノ答辯ヲ爲スコトヲ怠リタル時ハ其結果如何ハ新法ノ未タ能ク明示セサル所タリ而シテスブー子一對ジユド一ノ訴訟事件ニ於テ此點ハ頗ル曖昧ノ判定ヲ受ケタリ該事件ニ對スル樞密院司法委員ノ判決ニ由レハ原告ノ申立其レ自身ニ於テ判事ニ裁判所ニ管轄權ナキコトヲ知ラシメタル時ハ被告ニ於テ特ニ管轄權ニ關スル答辯ヲ申立テスト雖モ裁判所ハ自ら進ンテ管轄ナキコトヲ注意シ原告ヲ敗訴セシメサル可カラスト爲セリ然レモ原告ノ申立中ニハ管轄外ノ事實ナキモ被告ニ於テ管轄ナキノ答辯ヲ爲スヲ怠リ審問ノ際ニ管轄外タルノ證據ヲ提出セントシタル時ハ其結果如何未タ此點ニ對シ判決例アラサルナリ

○通常ノ訴訟事件ニ於テ提出ヲ許サレタル證據ノ範圍ヲ制限スル訴訟規則ノ効用ハ畧ホ前ニ述ヘタルカ如シ然レモ刑事事件ニ於テハ條例ニ由リ單ニ無罪トノ簡單ナル答辯ヲ爲シ審

問ニ臨ミテ被告人ニ利益ナル證據ヲ提出スルコトヲ許セル場合尠カラサルヲ記憶スルヲ要ス但シ此特權ヲ得ルニハ裁判所又ハ裁判官ノ許可ヲ得ルヲ要ス又訴訟人右ノ特權ヲ行ハントスルニハ訴狀ノ縁ニ條例ニ由リトノ語ヲ記入スルヲ要ス而シテ其條例ハ何年ノ條例ニシテ何編何節タルコトヲ記入シ議會ノ公條例ナルヤ否ヤヲ併セテ記入スルヲ要ス然ラサレハ右等ノ答辯ハ國會ノ法律ニ由リテ行フタルモノト見做サス

○條例ニ由リ行フタルコト若クハ職務ノ執行トシテ行フタルコトニ就テハ被告人ニ特別ノ利益保護ヲ與フル場合尠カラス然レモ如何ナルコトヲ以テ條例ニ由リ行フタルコト若クハ職務ノ執行トシテ行フタルモノト爲スヤニ付一般ノ原則トシテ法理ヲ説明スルコトハ頗ル困難ノ專業ニ屬ス右等ノ場合ハ一般ノ爭點ノ下ニ特別ノ證據ヲ差出シ或ハ訴訟ノ通知ノナキヲ理由トシ或ハ修正ヲ提出シタルコトヲ理由トシ或ハ國會ノ條例ニ由リ特別ノ保護ヲ與ヘラレタルコトヲ理由トスルヲ許サル、モノナレモ述ヘタル如ク廣ク適用セラレヘキ原理ヲ述フルコト頗ル難シ然レトモ對手人ニ於テ善意ニ或事實ノ存在ヲ信シ若シ其事實ノ存在スルニ於テハ訴訟辯護ノ相當ノ理由タル場合ニハ右信認ニ相當ノ原由アルト否トニ論ナク假令不法ニシテ其職權ヲ超過シタル場合ト雖モ法律ニ於テ保護セラル、コトハ一般ノ原則トシテ先ツ確實ナルモノト云フヲ得ヘシ

此種ノ條例ハ正當ニ己ノ職務ヲ執行セルモノト善意ニ確信シタル人ヲ保護スルノ精神ニ出テタルモノナリ故ニ裁判所ニ於テモ是等ノ條例ヲ解釋スルニ當リテハ國會ノ法律ニ由リ與ヘラレタルモノト信認シテ其職務ヲ行ヒ不法越權ノ所爲ヲ爲シタル人ヲ保護スル爲メ穩當ノ解釋ヲ爲スヲ通常トス而シテ右等ノ過ハ時、場所、若クハ情況ニ關スル時モ同様トス

○條例ニ由リ無罪トノ汎博ナル答辯ヲ爲シ由テ特別ノ陳述證據ヲ提出スルヲ許サレタル場合ニハ其權利全ク條例ニ基ク場合ト一部條例ニ基ク場合ト若クハ習慣法ニ由リ許サレタル場合トノ間ニハ更ニ何等ノ區別ヲモ爲サ、ルコト、ス是レ現時確定セル所ナリ例セハ物品過分差押ノ訴ニ於テハ畜ニ正當理由ノ有無ノミナラス貸借ノアリタルコト及ヒ物品所有權ノコトモ併セテ爭點事實トナル又原告管財人トシテ訴ヲ起シタル場合ナラハ被告ハ其資格ヲ争フコトヲモ得ヘシ此規則ノ自然ノ結果トシテ被告ニ於テ條例ニヨル無罪ヲ答辯トシタル時ハ他ノ答辯ノ事柄ヲ附着セシムルコトハ裁判官ニ於テ通常之ヲ許サスト雖モ然レトモ或特別ノ事件ニ付疑惑ヲ生スルモ寧ロ寛大ノ解釋ヲ爲シ法律ノ効力ヲ弛メ成ルヘク訴訟眞正ノ理非ヲ枉ケサル様ニ注意スヘシ

○條例ニ由リ正當ト信シテ行フタル事柄若クハ職務執行ノ爲メ行フタル事柄ニ關シ訴ヲ受ケタル被告人無罪トノ汎博ナル答辯ノ下ニ特別ノ事實證據ヲ提出スルヲ許ス所ノ條例ハ現

今ニ於テモ其數頗ル多シ然レトモ近代ノ立法ノ結果ニ由リ漸次其數ヲ減セントスル傾キアリ
 例セハヅ井クドリヤ五、六年ノ條例第九十七編第三節ヲ以テ地方及ヒ人身ニ關スル條例中
 一千八百四十二年八月十日前ニハ汎博ノ答辯ノ下ニ特別ノ事柄ヲ立證スルヲ許サレタル諸
 條ヲ廢シタリ又一千八百五十三年愛蘭習慣法訴訟手續法ハ其第六十九節ヲ以テ汎博ナル爭
 點ノ下ニ特別ノ事柄ヲ立證スルコトヲ許セル條項ヲ廢止セリ不幸ニモ以上ノ如キ判定ハ英
 吉利習慣訴訟手續法ニハ之ナキヲ以テ今日ノ所ニテハ訴訟人反對々手ヨリ汎博ノ答辯ヲ得
 タル時ハ審問ノ席ニ臨ミ先方ヨリ如何ナルコトヲ申立テラレハヤ豫知ス可カラサルヲ以
 テ原告タルモノハ推量ヲ以テ被告ノ答辯ヲ豫期シ之ニ備フルノ外他ニ良策ナキナリ
 ○以上ノ如キ答辯ヲ許ス所ノ諸條例ノ名目ヲ逐一茲ニ枚舉スルコトハ到底爲シ能ハサルノ
 事業ニ屬ス然レトモ盜罪、惡意毀害ノ罪、貨幣ニ關スル罪ヲ統合スル爲メ一千八百六十一年
 ニ發布セラレタル條例ハ右種ニ屬スルモノタルヲ明言スルヲ得ヘシ
 治安判事カ其職務執行ニ關シ爲シタル事柄ニ付訴ヲ受ケタル時ハ被告タル治安判事ハ他ノ
 數多ノ特權ノ外ニ汎博爭點ヲ提出シ辯護、免責若クハ正當ノ理由トナルヘキ總テノ事項ハ
 一切陳述立證ヲ許サル又汎博爭點ヲ爲シタル後ト雖ヒ訴訟通知ヲ受ケタル後原告ニ賠償ヲ

爲シタルコト若クハ訴訟提起後爭點一定ノ前裁判所ニ金額ヲ支拂フタルコトヲ答辯ト爲ス
 ヲ得

茲ニ右治安判事ノ有スル特權ヲ述フル理由ハ他ノ條例ノ多クニ於テ汎博爭點ヲ提出スルコ
 トヲ許サレタル被告人ト雖ヒ裁判所ニ金額賠償ヲ支拂フタル時ハ總テ之ヲ特別ニ申立ツル
 ノ必要アリテ此條例ノミ僅ニ例外ヲ爲セルヲ以テナリ

○以上述ヘ來リタル如ク訴狀ニ爭點トシタル事柄ニ證據ヲ限制シタルコトハ總テ他ノ訴訟
 ニモ適用セラル、モノナリ而シテ專賣特許權違犯ノ訴訟事件ノ場合ニ於テハ更ニ一層嚴格
 詳密ノ規則ヲ設ケラル即チ專賣特許權ニ關スル法律ヲ統一スル爲メ發布シタルヅ井クトリ
 ヤ四十六、四十七年ノ條例第五十七編二十九節ノ文ハ左ノ如シ

(一)專賣特許權違犯ノ訴ニ於テハ原告ハ要求陳述書ト共ニ若クハ裁判所又ハ判事ノ命
 令ニ由リ違犯ノ事情ノ詳細ヲ提出スルコトヲ命セラル

(二)被告ハ答辯書ト共ニ若クハ判事又ハ裁判所ノ命令ニ由リ答辯ノ根據トスル理由ノ
 詳細ヲ提出スルコトヲ命セラル

(三)被告ニ於テ專賣特許權ノ効力ヲ爭フ場合ニ於テハ其効力ヲ爭フ理由ノ詳細ヲ記述
 シテ提出スルヲ要ス若シ新案ニアラストノ事ヲ以テ理由ノ一ト爲セルハ原案即

チ新案ニ非ストシテ被告ノ攻撃スルモノ、基ク所ヲ明言シ其原案ノ公ニセラレタルノ時及場所ヲ明示スヘシ

(四) 審問ノ場合ニ於テハ裁判所若クハ裁判官ノ許可アルニ非レハ違犯若クハ辯解ノ理由トシテ前ニ裁判所ニ差出シタル事柄ノ外ハ一切立證ヲ許可セサルモノトス

(五) 裁判所ニ提出シタル詳細書ハ裁判所又ハ判事ノ許可ニ由リ時々變更スルヲ得ルモノトス

(六) 訴訟費用ノ負擔ヲ定ムルニ就テハ原告及ヒ被告ヨリ提出シタル詳細書ヲ取調フルモノトス而シテ裁判所又ハ判事ニ由テ認可セラレタルカ又ハ正當ニシテ理由アルモノト爲サル、モノ、外ハ訴訟費用ヲ與ヘサルモノトス

○證據ノ提出ヲ爭點事實ニ限制スル規則ハ審ニ訴訟對手人ヲシテ明ニ訴狀ニ由テ爭ハサル所ノ事實ヲ立證スルコトヲ禁スルノミナラス併セテ爭點事實其レ自身ヲ立證スルノ方法ヲモ限制スルモノナリ

即チ以上ノ原則ニ由レハ總テ傍系ノ事實ヲ證明スル所ノ證據ヲ排斥スルモノナリ即チ傍系ノ事實トハ爭ニ係ル所ノ主タル事實ニ關シ何等ノ正當ナル推測ヲモ起生セシムルニ足ラサル所ノ事實ヲ云フモノナリ斯ル規則ヲ設ケタル理由ハ無用ノ證據ノ爲メ公務ニ消費スル時

間ヲ浪費シ陪審役ノ心ヲ亂シ不公平、誤解ヲ生スルコトヲ豫防スル爲メトス加之ナラスル傍系事實ノ立證ヲ許ス時ニハ反對々手ヲシテ不意ノ陳辯ニ驚カシメ之ニ應スヘキ證據ヲ備ヘサレハナリ

去リ乍ラ此規則ノ適用ニ就テハ屢々裁判官ヲ當惑セシメタルコトアリテ微妙ノ間ニ區別ヲ立ツルノ必要ヲ生ス

此規則ニヨリ或事實ハ爭點ニ對シ單ニ想像上若クハ推測上ノ關係ヲ有スルノミトシテ排斥セラレタルコトアリ又關係ハ頗ル微弱ニシテ且ツ間接ナルモ爭點ニ對シ眞實ノ説明ヲ與フルニ足ルモノトシテ採用セラレタルコトアリ

之ヲ要スルニ爭點ニ關スル事柄ノ起生シタル其當時ノ對手人ノ有様及ヒ對手人ノ關係ハ通常適當ナル證據トス而シテ法律ノ變更以來訴訟對手人自カラカ己レ自身ニ證人トナリテ證言スルコトヲ許サレタルヲ以テ此規則ハ益必要ノ度ヲ増セリ以上ノ原則ニ從ヒ或ル金錢貸借ノ事件ニ於テ貸借アリタリトセラル、當時ニ於テ貸主ト稱フルモノ頗ル貧困ノ有様ナリシコトハ貸借ノ有無ヲ立證スルニ付提出ヲ許スヘキ證據トセラレタリ

○非關係事實トシテ舉證ヲ許サレタル事實中最モ主タルモノハ訴訟對手人ノ一人若クハ外人(訴訟對手人ニ非ルモノヲ云フ)カ外人ニ對シテ爲シタル事柄トス

是等ノ事柄ヲ法律ノ專門語ニテ「外人間ノ事柄」ト云フ今是等事實ヲ排斥スルノ理由如何ヲ考フルニ甲者カ或特別ノ事情ノ爲メ乙者ニ爲シタル事柄ヲ以テ丙者ニモ斯ク爲シタルヘシト推測ス可カラサレハナリ又甲者カ或情況ノ爲メニ乙者ニ或事ヲ爲シタル爲メ丙者カ丁者ニ對スルモ同一ノ事ヲ爲シタリトハ到底推測ス可カラス是レ其證據ヲ排斥スル所以ナリ

○此規則ノ適用ノ範圍ヲ知ルニハ實地ニ在リタル所ノ裁判粹例ニ依リ研究スルヲ最モ便利トス或物品取戻ノ事件ニ於テ原告ハ破産處分管財人ニテ被告ハ破産者ノ債主ナリシ而シテ爭點ハ被告債主ハ破産者ニ於テ破産行爲ヲ爲シタル後破産者ヨリ物品ヲ受取リタルヲ以テ管財人ニ於テ之ヲ回復セント云フニ在リ而シテ原告管財人ハ此事ヲ證明セン爲メ破産者ハ數多ノ債主ニモ物品ヲ引渡シ是等債主ハ破産事件ノ通知ヲ受ケタル後皆物品ヲ返還シタルヲ以テ被告債主モ右等衆債主ノ例ニ倣ヒ返還スヘキモノナリトノ證據ヲ提出セントシタリ然ルニ裁判官ハ之ヲ以テ非關係ノ事實ト認メタリ

又或地方ニ關スル習慣ハ假ニ其適用頗ル廣キモノトスルモ其地方ノ田畑ノ小作契約ニ關シ特別ノ耕作方法ヲ約款トシタルノ證據トシテ立證スルヲ許サハルモノトス又地主ト小作人間ニ小作料ノ支拂期限ニ關シ一年四度ナリヤ又ハ兩度ナリヤノ問題起リシ時ニ該地主カ他ノ小作人ト結ヘル契約ヲ證トシテ爭ヲ決スル財料ト爲スヲ得サルモノトセラレタリ又或事

件ニ於テ麥酒釀造人カーノ得意先へ佳良ノ麥酒ヲ給シタリトノ事實ハ他ノ得意先へモ同様佳良ノ麥酒ヲ給シタルノ證據トシテ提出スルヲ許サレサリシ

○或他ノ事件ニ於テ爭點ノ事實ハ原告ノ徒弟カ惡シク衣食セラレシトノ事ナリシニ被告ハ證人トシテ自己ノ教育セラレタル或一學校ノ給與セシ衣食ヲ證明シテ之ト比較セントシタリシニ裁判官ハ之ヲ許サ、リシ何トナレハ廣ク學校一般トシテ其徒弟ノ取扱ヲ證明スルコトハ許可スヘキ證據ナレトモ一學校ノ取扱ハ其證明ヲ許可キモノニ非レサレハナリ

又有夫ノ婦人ニ對スル契約上ノ訴件ニ於テ其爭點ハ被告ニ於テ夫ナキ婦人トシテ己ヲ原告人ニ示シ原告ニ於テモ之ヲ信シテ該婦人ト取引シタルヤ否ヤニ在リシニ該婦人カ他ノ商人ニ對シテモ夫ナキ婦人トシテ己ヲ表示シタリトノ事實ハ立證ヲ許可セラレサリシ但シ該婦人ニ於テ原告ヲ欺ク爲メ又ハ原告ニ知ラシムル爲メ他ノ商人ニ夫ナキ婦人トシテ表示シタル事實アル時ハ之ヲ證明セシムルコトハ無論之ヲ許可スヘシ

又爲替手形讓受人ヨリ爲替手形承諾人ニ對シテノ訴ニ於テ被告ノ答辯ハ承諾ノ偽造ニ係ルトノ事實ナリシ依テ被告ハ證據トシテ手形蒐集ノ際他ノ手形ニシテ被告ノ承諾ノ偽造ニ係ルモノヲ原告ニ於テ占有シ又或手形ハ原告自ラ之ヲ流通シタリトノ立證ハ許可セラレサリシ何トナレハ訴訟ノ目的タル手形ハ曾テ蒐集中ノ手形中ノ其一ナリシトノ證據ナカリシヲ

以テナリ

○以上ノ引例中ニテ點ヲ附シタル語ハ特ニ注意ヲ要セラル、モノナリ何トナレハ是レ即チ本原則ニ對スル例外アルコトヲ示スモノニシテ傍系ノ事實ト雖ヒ爭點事實ト連接シテ關係アルコトヲ立證スル時ニハ之ヲ證明スルヲ許サルレハナリ

此例外ハ數多ノ事件ニ於テ其適用ヲ認メラレタリ例セハ一莊園(譯者註莊園トハ古昔貴族ノ所領ニシテ一地方區劃ヲ爲セルモノナリ現時ハ必スシモ貴族ノ所領ニ非ルモ其區劃ハ猶存ス)ノ習慣ハ他ノ莊園ノ習慣ヲ立證スル爲メニ許可セラレストノ原則ハ裁判上確定セラレ、所ニシテ屢々適用セラレタル所ナリ何トナレハ各莊園ハ各特有ノ習慣ヲ有スルモノニシテ一莊園ノ習慣ヲ立證センカ爲メニ他ノ莊園ノ習慣ヲ許ス時ニハ是レ取リモ直サス各莊園同一ノ習慣ヲ有シテ其間ニ區別ナシト爲スモノニ外ナラス是レ大ニ人ヲシテ誤ラシムルモノニシテ到底立證ヲ許可シテ益ナキモノナリ然レトモ一莊園ト他ノ莊園トノ間ニ特別ノ關係アルコトヲ立證シ其關係上二個ノ莊園ハ同一ノ習慣ヲ有スヘキ理由アルコトヲ立證シ得タル時ハ一莊園ノ習慣ヲ證明スル爲メ他ノ莊園ノ習慣ノ立證ヲ許可スルハ即チ茲ニ述フル例外ノ場合ニ適當スルモノナリ

兩個ノ莊園トモ同一郡内ニ在リト云フカ如キ事實ハ其習慣ノ同一ナルヘキ理由トハ爲ラス

然レトモ元來一莊園ナリシモノ後ニ至リ二個ニ分レタルモノナル時ハ二個ノ莊園ハ同一ノ習慣ヲ有スヘキ推測ヲ生スヘシ然レトモ若シ其分離ニシテ久シキ年月前ニ行ハレタルモノナル時ハ分離後ニ雙方共異ナリタル習慣ヲ生シタルヤモ知ルヘカラサルヲ以テ是亦必要ノ事實トナル

又爭點ノ事實ニシテ或土地習慣ノ附帶事實ヲ確ムルニ在リテ若シ其習慣二個ノ莊園ニ普通ナル時ハ其一莊園ニ屬スル附帶事實ヲ確ムル爲メニハ他ノ莊園ノ習慣ニ屬スル附帶事實ヲ立證スルヲ得ヘシ例セハ甲莊園ニ於テ「ゲベルカインド」若クハ「ホルローイギリシ」ノ習慣アリト假定センニ乙莊園ニモ以上ノ習慣アル時ハ其附帶事實ヲ立證シテ甲莊園ニモ之アルモノタルコトヲ證明スルヲ得ヘシ

○英國及ヒ蘇國ノ境界ニ屬スル莊園及ヒデルビトシャイア及ヒコーンウォルノ鑛山地方ニ於テハ以上ニ述ヘタル規則ヲ適用スルヲ得ヘシ即チ前者ニ在リテハ其莊園全體ニ於テ「小作人權利」ト稱スル特別ノ習慣一般ニ行ハレ後者ニ在リテハ鑛夫及鑛物ノ權利ニ關シ特別ノ習慣普通ニ行ハル故ニ斯ル場合ニ在リテハ一莊園ノ習慣若クハ一地方ノ習慣ハ他ノ莊園若クハ地方ノ習慣ヲ確ムル爲メニ立證スルコトヲ許サル即チ或實例ニ於テ一貴族數多ノ莊園ヲ有シ其莊園ハ皆一地方ノ内ニ在リテ「エツセツシヨナル、テナント」ト名ツクル特別ノ習

慣一般ニ行ハレタリ而シテ右莊園ノ小作人ハ皆貴族ヨリ同様ノ小作契約ニテ小作セリ依テ甲小作人ト貴族ト小作人ノ權利ニ付爭ヲ生シタル時ニ該小作人ハ乙丙等ノ他ノ小作人ニシテ貴族ノ莊園ヲ小作セルモノ、習慣ヲ立證スルコトヲ許サレタリ

此事件ニ於テハ莊園ノ名義ニ就テハ何等ノ爭ナカリシモ假令之アリト爲スモ猶以上ノ如キ事實ハ同一ノ事情ノ場合ニ於テハ立證ヲ許サル、モノナルヘシ

○帝室ハラシカストル公爵ノ資格ニテ一千二百四十九年ニランカストル公爵タリシヘンリ
 一ニ與ヘラレシ特權ヲ行フコトヲ得ルヤ否ヤトノ事實即チポントテフラクト内ニ於テコロ子ル(官名)ヲ任命スルノ權アルヤ否ヤトノ問題爭點トナリシ時ニポントテフラクト以外ニ在ル公領ニ於テ「コロ子ル」ヲ任命スルノ權アルコトヲ立證スルヲ許サレタリ以上ト同様ノ原則ニ從ヒ一ノ商業習慣ヲ立證スル爲メ他ノ地方ニ於ケル同商業ノ習慣ハ立證ヲ許スヘキモノトセラレタリ

又ウエキフヒールド及ヒロツシデール兩莊園ノ境界ヲ爭フ事件ニ於テ原告ハ山脈ノ最高處即チ水ノ反對ノ方角ニ流ル、所ヲ以テ境界ナリト主張セン爲メロツシデールト他ノ莊園トノ境界モ同山脈ノ最高處ヲ以テセルコトヲ立證セントシタルニ裁判官ハ之ヲ許可シタリ其理由如何ト云フニ是等ハ自然ノ境界ニシテ普通莊園ニ適用セラル、モノナレハ之ニ反對ナ

ルコトハ實際ニ於テ頗ル稀有ノ事ナルヘケレハナリ

○以上ト同様ノ場合ニ於テ左ノ如ク判決セラレタリ即チ道路ト原告者所有ノ園地トノ間ニ介在セル荒地ハ原告ノ所有ナルヤ或ハ莊園ノ領主ノ所有ナリヤノ爭點ニ於テ領主ハ以上ノ道路ト他人(原告以外ノ人)ニ屬スル園地トノ間ニ介在セル荒地ノ領主ノ所有タルコトヲ證明スルコトヲ許サレタリ此場合ニハ右立證ヲ許サレタル荒地ハ爭論地トハ殆ント二英里ノ遠距離ニ在リシモ猶關係事實トセラレタリ加之ナラス道路ト園地トノ間ニハ橋梁及ヒ二三ノ古キ家屋アリシ

又或事件ニ於テ河底ノ所有權ヲ爭ヒ原告ニ於テハ法律ノ推測ヨリ生スル河底ハ對岸ノ所有者ニ於テ之ヲ分有ストノ事實ヲ反駁センカ爲メ證據トシテ被告所有地ニ接續セル下流ニ於テ原告ハ河底ノ全部ヲ所有スルコトノ立證ヲ許サレタリ

○以上ト同様ノ原則ハ鑛穴ノ場合ニハ一層ノ強カヲ以テ適用セラル、モノトス何トナレハ廣漠ナル地下ニ在ル所ノ鑛物ノ借受人ハ讓渡ニ係ル鑛穴ノ全部ヲ占有シテ之カ利益ヲ收ムルコトハ殆ント爲シ得ヘカラサル事柄ナレハナリ加之ナラス鑛穴ヲ占領スル所ノ方法ハ土地ノ外面ヲ占領スルモノト同様ノ證據ヲ提出スル能ハサルモノナルヲ以テナリ何トナレハ地上ノ收益ハ從テ收ムレハ從テ生スヘキモノナレハ鑛穴ノ場合ニテハ一度ヒ採掘シタル以

上ハ最早再ヒ收益ヲ得ル能ハサルモノナレハナリ故ニ廣漠タル原野ノ下層ニ在ル鑛穴及ヒ鑛物ノ讓渡ヲ受ケタル時ハ其一部分ニ於テ占有ノ所爲ヲ爲シタル時ハ讓受ニ係ル場所ノ全部ヲ占有シタルノ證據トナルモノトス

○總テ是等ノ場合ニ於テハ爭ニ係ル所ノ地所ト他ノ地所トノ間ニ連絡アリヤ即チ之ヲ換言セハ同一ノ權利義務ニ由リテ支配セラル、モノナリヤ否ヤヲ判定スルハ裁判官ノ職務トス」若シ以上ノ如キ推測ヲ生シ能ハサル場合ニ於テハ爭論ニ係ル地所以外ニ於テ行ハル、所ノ事柄ハ證明ヲ許可スヘキモノニ非ス例セハ幾個ノ荒地カ同一莊園内ニ在リテ道路ト圍地トノ間ニ介在セルトノ事實ノミニテ他ニ何等ノ模様アラサリシ場合ニハ一個ノ荒地上ニ所有權ヲ行ヒタリトノ事實ハ他ノ荒地ニ對シテモ所有權ヲ有スルモノナリトノ證據トシテ立證スルコトヲ許可セラレサリシ

○以上ニ述ヘタル如ク原則並ニ其例外ハ正義公道ニ其基礎ヲ有セルモノニシテ刑事事件ニ在リテハ民事事件ニ於ケルヨリモ更ニ一層ノ強力ヲ以テ適用セラル何トナレハ公訴狀ノ主ナル目的ノ一ハ被告人ヲシテ己ニ對スル犯罪ノ性質ヲ知ラシメ之ニ對スル答辯ヲ豫備セシムルニアレハ公訴狀ニ記述シタル犯罪ト無關係ノ證據ノ立證ヲ許ストキニハ被告ヲシテ意外ノ答辯ヲ爲サシムルコトヲ強ユルニ等シ何等ノ人ト雖トモ己ノ生命、自由、財産、名譽ヲ失

却スヘキ事柄ニ付豫メ用意ナクシテ不意ノ答辯ヲ爲サシメラル、義務アル可ラス若シ斯ルコトヲ許ストキニハ正直ノ人ト雖トモ法律ノ羅織スル所タルヲ免レサルニ至ルヘシ例セハ或事件ノ公訴狀ニ於テ被告ハ或指定セラレタル住居ニ侵入シ盜罪ヲ犯シタリト記載セラレシニ求刑者ハ該盜犯ノアリタルコトヲ立證スル能ハサリシヲ以テ更ニ論點ヲ改メ異リタル場所ニ於テ異リタル日ニ盜罪アリタルコトヲ立證セントシタルニ裁判官ハ之ヲ許サ、リシ何トナレハ時ハ通常主要ナル陳述ニアラサレトモ公訴狀ニ於テ一罪ヲ記述シタル以上ハ被告ハ專ラ之ニ對スル無罪ノ證據ヲ豫備セルモノト推測セサルヲ得ス故ニ犯罪ノ時、場所ヲ變更シテ他ノ犯罪ト爲シタル時ハ被告ハ之ニ答フル豫備ナキモノト推測セサルヲ得サルヲ以テ裁判官ノ之ヲ許サ、リシハ當然ト云フヘシ

又被告ニ於テ求刑者ノ求刑シタル犯罪ハ他ノ異ナリタル日時ニ於テ之ヲ犯シタリトノ自白アルモ採用スルヲ得サルモノトス

又國事犯罪ニ於テ同シク國事犯罪ニ屬スト雖トモ公訴狀ニ記載シタルト異ナリタル犯罪ヲ立證スルヲ得ス例セハ洋海ニ於テ政府ノ公敵ニ同盟シタリトノ公訴狀中ニ被告ハ政府ニ屬スル「ローヤルクレンカルチー」ト稱スル船ニ對シ奪奪ノ所爲ヲ行フタリトノ事實ヲ記載シタル時ニ被告ハ稅關ヲ破リ他ノ船ニ對シテ奪奪ノ所爲ヲ行フタリトノ事實ハ立證ヲ許サレ

サリシ

○然レトモ數多ノ犯罪事實ニシテ互ニ連絡セル時ハ一ノ犯罪ノ證據ハ他ノ犯罪ノ性質ヲ明ニスル爲メ立證スルコトヲ許サルヘシ例セハ石炭礦ノ借區人已ノ借區内ニ礦穴ヲ穿テ之ヲ四方ニ擴ケ四ヶ年間繼續シテ接續セル他ノ三十名ノ借區人ノ區域内ニ侵入シ石炭ヲ盜取シタリトノ事件ニ於テ右等三十件ノ犯罪事實ヲ恰モ一所爲ノ如ク公訴狀中ノ一項ニ記入求刑シタルハ相當ナリトセラレタリ而シテ裁判官カ陪審役ニ諭示スルニ當リ特ニ一件毎ニ注意スヘシト命シタルニモ拘ラス求刑人ヲシテ數多ノ事實中一ヲ撰ミ專ラ之ニ依ルヘシトハ命セサリシ

又或事件ニ於テ商家ノ子僧六シルリングヲ竊取シタリトノ被告事件ニ於テ其事實ハ左ノ如クナリシ當初錢箱ニ十二シルリング六ペンス存在シ其内數枚ノ銀貨ハ特標ヲ有セリ然ルニ被告子僧錢箱ノアル所ニ至リシ後主婦錢箱ヲ驗セシニ一シルリングヲ減シ十一シルリング六ペンスノミヲ錢箱中ニ止メタリ主婦之ヲ怪ミ時間ヲ隔テ、數度ニ錢箱ヲ改メタリシニ改ムル度毎ニ若干ノ金額ヲ減シタルヲ以テ子僧ノ身體ヲ検査シタルニ特標アル銀貨八シルリングヲ有シタルコトヲ發見シタリ今此事實ニヨルニ數度ニ貨幣ヲ竊取シタルノ所爲ハ既ニ一所爲ヲ構成スヘキモノナレトモ互ニ密着セル關係ヲ有セルヲ於テ各所爲ノ竊取タルコト

ヲ證明スル爲メニハ相互ニ其事實ヲ立證スルヲ要スルモノトス

○或謀殺被告事件ニ於テ被告タル婦人ハ其夫及ヒ二子ヲ毒殺シ更ニ第三子ヲ毒殺セントシタル未遂罪トノ四所爲ヲ公訴狀ニ記載シ第一ノ所爲ヲ立證スルニ際シ夫ノ死亡後幾クモナクシテ二子共「アーセニック」ト唱フル劇劑ヲ飲マシメラレ四人ノ者共疾病ノ際ニハ同一ノ徵候ヲ顯ハシ婦人ハ常ニ夫及ヒ三子ト同居シテ其飲食物ヲ調理セリトノ事實ヲ求刑者ニ於テ立證セントシタルニ被告代官人ハ之ニ故障シ其理由トシテ述フルニ求刑者ノ立證セントスルコトハ何レモ夫死亡後ノ事實ニ屬ス加之ナラス夫ヲ謀殺シタリトノ被告事實ニ對シテ之ニ他ノ三個ノ犯罪ヲ附加スルモノナレハ不公平ノ結果ヲ生シ陪審役ヲ誤ルノ恐アリト辯シタリ然レトモ裁判官ハ辯護人ノ故障ヲ採用セス右等事實ハ立證ヲ許スヘキモノト爲シタリ何トナレハ以上四所爲ハ互ニ連絡ヲ有シ求刑者ノ立證ハ第一夫ノ「アーセニック」ノ爲メニ死シタルコト第二夫ノ死亡ハ偶然ノ過失ニ非ルコトヲ證明スルニ足ルヲ以テナリ又或強盜事件ニ於テ被告ハ一夜中ニ三個ノ強盜ヲ爲シ甲家ニ於テ盜取シタル物品ヲ乙家ニ忘レ置キタルノ事實アリシヲ以テ右等三所爲ハ互ニ連絡シテ照應スルモノナレハ同時ニ立證ヲ許シタリ

又或放火事件ニ於テ被告ハ三人ノ異ナリタル所有主ニ屬スル乾藁ニ放火シタリトノ三個ノ

求刑ニ對シテ以上ノ乾藁ハ各接近シタル場所ニ在リテ或ハ同時ニ放火セラレタルノ推測ヲ起スヘキモノナリシヲ以テ關係事實トセラレタリ

○以上ニ述ヘタル證據法ノ原則トハ直接ノ關係ナシト雖トモ所謂撰擇ノ原理ト稱スルモノヲ一言スヘシ

法律點ヨリ論スレハ一公訴狀ノ各項ニ別異ノ犯罪ヲ記載スルコトハ若シ其犯罪ニシテ同種類ノモノナル時ハ違法ト爲サス從テ被告人ハ之ニ對シテ故障ヲ述フルノ權ナシ
公訴狀ノ各項ハ元來別異ノ犯罪ヲ記入スルモノナルヲ以テ輕罪事件ニ在リテハ數多ノ誹譏事件、毆打事件、詐欺事件、其他同種ノ犯罪ヲ一公訴狀ノ別項ニ記入スルコトハ普通トス
然レトモ重罪事件ニ在リテハ被告人ヲ保護スルノ點ヨリシテ一公訴狀ニ數多ノ重罪ヲ記入シタル時ハ裁判官ハ之ヲ以テ正當ノ公訴狀ト爲サス求刑人ヲシテ其一ヲ撰マシムヘシ是レ被告人ヲシテ辯護ノ簡易ヲ得セシムル爲メトス尤モ數多ノ事件ニシテ互ニ相連絡シ之ヲ一纏メト爲スニ非レハ犯罪ノ性質明瞭ナラサル場合ニハ無論求刑人ニ對シ撰擇ヲ命スルコトナシ

○例セハ被告人盜罪ノ贓物ナルコトヲ知リ物品ヲ收受シタル被告事件ニ付訴ヲ受ケ若シ贓物數多アリテ收受シタル日時ヲ異ニシ別異ノ犯罪ナル時ハ求刑者ハ其一ヲ撰フコトヲ命セラルヘシ然レトモ若シ物品同時ニ收受セラレタルモノナリトノ恐アル時ハ撰擇ヲ爲スノ必要ナシ

又數多ノ被告人一婦人ヲ連姦シタル被告事件ニ於テ被告人等ハ互ニ幫助シタルノ證據アル時ハ被告人等ノ所爲ハ互ニ關聯セルモノナルヲ以テ之ヲ分離セシムルコトナシ

又或放火事件ニ於テ公訴狀ニ異ナリタル所有主ニ屬スル五個ノ家屋ヲ燒失シタル事實ヲ五項ニ記載シタルニ右等家屋ハ皆同市街ニ在リテ列ヲ爲シ同一放火ニテ五個ヲ燒毀シタルモノナルヲ以テ分ツ可カラサルモノトセラレタリ

又四人ノ被告人二人ノ旅客ノ街道ヲ同行セルモノニ對シ強盜ヲ爲シタル被告事件ニ於テ右等事實ヲ公訴狀ノ一項ニ總記シタル場合ニ於テ判事チンドル氏ハ是等ヲ以テ關聯所爲ト爲シ求刑者ニ於テ其一ヲ撰ムノ必要ナシト判決シタリ

又或事件ニ於テ被告ハ二十二枚ノ偽造受取證ヲ行使シタリトノ事實ヲ公訴狀ノ一項ニ總記シ右等受取證ハ皆異ナリタル人ニ由テ署名セラレタルモノト爲シ政府ヲ欺クノ意思ナリトセシカ被告ノ辯護人ハ是等數多ノ犯罪ハ一項ニ總記スヘキモノニ非スシテ求刑人ハ其一ヲ撰マサル可ラスト辯護シタリ然レトモ公訴狀ノ事實ハ是等偽造ノ受取證ハ同時ニ行使セラレ提出セラレタル證據モ公訴狀ノ記載ト符合セシヲ以テ裁判官ハ分離撰擇セシム可キモノ

ニ非スト判決シタリ

○商店若クハ警察署ノ書記雇人ニ對スル金錢費消ノ罪ニ關シテハ立法官ニ於テ特別ノ法律ヲ發布セリ即チ被害者同一主人ナル時ハ六ヶ月以内ニ犯サレタル三個以下ノ犯罪ハ公訴狀ノ一項中ニ總記スルヲ得ルナリ斯ル立法ヲ爲シタル主意ハ若シ一ノ犯罪ヲ撰擇スヘキモノトスル時ハ有罪ノ立法ヲ爲スコト頗ル困難ナルヲ以テナリ

右ノ如キ法律アルニモ拘ラス求刑人一個ノ犯罪ニ付雇人ヲ求刑シタル時ハ證據提出ノ場合ニ至リテハ立證ハ其犯罪ノミニ制限セラルヘシ

○盜罪ノ場合ニ於テハ撰擇ノ原理ハ更ニ一層制限セラル即チ同一事主ニ對スル犯罪ナル時ハ六ヶ月以内ニ在リテハ三個以下ノ犯罪ヲ一公訴狀ニ總記スルヲ得而シテ審問ノ時ニ當リテ或時ニ盜罪ヲ犯サレタリト爲スモノ他ノ時ニ係ルコトヲ發見セラル、モ若シ事件三個以下ニテ六ヶ月ヲ出テサル時ハ求刑者ハ撰擇ヲ命セラル、コトナシ若シ新ナル事實ヲ發見シタル爲メ盜罪ノ數ヲ増スカ又ハ第一ノ犯罪ト最終ノ犯罪トノ時間六ヶ月以上ニ渉ル時ハ求刑人ハ撰擇ヲ爲サ、ル可ラス

○求刑人ヲシテ撰擇ヲ行ハシムル時期ハ二個以上ノ犯罪異ナリタル時ニ犯サレタリトノ證據ノ出ル時トス而シテ政府代言人カ求刑ノ論告ヲ爲ス最初ノ演述ニ於テ二個以上ノ犯罪ア

ルコトヲ示シタリト雖トモ未タ撰擇ヲ爲サシムル時期ニ至リタルモノト爲サス何トナレハ證人調ヘノ際ニ至リ事實ノ變更ヲ來スコトアレハナリ

○傍系ノ事實ハ排斥セラル、ヲ以テ原則トスルモ若シ爭點ニ關スル事實ニ對シ幾分ノ推測ヲ生スルニ足ル場合ナルカ被告人ノ同人ナルコトヲ示スニ足ルカ證人ノ陳述ニ信ヲ措クニ足ルヘキコトヲ示スニ足ル時ハ之ヲ許スモノトス

例セハ或誹謗事件ニ於テ印刷人宣誓ノ上被告ヨリ受取リタル書類ハ之ヲ被告ニ返還シタリト證言セシヲ以テ裁判官ハ被告ニ其書類ヲ提出スヘシト命シタル後同一被告ノ記述ニ係ル他ノ謾謗書類ハ證人ノ陳述ノ真正ナルコトヲ傍證スルモノトシテ提出ヲ許サレタリ

又街路強盜事件ニ於テ被告ハ犯罪ノ場所ニ在ラサリシトノ答辯ヲ爲シタル時ニ求刑人ハ被告カ同夜犯罪ノ場所ノ近傍ニ於テ他人ニ對シ強盜ノ所爲ヲ爲シタリトノ事實ハ提出ヲ許サレタリ又被告ニ於テ以上ノ如キ答辯ヲ爲サスト雖トモ犯罪人カ當時或場所ニ在リタリト云フコトヲ證明スル爲メ求刑人ノ陳述ハ立證ヲ許サル、モノナルヘシ

○民事事件ニ在リテモ證人ノ陳述ヲ確ムル爲メニ傍系事實ヲ立證スルコトヲ許ス場合尠カラス例セハ被告人他人カ自己ノ名義ニテ支拂ヲ承諾シタル約束手形ヲ以テ訴ヘラレタル時ニ被告ハ其他人カ被告ノ名義ニテ支拂ヲ承諾シタル他ノ約束手形ヲ支拂フタリトノ事實ハ

被告ニ於テ兼テ其者ニ支拂ノ承諾ヲ爲ス代理權ヲ付與シ置キタリトノ證人ノ陳述ヲ確ムル爲メ立證ヲ許サレタリ

○傍系ノ證據ヲ許サストノ原則ニ對スル第二ノ例外ハ學術上ニ關スル疑問ノ場合トス即チ專門藝術家ノ意見ノ眞正ナルコトヲ證明スルニ足ルヘキ傾向アル事柄ハ直接ノ關係ナシト雖トモ立證ヲ許スモノトス例セハ或事件ニ於テ堤防ノ爲メ港灣ノ土砂ヲ積堆セシメタリヤ否ヤノ事實爭點トナリシ時ニ沿岸ノ他ノ港灣ニ於テモ同様ノ結果アリシトノ事實ハ證人ノ陳述ニ根據アルコトヲ示スニ足ルヲ以テ立證ヲ許サレタリ

又或事件ニ於テ被告ハ或時間ニ於テ精神錯雜セシヤ否ヤノ事實爭點タリシ場合ニ醫師タル證人瘋癲ノ遺傳性ナルコトヲ證言シタルトキハ其陳述ノ信憑スルニ足ラサルコトヲ示ス爲メニ被告ノ祖先ニ瘋癲病者ナカリシトノ事實ヲ證明スルヲ得ヘシ

又惡意ヲ以テ人ヲ逮捕シタリトノ事實ニ於テ逮捕前後ノ事情ヨリ惡意ノ有無ヲ推定スルコトハ陪審役ノ普通ニ行フ所トス

又誹譏事件ニ於テ被告カ其前後ニ述ヘタル事柄ハ誹譏ノ惡意ニ出タルコト若クハ誹譏ヲ故意ニ公ケニシタルコトヲ立證スル爲メニ許可セラルヘモノトス而シテ此場合ニ於テハ被告ノ陳述ハ訴訟後若クハ爭點一定ノ後ニ吐露シタルモノニ係ルト雖トモ猶立證ヲ許スモノト

ス又右等陳述ハ言辭曖昧ナル場合又ハ原告者以外ノ者ニ述ヘタルコトニテモ若クハ其言辭其レ自カラニテハ起訴ノ理由トナラサル場合ニテモ猶立證ヲ許スモノトス

○ウワルウヰヅク對ホルクスノ事件ハ此原理ヲ説明スルモノナリ該事件ハ不法ニ人ヲ監禁シタリトノ訴訟ニテ被告ノ答辯ノ第一ハ責任ナシト云フニ在リテ第二ハ原告重罪ヲ犯シタルヲ以テ被告ノ監禁ヲ爲シタルハ正當ナリシト云フニ在リシ然ルニ審問ニ及ヒ被告ハ第二ノ答辯ヲ取消シ管轄違ノ申立ヲ爲シタリ裁判官ハ陪審役ニ對シ被告ニ於テ謂レナク管轄違ノ申立ヲ爲シタルハ惡意ノ證據トシテ見ルヘキモノニテ損害賠償ノ額ヲ多カラシムヘキ理由アルモノト諭示シタリ

又或誹譏事件ニ於テ審問ノ際一般ノ爭點ヲ定メ管轄ニ付辯論アリタル後原告ハ被告ニ向ヒ若シ被告ニ於テ謝罪ヲ爲シ名義上ノ損害金ヲ拂フニ於テハ原告ハ其訴訟ヲ引下クヘシト述ヘタリ然ルニ被告ハ依然トシテ答辯ヲ改メス相當ノ理由アリテ誹譏シタルモノナリト主張シ其證據ヲ提出スル能ハサリシヲ以テ裁判官ハ被告ノ所爲ニ由リ其惡意アルコトヲ認メ損害賠償ノ額ヲ多カラシムヘキ理由アリト爲シタリ

○誹譏ノ事件ニ於テ被告人通信ノ特權アルコト及ヒ正當ノ理由アルコトヲ答辯スト雖トモ審問ノ際之ヲ放棄シタルトキハ陪審役ハ訴狀ニ記載シタルノミヲ以テ判斷ノ材料ニ供スヘ

カラス

○被告ノ惡意ヲ證明スル爲メ他ノ誹譏ノ言辭ヲ立證スルコトヲ許サル、ノミナラス之ヲ公ケニシタル方法ノ立證ヲモ許可スルモノトス何トナレハ其方法如何ニヨリ惡意ノ大小有無ヲ證明スルニ足ルコトアレハナリ例セハ印行シタル誹譏ノ文章ヲ被告ノ宅ニ送致シ若クハ其住居ノ門戸ニ貼附シタル場合ノ如キハ其情ノ惡ムヘキハ論ヲ待タス

○以上ト類似ノ原則ニ基キ被告ハ己レノ誹譏ヲ以テ正當ノ理由アルモノト爲サス單ニ情ノ輕キコトヲ示シテ損害ノ金額ヲ減少セシムル爲メ證據ヲ提出スルヲ得ヘシ例セハ誹譏ノ文章ハ被告ノ著述ニ非スシテ他ノ新聞紙ヨリ拔萃シタリトカ或ハ原告ノ所爲ニ由テ被告ヲ激怒セシメタルヲ以テ該文章ヲ公ケニシタリト云フカ如シ

以上ノ如キ場合ニ於テ敢テ己レニ責任ナシト云フニ非スシテ責任ヲ減少センカ爲メニ提出ヲ許サル、モノナレハ是等證據ヲ提出スルニハ裁判官ノ許ヲ得ルカ又ハ審問七日前ニ己レノ答辯セントスル要領ヲ原告ニ示スノ義務アリ即チ此點ニ關スル新法ノ明文ハ左ノ如シ

一千八百八十三年高等裁判所訴訟手續第二十七則

誹譏及讒謗ノ訴訟事件ニ於テ被告其陳述ノ正實ナルコトヲ申立テ無責任タルコトヲ答辯スルニ非スシテ單ニ賠償額ヲ僅少ナラシメン爲メノ目的ヲ以テ誹譏及ヒ讒謗ニ關ス

ル文章ヲ公ケニシタル事情ヲ立證セントスルニハ裁判官ノ許ヲ得ルカ或ハ其旨ヲ審問七日前ニ原告者ニ通知スヘシ

○此種ノ證據ハ刑事々件ニ於テハ屢立證ヲ許サル、モノトス例セハ偽造ノ證書、偽造ノ銀行手形、若クハ偽造貨幣ヲ其情ヲ知リテ行使シタル犯罪ニ就テハ被告ハ他ノ偽造證書若クハ偽造貨幣ヲ求刑人又ハ其他ノ者ニ行使シタリトノ事實ハ其事自身ニ於テ別ノ犯罪ヲ構成スヘキ場合ニテモ被告ニ犯意アリシコトヲ證明スル爲メニ立證ヲ許サル、モノトス然レトモ是等ノ場合ニ於テハ證據物トシテ提出セラル、證書ハ眞ニ偽造品タルコトノ確證アルヲ必要トス又以上ノ如キ場合ニ於テハ被告ニ於テ他ノ偽造證書ヲ行使シタルコト及ヒ行使シタル時ノ被告人ノ舉動ヲ立證スルコトヲ許スト雖トモ被告人カ右等ノ犯罪事件ニ付或他ノ時ニ於テ斯々ノコトヲ明言シタリト云フカ如キハ頗ル關係薄クシテ信ヲ置キ難ク且ツ被告ニ於テ之カ反證ヲ舉グルコトハ殆ント爲シ得ヘカラサルコトナルヲ以テ裁判官ハ其立證ヲ許可セサルヘシ

○以上ノ如ク證據提出ノ規則ヲ寬裕ニシタルコトハ屢、他ノ犯罪ニ適用セラレ盜罪ノ贓品ヲ收受シタル場合ニハ特ニ立法ノ作用ヲ以テ之ヲ許サレタリ即チ一千八百七十一年犯罪豫防條例第十九節ニ曰ク

盜罪ノ贓物ナルコトヲ知リテ收受シタルモノ及ヒ盜罪ノ贓物ナルヲ知リテ之ヲ占有セ
ル被告人ニ對シテハ審問中何時ニテモ右被告人カ十二月前ニ他ノ盜贓品ヲ收受占有シ
タルノ證據ヲ提出シ其證據ニ由リ現ニ被告事件トナレル盜贓ノ目的物ハ其盜贓タルノ
情ヲ知リタルモノナリトノ事實ヲ證明スルノ材料ト爲スヲ得

○以上ノ如キ制定アルニモ拘ラス他ノ普通ノ犯罪事件ニ在リテハ以上立法ノ精神ヲ裁判官
ニ於テ適用セサルモノ多シ然レトモ人ヲ脅迫スルノ書狀ヲ送リタル者ニ對シテハ被告人ノ
他ノ書狀ハ脅迫狀ノ意味ヲ説明スルニ足ルモノトシテ提出ヲ許サレタリ又惡意ヲ以テ人ニ
發銃シタリトノ公訴事件ニ於テ右發銃ハ偶然ノ過失ニ出タルモノナルヤ或ハ故意ニ出タル
モノナリヤノ問題生スルキハ右被告人カ他ノ時ニ在リテ故意ニ被害者ニ對シテ發銃シタリ
トノ事實ハ惡意ヲ證明スル爲メニ立證ヲ許サレタリ又謀殺事件ニ於テ被告ト被害者ハ兼テ
爭論ヲ爲シタリトカ喧嘩ヲ爲シタリトカノ事實ハ惡意ノ存在ヲ推測スルノ材料タルヘシト
雖トモ被告ハ被害者ニ對シテ兼テ好意、深切ヲ盡シタリトノ事實モ反對ノ推測ヲ生セシム
ル爲メニ立證ヲ許サレタリ

○以上ト同様ノ主意ニ基キ強盜ノ公訴事件ニ於テ被告ハ暴徒ノ一人ナリシトノ證據アリテ
兇人ノ家宅ニ侵入シ又暴徒ノ他ノ一人ハ兇人ニ對シ外面懇切ノ裝ヒヲ爲シテ被害者ニ
告クルニ危難ヲ避クル爲メニハ穩カニ財物ヲ暴徒ニ差出スヘシト忠告シタリ然レトモ其實
ハ共犯人ニシテ唯強盜ノ所爲ヲ爲シ遂クルニ外面ヲ裝フタルニ過キス此場合ニ於テ忠告ヲ
爲シタルモノト被告トハ同日ニ他ノ場所ニ於テ盜罪ヲ犯シタリトノ事實ハ其者等ノ共犯タ
ルヲ證明シ前ノ忠告ハ眞ノ忠告ニ非ルコトヲ證明スルノ材料トシテ提出スルコトヲ許サレ
タリ此場合ニ於テハ一人ニ對スル被告事件ニ於テ他ノ者ノ爲シタル所爲ヲ立證スルヲ許シ
タルモノナレトモ法律ハ犯罪ヲ目的トセル同謀者即チ共犯人ハ其間ニ連絡アルモノト爲シ
異人ノ取扱ヲ爲サ、ルナリ

○上來述ヘ來リタル規則ニ附帶シ人々ノ一般ノ性質ニ關シ證據ノ許否ヲ定ムル原則ヲ述ヘ
ン
右等ノ證據ハ第一無罪若クハ有罪ノ推測ヲ生スル爲メ第二損害ノ額ヲ増減スル爲メ第三證
人ノ信否ヲ確ムル爲メ立證ヲ許スモノトス

○性質ナル語ハ或有名ナル判事ノ述ヘタル所ナレトモ其者ノ氣質ヲ云フニ非スシテ其者ノ
品行上ノ評判ヲ指スモノナリ即チ其者ハ隣里鄉黨ニ在リテ善人ノ評判アリヤ惡人ノ評判ア
リヤ等ノ事柄ヲ意味スルモノトス

證人若シ人ノ性質ニ就テ尋問セラル、時ハ主人カ其僕婢ノ性質ニ付己ノ經驗上得タル觀察

ノ結果即チ見込ヲ述フルカ如ク己ノ意見ヲ述フルコトヲ命セラレタルニ非ズシテ法律上ハ只評判ヲ述フルノミトス

此規則タル實ハ深キ理由アルニ非ズ只裁判ノ先例ニ由テ然ルノミ故ニ通常ナレハ既ニ排斥セラル、筈ナルニ今然ラサルモノハ二個ノ理由アリテ存スルナリ即チ第一ハ此原則實際ニ在リテハ嚴格ニ執行セラレス第二ニハ裁判官ニ於テ適用ノ際ニ多少ノ注意ヲ挾ムニ由ルモノトス通常善良ノ性質ノ人ハ社會ニ最モ名ナキ人ナリ故ニ善良ノ評判アル人ヨリモ却テ何等ノ評判ナキ人ニ眞ノ善良ナル人アリ故ニ今日ノ處ニテハ裁判官カ證人ニ訊問スルニ就テモ惡評ナキ人ヲ以テ善良ノ人ト爲スナリ即チ或判事ハ此消極ノ問題即チ惡評ナキコトヲ以テ善人ノ徵憑ト爲シ證人ニ對シ問ヲ發スルニモ其方ハ此人ニ對シ惡評アルコトヲ聞カサヤトノ消極ノ語ヲ用井タリ

○被告人ニ於テ或指定セラレタル罪ヲ犯シタリヤ否ヤトノ争點ニ關シテハ其者ノ善良ナリトノ一般ノ性質ハ其者ノ有罪ニ付疑アル時ノ外ハ殆ント價値ナキモノナリ故ニ平時ニ在リテハ通常排斥セラル、モノニシテ疑ハシキ場合ノ外ハ陪審役ヲシテ右等證據ニ依頼セシムルコトナシ

犯罪事件ニ付被告人ノ意思ヲ必要元素ト爲ス場合ノ外ハ被告人ノ性質ヲ證明スルコトヲ許

ス場合ト雖トモ單ニ一般ノ性質ニ就テ立證ヲ許スノミニシテ特別ナル事實ニ就テ立證ヲ許サ、ルモノトス何トナレハ善良ノ評判アルトカ奸惡ノ評判アルトカハ固ト不定ノ事柄ニシテ即チ其者ノ知人朋友間ニ漠然存スルモノニテ確定ノ事實ヲ指シテ明言シ得ヘキモノニ非ス且單一ノ所爲ハ其善惡ヲ以テ直ニ其人ヲ定ム可カラズ善人ト雖トモ過テ惡ヲ爲スコトアリ惡人ト雖トモ亦稀ニハ善事ヲ爲サストハ明言シ難シ故ニ確定ノ事實ヲ指シテ善惡性質ノ立證ト爲スヲ許サスシテ只其者ノ一般ノ評判ハ大ニ其人ト爲リヲ知ルニ足ルヲ以テ一般ノ評判ニ限り立證ヲ許スモノトス

一般ノ評判ヲ立證スルコトヲ許ス場合ト雖トモ被告事件ニ關係アル事柄ナラサル可ラス例セハ盜罪ノ被告人ニ對シテ被告人金錢ニ清廉ナルノ評判、帝室ニ對スル犯罪ノ被告人平生帝室ニ忠義ナリトノ風評ノ如シ又評判ハ犯罪當時ノ評判ナラサル可ラスホールト卿ノ曾テ言ヘルニ人ト雖トモ生レナカラニシテ奸惡ナルモノハ鮮シ又惡人變シテ善人ト爲ルコトアリ故ニ犯罪當時ノ風評ニ非レハ被告人ノ利益ト爲ルコトナカルヘシ

○被告人ハ法律ニ於テ之ヲ保護スルノ精神ヨリ己ノ風評ヲ以テ無罪ヲ主張スルノ材料ト爲スコトヲ許スト雖トモ被告人ヲ求刑スル處ノ原告人ニ在リテハ風評ノ如キ漠然タル事物ヲ以テ被告人ヲ有罪ナリト論告スルノ材料ト爲スヲ許サス是レ治罪ノ一大原則ナリ然レトモ

被告ニ於テ己ノ無罪ノ推測ヲ生セシメンカ爲メ證人ヲ呼出シ己ノ性質ニ付證言セシメタル時ハ政府代言人ハ其推測ヲ打破センカ爲メ證人ヲ反問シ證人ニ於テ被告人ヲ善良ノ性質ノモノナリト信スル理由若クハ確段ナル事實ニ關シ訊問ヲ爲スヲ得ヘシ即チ被告ニ於テ性質ノ善良ナルコトヲ證シタル後ニ至リ始メテ求刑人ニ於テ之ニ反對スル所ノ證據ヲ提出スルヲ得ルモノトス又斯ル場合ニハ奸惡ナリトノ一般ノ性質ニ付立證ヲ許スト雖トモ實際ニ於テハ斯ル手段ヲ用ユルコトナシ

重罪及ヒ輕罪事件ノ或犯罪ニ於テハ被告人自カラ證人ヲ呼出シ若クハ求刑者證人ヲ訊問シ己ノ性質ノ善良ナルコトヲ證明セントシタル場合ニ限リ求刑者ハ其證明ヲ打破ランカ爲メ被告ノ前科即チ曾テ犯罪ヲ爲シタルコトヲ立證スルコトヲ許セリト雖トモ此手續ヲ許ス所ノ條例ハ何レモ大罪ヲ例外トセリ

○盜罪ノ贓品ヲ收受シタル者ニ對シテハ特別ノ明文法アリ而シテ此法律タル實際ニ於テハ便利ナルヘキヤモ知ル可ラスト雖トモ前節ニ述ヘタル被告人保護ノ精神ニハ背戾スルモノトス即チ一千八百七十一年犯罪豫防條例第十九節ニ曰ク

盜罪ノ贓品ナリトノ情ヲ知リテ物品ヲ寄藏シ又ハ占有シタリトノ訴ヲ受ケタル被告人ニ對シテハ若シ贓品被告ノ占有内ニ在リタルコトヲ證明スル時ハ被告ハ五ヶ年以内前

ニ在リテ詐欺又ハ財産ニ關スル犯罪ノ爲メ處罰セラレタル事實ハ審問中何時ニテモ之ヲ證明シ被告ニ於テ盜罪ノ贓品タルノ情ヲ知リタルモノトノ推測ヲ生セシムル爲メノ材料ト爲スヲ得但シ前科アルコトヲ證明スル爲メニ證據ヲ提出スルニハ書面ヲ以テ七日以前ニ被告ニ其旨ヲ通知スヘキモノトス尤モ被告人ニ前科アルコトハ公訴狀中ニ之ヲ記入スルヲ要セサルモノトス

○被告人ノ一般ノ性質ニ關スル證據ト犯罪ノ有無トハ其關係實ニ薄弱ニシテ被告ニ於テ或所爲アリタリトカ又ハナカリシト云フノ事實ニ對シテハ其實充分ノ證據トハナラサルナリ故ニ之ヲ許ス場合ニテモ單ニ刑事々件ニ止マリ民事々件ニハ適用ナキモノトス即チ高等裁判所ノ租稅部ニ於テ檢察長ノ起訴スル度量衡ニ關スル被告事件、官吏ヲ腐敗セシムル被告事件等ニ就テハ政府ノ名義ヲ以テ起訴スルモノナレトモ元來民事々件ナルヲ以テ被告人一般ノ性質ヲ證明スルヲ得サルモノトス

又相續人カ遺產ノ分配ヲ受ケタルモノニ對シテ訴ヲ起シ被告人虛偽ノ遺囑證書ヲ以テ遺囑者ヲ欺キタリトノ爭論ナリシモ被告人一般ノ性質ノ善良ナルコトヲ立證スルヲ許サ、リシ又誹譏事件ニ於テ原告ハ被告ヨリ金錢ヲ欺取シタリトノ申立ニテ被告ハ其事實ヲ眞實ナリト辯疏シタルヲ以テ原告ノ性質ハ即チ爭論ノ點トナリタルモ矢張り以上ト同様ノ原則ヲ適

又或誹譏事件ニ於テ被告ハ測量家タル原告ヲ誹譏スルニ原告ハ被告ノ爲メ或事業ヲ爲シタルニ不熟練ニシテ其業ニ堪ヘストノコトヲ以テセリ依テ原告ハ測量家トシテ自己ノ適當者ナルコトヲ證明シ被告ノ誹譏ニ惡意アルコトヲ證明セントシタルモ許サレサリシ

又ケンヨン卿ノ反對論アルニモ拘ハラズ惡意求刑犯ノ訴ニ於テハ被告ハ自己ニ相當ノ理由アルコトヲ證明センカ爲メ原告ノ惡シキ性質ヲ立證スルヲ許サ、ルモノナルヘシ

○以上述ヘタル如ク一般ノ性質ハ普通立證スルヲ許サ、ルモノナレトモ若シ一般ノ性質爭點トナル場合ニ於テハ固ヨリ立證ヲ許スハ當然トス例セハ誹譏ノ事件ニ於テ或婦人ヲ誹譏スルニ善婦人ノ風采ナク性行惡シトノ言ヲ以テシタルニ其言ノ當レルヤ否ヤハ訴訟ノ爭點ナルヲ以テ婦人ノ性質ヲ證明スル爲メニ婦人ノ親友タルモノヲ證人トシテ呼出シ證言セシムルハ必要トス又或事件ニ於テ原告ヲ誹譏スルニ不正不品行ヲ以テシタル場合ニ於テ其言ノ當レルヤ否ヤハ爭點ナルヲ以テ原告人ト兼テ同居シタルモノヲ證人ニ呼出シ立證スルコトヲ許スヘシ然レトモ是等ハ原則ニ對スル所ノ例外ト云フヘキモノニ非ス何トナレハ一般ノ性質其レ自身カ訴訟ノ爭點ナルヲ以テ之ヲ立證シ得ルハ當然トス又斯ル一般ノ性質ヲ立證スルニハ一般ノ證據ニ由ルノ外手段ナカルヘシ

○損害金額ヲ増減スル爲メニ一般ノ性質ノ立證ヲ許スコトアルハ前既ニ之ヲ述ヘタリ例セハ夫原告人トナリ姦罪ノ訴ヲ起シ損害ノ賠償ヲ要ムル場合ニ於テハ被告ハ婦人ノ品行ノ善良ナラサルコトヲ立證シテ損害金額ノ輕減ヲ求ムルヲ得ヘシ又他人ノ女兒ヲ誘拐シタリトノ訴ヲ受ケタル被告人モ亦同シ是等ノ理由タル元來婦女ノ品行方正ナル時ニヨリ始メテ其夫タリ親タルモノ、感觸ヲコソ害スヘケレ若シ婦女ニシテ品行修マラス兼テヨリ猥褻ノ所爲アル時ハ被告ノ姦通若クハ誘拐ノ所爲ハ敢テ夫タリ親タルモノニ大害ヲ與フルモノト見ル可カラサレハナリ尤モ是等ノ事實ハ被告ノ責任ヲ消滅セシムルニ非レトモ被害者ノ損害ノ多カラサルコトヲ證明スルニ足ルモノトス故ニ是等ノ場合ニ於テハ婦女ノ一般ノ性質ヲ證明スルヲ得ルノミナラス不品行ナル特別ノ所爲ヲモ立證スルヲ得ルモノトス

○右等不品行ノ所爲若クハ一般ノ不品行ノ事實ハ被告ノ姦通若クハ誘拐アリタル前ニ係ルモノタラサル可カラス何トナレハ其以後ノモノナル時ハ被告ノ所爲ノ爲メニ婦女ノ品行ヲ亂シ或ハ名譽ヲ傷ケタルモノナリヤモ亦未タ知ル可カラサレハナリ

誘拐ノ訴訟ニ於テ原告ノ女兒ヲ證人トシテ呼出シタル場合ニ於テハ婦人ヲ訊問シテ證據ノ端緒ヲ得タル後ナレハ格別未タ之ヲ得サル前ニ不品行ノ特別ノ所爲ヲ立證シ得ルヤ否ヤハ疑問ニ屬スレトモ法理ヨリ論スル時ニハ之ヲ爲シ能ハサルノ理由アル可カラス

又婦女訊問ノ際婦女ニ於テ被告ニ誘拐セラレタルコトヲ陳述シ從テ妊娠シタリトノ事實ヲ申立テ而シテ被告ハ之カ答辯トシテ他ニ胎兒ノ父タルヘキモノアルコトヲ申立ツル時ハ此點ニ關シ先ツ婦女ヲ反問スルニ非レハ更ニ其證據ヲ提出スルヲ得サルモノトス何トナレハ被告申立ノ事實ニシテ眞實ナラハ當ニ損害減額ノ理由トナルノミナラス全ク責任ヲ免カルルヲ得ルノ理由トナルヘケレハナリ

○姦通者ニ對シテ損害賠償ノ訴ヲ爲ス時ハ被告人ハ原告ノ不品行若クハ不行跡ヲ證明シテ損害金額ノ輕減ヲ求ムルヲ得例セハ夫タル原告妻ヲ虐待シ或ハ之ヲ養フヲ拒ム等ノ所爲アル時ハ即チ其配偶者ヲ愛セサルノ證據ニシテ損害額ノ輕減ヲ求ムルノ理由トナル又誘拐ノ場合ニ於テモ父タルモノ、甚シキ不品行ハ同一ノ理由トナル

婚姻破約ノ訴ニ於テモ以上ト同様ノ原則ヲ適用ス例セハ婚姻破約ノ訴ヲ受ケタル被告人ハ原告者ノ惡キ性質若クハ殘酷ナル行ヲ證明シテ賠償額ノ減少ヲ求ムルヲ得ヘシ但シ原告者ノ不品行ニシテ頗ル重大ナルモノナル時ハ被告ニ於テ婚姻契約ノ履行ヲ拒ムノ理由トナレトモ斯ル場合ニハ特別ノ答辯ヲ爲シテ立證ノ手續モ亦別種ノ方法ニ由ルヲ要ス

○名譽毀損ノ訴ニ於テ損害賠償額ノ輕減ヲ求ムル爲メ原告ノ一般ノ性質ヲ毀損スヘキ事實ノ立證ヲ許スヤ否ヤハ未タ一定セス即チ之ヲ許ス可カラスト爲ス論者ノ說ニ由レハ斯ル證

據ヲ許ストキハ實際原告ニ不品行アラサルモ不品行アルヘシト推測ヲ生スル證據ノ爲メ己レノ名譽ヲ害セラレ被告ハ損害賠償ノ輕減ヲ求ムルヲ理由トシテ却テ原告ノ名譽ヲ毀損スルノ利益ヲ得ルニ至ルヘシ加之ナラス斯ル證據ヲ許ス時ニハ數人共謀スル時ハ一人ノ名譽ヲ毀損スルコト頗ル容易ナリ而シテ善良ナル人ニテモ怯懦ナル人物ハ遂ニ裁判ノ手續ニ由リ己レノ名譽ヲ回復スルコトヲ敢テセサルニ至ルヘシト云フニ在リ

○以上ニ述ヘタル議論ニ對シテ之ヲ反駁スル所ノ議論ナキニ非ス即チ不品行ノ特別ノ所爲ニ對シテ立證ヲ許スルハ或ハ前節ニ述ヘタルカ如キ弊害ナキニシモアラサルモ一般ノ評判ニ對シテ證言セシムル場合ニハ決シテ前ニ述ヘタルカ如キ弊害ノアルヘキ理由ナシ加之ナラス己ノ名譽ヲ毀損セラレタリトシテ訴ヲ起ス程ノ人ナレハ反對々手ニ於テ提出スル證據ヲ反駁スル所ノ材料ヲ有シ得ストハ云フ可カス又斯ル證據ヲ許スヨリ生スル弊害ト稱ヘラル、モノハ多クハ實際ノ弊害ニ非スシテ想像上ニ成立スルモノニシテ證人若シ不實ノ陳述ヲ爲ス時ハ反問ノ方法ヲ以テ之ヲ打破スルハ容易ニシテ且ツ證人陳述ノ理由ヲモ反問スルコトヲ得ルモノナリ又被告ニ於テ斯ル證人ヲ呼出シ萬一其事實ヲ立證シ能ハサル時ニハ賠償額ヲ加重セラル、ヲ以テ謂レナク容易ニ立證ヲ肯スルモノニアラス又他人ノ名譽ヲ毀損スル爲メ數人ノ共謀ヲ恐レ怯懦ナル被害者ヲ迷惑セシムルトノ論アレトモ斯ル立論ハ法律

上ノ議論ニハ到底許スヘキモノニ非ス而シテ原告カ誹譏ノ爲メニ受ケタル損害ヲ見計リ從テ損害賠償額ヲ定ムルニ就テハ陪審役タルモノハ勢ヒ原告ノ人ト爲リヲ知ラサル可ラス而シテ之ヲ知ルニハ原告ヲ知レリト云フモノ若クハ平生原告ト交際セルモノヲ呼出シテ其事件ヲ陳述セシムルコトハ緊要ノ事ナルヘシ

○此困難ナル問題ニ關シ以上ニ述ヘタル如ク反對ノ議論盛ナルヲ以テ其當否ハ容易ニ決スヘカラサルモ現行法ニ由レハ高等裁判所ノ訴訟規則ニヨリ左ノ如ク規定セリ即チ損害賠償額ノ輕減ヲ求ムル爲メ原告ノ性質ヲ證明セントスル被告人ハ之ヲ爲スニハ裁判官ノ許ヲ得ルカ然ラサレハ審問七日前ニ被告ノ立證セントスル事柄ノ詳細ヲ原告人ニ通知スルヲ要スルモノトス

○此場合ニ於テモ他ノ性質ニ關スル證言ヲ許ス場合ト同シク證據ハ誹譏ニ關スル性質ニ關係セサル可ラス而シテ一般ノ評判ヲ立證スルノミニシテ格段ナル不品行ノ所爲ヲ立證スルヲ得ス又原告ノ名譽ヲ毀損スヘキ風評ノ類ハ誹譏事件起生前ニ係ルモノニ限制スルヲ要スヘシ

○損害賠償額ヲ増加スルノ目的ヲ以テ原告人ハ己ノ品行ニ關スル一般ノ風評ヲ立證スルヲ得サルモノトス但シ被告ニ於テ原告人ノ名譽ヲ毀損スヘキ風評ヲ證明シタルキハ之ヲ反駁

ズル爲メニ許サル、ハ勿論トス即チ或事件ニ於テ原告者ヲ誹譏スルニ盜罪ヲ犯シタリトノ事實ヲ以テシタルニ被告ハ其事實ノ真正ナルコトヲ答辯シタルニモ拘ラス裁判官ハ原告ニ於テ其一般ノ品行ヲ立證スルコトヲ許サ、リシ

又或場合ニ於テハ此原則ヲ極度ニ適用シ吾人ヲシテ不公平ナキヤノ感覺ヲ起サシメタル事件尠カラス例セハ或誘拐ノ被告事件ニ於テ被告ハ女兒ノ既ニ他人ト私通セシコト及ヒ其レカ爲メ子女ヲ擧ケタリトノコトヲ立證スル爲メ證據ヲ呈シタルニエレンボロー卿ハ婦女ノ貞操ニ付一般ノ性質ヲ立證スル爲メ證人ニ訊問スルヲ禁シ只原告ヲシテ被告ノ申立ノ不實ナルコトヲ立證スルヲ許セリ又同判事ハ他ノ場合ニ於テ女兒ノ不品行ナルコトヲ證明スル爲メ女兒ヲ再問スル場合ニ於テ女兒ノ不品行ニ對スル一般ノ證據ヲ排斥シタリ而シテ其理由ハ訊問ニ由テ充分ニ女兒ノ品行如何ヲ確マル餘地アルヲ以テ一般品行ニ關スル立證ヲ許サ、リシナリ

又或姦罪ノ事件ニ於テ被告ハ原告證人ヲ反問シ其信ス可カラサルコトヲ證明セントシタルニ之ヲ爲シ遂クル能ハサリシヲ以テケンヨン卿ハ證人カ己レノ一般ノ品行ノ方正ナルコトヲ立證センカ爲メ更ニ他ノ證人ノ喚問ヲ求メタルニ之ヲ許サ、リシ是等ノ場合ニ於テハ何レモ被告ノ申立其レ自身ヲ反駁スルヲ得又被告ニ於テ其申立ヲ立證スル能ハサリシ場合ナ

レハ原告ニ於テ己ノ品行ヲ立證スルコトハ無用ニ屬スルカ如クナレトモ被告ノ陳述ニ由リ陪審役ヲ迷ハシムル恐アルヲ以テ斯ル場合ニハ一般性質ノ立證ヲ許スヲ以テ穩當トナサ、ル可ラス近來ニ至リ之ヲ許シタルノ判例ニ件ヲ得タリ満足ノ至ニ堪ヘス

○證人ノ信否ヲ確ムルノ目的ヲ以テ證人一般ノ性質ニ關スル證據ヲ許否スル所ノ原則ハ今後述フル所アルヘシ而シテ今茲ニ注意スルヲ便利トスル點ハ左ノ如シ

證人ノ信否ヲ確ムル所ノ目的ヲ以テ提出スルヲ主タル目的ト爲サスシテ直ニ證人ノ陳述スル事實ノ虛妄ナルコトヲ立證スル爲メノ證據ハ之ヲ許サル、ヤ否ヤヲ一言スヘシ即チ強姦若クハ強姦未遂ノ被告事件ニ於テ起訴人タル婦人ノ一般ノ性質ノ證據ハ他ノ證人ノ場合ト同様ニ信スルニ足ラサルコトヲ立證セントスルモノナレトモ該婦人ノ私窩子ナルコトヲ證明セントスルハ獨リ其證言ノ信偽ヲ爭フニ止マラスシテ直ニ犯罪ノ有無ニ影響スルモノナリ故ニ此種ノ證據ハ婦女ヲ證人トシテ呼出サ、ル場合ニテモ猶提出スルヲ得ヘシ

第三章 舉證ノ責任

○證據ノ提出ヲ支配スル所ノ第三ノ原則ハ舉證ノ責任ハ眞實爭點ノ積極ヲ主張スル對手人ニ在リト云フニ在リ此便宜法ハ羅馬法ニモアル所ニシテ其理由ハ敢テ消極ノ事實ヲ立證シ能ハストノ主意ニ非スシテ消極ノ事實ハ積極ノ事實ヲ證明スルカ如ク直接簡易ノ立證法ヲ

用ユル能ハサレハナリ然レトモ理由トスル所ハ獨リ之ニ止マラス苟モ訴訟人ニシテ己レノ權利ヲ主張スル爲メ或事實ヲ其基礎トシテ主張スル時ハ主張者ニ舉證ノ責ヲ負ハシムルハ當然ナリトス而シテ此原則ヲ適用スルニ就テハ文法上ノ爭點ニ關セスシテ眞實爭點及ヒ其結果ノアル所ヲ觀察スルヲ要ス何トナレハ多クノ事件ニ於テハ訴訟人ハ訴訟ノ文言ノ綴リ次第ニテ積極ニ主張スヘキコトヲ消極ニ記述シ得ルハ其隨意ニ任セ容易ノ業タレハナリ
○舉證ノ責何レニ在ルヤヲ確ムル最上ノ試驗方法ハ先ツ第一ニ若シ雙方共證據ヲ提出セサル時ハ何人ノ敗訴ニ歸スヘキヤヲ定メ第二ニ舉證ノ責何レニ在リヤヲ定メントスル記載ヲ削除スルキニハ其結果如何ヲ定メ而シテ是等ノ場合ニ於テ敗訴トナルヘキ對手人ハ即チ其者ニ舉證ノ責アルモノトス例セハ地主小作人ヲ訴フルノ被告事件ニ於テ破約ヲ基礎トシ而シテ其破約ノ點ハ小作人ニ於テ修繕ヲ爲サストノ理由ナル時ハ原告ノ申立ハ消極ノ事實ナレトモ之ヲ立證スヘキモノトス何トナレハ此點ニ於テ證據ナキトキハ原告ハ敗訴トナレハナリ而シテ斯ル場合ハ文法上ニ於テハ原告消極ヲ主張シ被告積極ヲ主張スルモノナレトモ眞實ノ爭點ハ然ラサルナリ

又保險契約ニ由リ訴ヲ起シタル場合ニ於テ被告ハ原告ノ陳述ニ由リ保險ヲ爲シタルモノニシテ即チ被保人ハ生命ヲ短縮ニスヘキ惡癘、惡病ナキ旨ヲ明言シ被告ハ之ニ對シテ惡癘惡

病ノアリタルコトヲ答辯スル時ニハ原告ハ消極ヲ主張シ被告ハ積極ヲ主張スルモノナレトモ舉證ノ責ハ原告ニ存スヘシ何トナレハ保險契約ヲ結ヒタル時ニ被保人ノ生命ハ保險シ得ヘキモノタルコトヲ證明スルハ原告ノ責任ニシテ爭點ニ關シ眞實積極ヲ主張スルモノハ原告者ニ外ナラサレハナリ

○原告人被告ニ對シ或仕事ヲ相當ノ方法ヲ以テ爲シ遂ケサリシト訴ヘ被告ハ相當ニ爲シ遂ケタリト答辯シ又馬ノ賣買ニ於テ買主其不良ナルコトヲ申立テ賣主タル被告然ラスト答辯シタル場合ニ於テハ何レモ舉證ノ責ハ原告ニ屬スヘシ又代言人ニ對シ訴訟實行ニ相當ノ注意ヲ用ヒサリシト爲シ訴ヘテ起シタル場合、約束ニ從ヒ船舶貸借契約通リ物品ヲ積込マサリシト訴出シ建築家ニ對シ仕法通り建築ヲ爲サ、リシト訴出シ其他總テ原告ハ消極ノ陳述ヲ以テ出訴ノ理由ト爲シタル場合ニテモ是等事實ノ眞實ハ原告ノ要求ヲ維持スルニ必要ナルヲ以テ消極ノ陳述ナルニモ拘ラス原告ニ於テ之ヲ立證スルノ責任アリ
又高等裁判所ノ海事部ニ於テ損害賠償ヲ求ムルノ訴ヲ爲シ而シテ被告ハ原告ニ怠慢アリタルコトヲ申述ヘスト雖トモ天災ニ由テ損害ノ生シタルコトヲ陳辯スル時ニハ立證ハ矢張り原告ヨリ始メサル可ラス

○以上ニ述ヘタル原則ニ對シ即チ舉證ノ責ハ爭點眞實ノ積極ヲ主張スルモノニ在リトノ原

則ニ對シ多少ノ例外アレハ今茲ニ之ヲ述フヘシ

第一ニ法律ノ推測、積極ノ陳述ヲ爲スモノ、利益ニ傾ケル時ハ消極ノ陳述ヲ爲ス者法律上ノ推測ヲ打破スル爲メ證人ヲ呼出シテ自己ノ申立ヲ立證セサル可ラス例セハ物品ノ積主、燃燒質ノ物品ヲ原告人ノ船舶ニ積込ミ船員ニ物品ノ性質ヲ知ラサ、リシ爲メ船舶ノ燒失シタル場合ニ於テハ通知ヲ怠ルコトハ罪ト爲ルヘキ不注意ナルヲ以テ法律ハ通知ヲ與ヘタルモノト推測シ從テ原告ニ於テ通知ノナカリシモノトノ事實ヲ立證スルノ責アルモノトセラレタリ
家主家屋借人ニ對シテ明渡シノ訴ヲ起シ其理由トシテ被告借主ハ倫敦若クハ近傍ノ保險會社ニ保險スヘシトノ約束ヲ破リタルコトヲ以テセリ而シテ裁判官ハ此事實ニ對シ被告ノ保險ヲ怠リタリトノ理由ハ原告ニ於テ之ヲ證明スルノ義務アリト判決シタリ何トナレハ家屋住居人ニ對シテハ其占有ノ事實ヨリシテ約束ヲ破リタリト推測スルヨリモ寧ロ約束ノ履行シタルモノト推測スヘキモノナレハ破約ヲ理由トシテ訴ヘ出タル原告人ハ破約ノ事實ヲ舉證スルノ責アリ

船舶保險契約ニ由テ訴ヲ起シタル場合ニ於テ被保人肝要ナル事實ヲ隱蔽シタリトノコトヲ保險人ニ於テ答辯シタル場合ニハ被告タル保險人ハ舉證ノ責ヲ有ス何トナレハ被告ノ申立

ハ消極ノ事實ナルニモセヨ原告ニ於テハ保險ヲ爲サシムルニ付義務トシテ述フヘキコトヲ怠リタルモノト見ル可ラサルヲ以テ舉證ノ責ハ被告ニ屬ス即チ法律上原告ノ爲メニ設ケタル推測ヲ打破スル爲メニハ却テ被告ニ於テ舉證ノ責ヲ負フニ至ル尤モ是等推測ヲ打破ルニ足ルヘキ證據ハ事件ノ模様ニ由テ差等ヲ生ズヘキモノナレハ一概ニ之ヲ論定シ難シト雖トモ場合ニ由リテハ頗ル薄弱ナル證據ヲ以テ舉證ノ責ヲ轉移セシムルコトアリ例セハ以上ノ引例ニ於テ被保人保險ノ際既ニ船舶ノ燒失シタルコトヲ知リシコトヲ立證スルトキハ通知ナシトノ事實ハ原告ニ於テ之ヲ證明セサル可ラサルニ至ル何トナレハ船舶ノ燒失シタルコトノ果シテ被告ニ通知セラレタルモノナラハ如何ナル保險會社ト雖トモ保險ヲ爲スヘキモノナカルヘケレハナリ

又爲換手形ヲ以テ訴ヲ爲シタル原告人ハ約因ノ存在セルコトヲ陳述シ若クハ之ヲ立證スルノ要ナシ何トナレハ反對ノ證據アラサル時ハ法律ハ其事實ヲ推測スルナリ
又以上ヨリモ少シク錯綜シタル例ヲ舉ケンニ爲替手形ノ讓受人、爲替手形ノ承諾人ニ對シテ訴ヲ起シタル時ニ被告ニ於テ右爲替手形ヲ承諾シタルコトハ振出人ノ融通ノ爲ニシタルモノニテ原告ハ代價ヲ拂ハスシテ爲替手形ノ讓受ヲ得タルモノナレハ約報ナキヲ以テ要求ノ權ナシト答辯セリ而シテ裁判官ハ舉證ノ責被告ニ在ルコトヲ判決シタリ何トナレハ爲替

手形ヲ所持スルコトハ其レ自身ニテ約報ヲ授受シタルノ推測ヲ生スルヲ以テナリ然レトモ此場合タル法律上ノ推測ニ拘ハラズ被告ハ積極消極共ニ其申立ヲ立證スルノ責アルヘシ何トナレハ被告ニ於テ其責ヲ免レンニハ申立ノ事實眞實ナルコトヲ要スレハナリ又或事件ニ於テ被告ハ己レ自身ノ融通ノ爲メニ爲替手形ヲ承諾シタルニモ拘ラス振出人ハ被告ノ利益ノ爲メニ之ヲ割引セスシテ第三者ニ裏書シテ引渡シ其日時ハ爲替手形支拂日限ノ後ニテ且無約報ナルコトヲ答辯シ原告ハ之ニ對シ被告ノ申立ノ眞實ナラサルコトヲ反駁シタル場合ニ於テ裁判官ハ裏書ノ當時爲替手形支拂ノ日限既ニ過キタルコト及ヒ所持人無約報ニテ之ヲ得タルノ事實ハ被告ニ於テ舉證ノ責アルモノト判決シタリ何トナレハ被告ノ陳述ニヨルモ證書ノ所持ヨリ生スル推測ヲ打破スルニ足ルヘキ詐欺アリタルコトヲ申立テサレハナリ
○然レトモ被告ノ答辯ニ於テ爲替取引ニ詐欺若クハ背法ノ元素アルコトヲ申立テ(例セハ詐欺若クハ脅迫ヲ以テ爲替手形ヲ成立セシメタルカ若クハ賭博ノ爲メニ交付シタルカ又ハ爲替手形竊取セラレタル場合ノ如シ)併セテ原告ノ之ヲ得タルハ無約報ナルコトヲ陳述シ而シテ原告ハ被告ニ申立中無約報ナルノ一項ヲ反駁シタル時ハ舉證ノ責原告ニ在リト判定セラレタリ何トナレハ原告ニ於テ詐欺若クハ背法ノ事實ヲ許ストキニハ法律ニ於テ其後ノ授受ハ無約報ナルコトヲ推測スレハナリ又以上ノ場合ニ於テ原告被告ノ申立ノ全部ヲ拒絶

シ被告ニ於テ違法ノ事實ヲ得タルキハ有約報ノ事實ハ原告ニ於テ立證セサル可ラス約束手形ノ場合ニモ亦以上ト同様ノ原則ヲ適用ス

○原告者或時間ニ於テ或人精神爽快ナリトノ申立ヲ爲シ被告之ニ對シテ抗辯シタル時ハ被告ニ於テ其者ノ精神ノ爽快ナラサルコトヲ立證スルノ義務アルモノトス何トナレハ反對ノ證據ナキ場合ニハ法律ハ各人ヲ通常人ト見做シ瘋癲者ト爲サレハナリ故ニ原告者ノ斯ル陳述ハ被告ニ於テ反證ヲ擧ケサル以上ハ原告者ハ其申立ヲ立證シ得タルト同様ノ効果ヲ生ス

以上ノ如キ場合ニ審問ノ際被告ニ於テ其者ノ曾テ瘋癲ナリシコトヲ立證シ得タル時ハ其證據タル爭點ヲ決スル爲メニ確定證據タルノ効果ナシト雖トモ擧證ノ責ヲ原告者ニ移スニ足ルヲ以テ原告者ハ己レノ申立ヲ眞實ナラシメン爲メニハ更ニ證據ヲ提出スルヲ要ス以上ト同様ノ理由ニ基キ式ニ由テ署名立合セラレタル遺囑證書ヲ無効ナリト答辯スル者其理由トシテ遺囑者ノ瘋癲人タリシコトヲ申立ツル時ハ該申立ヲ立證スルノ責アリト雖トモ遺囑證書ヲ作爲シタル前後ノ日時ニ於テ遺囑者ノ瘋癲者ナリシコトヲ證明シタル時ハ擧證ノ責ヲ原告ニ移スニ足ルモノトス

○刑事々件ニ在リテハ求刑人ハ被告ニ對シテ其求刑事實ヲ充分ニ立證スルノ義務アルトハ

法律ニ於テハ何人モ皆無罪者ナリト推測スルトノ二個ノ理由ニ由リ擧證ノ責任ハ總テ求刑者ニ在ルモノトス故ニ充分ノ立證ヲ爲スニハ消極ノ事實ナルト積極ノ事實ナルトヲ論セズ一切擧證スヘキモノトス例セハ法律ニ於テ或犯罪ノ定義中消極ノ事實ヲ記載セル時ハ公訴狀ニモ亦消極ノ事實ヲ記載セサル可ラス而シテ公訴狀中ニ記載シタル消極ノ事實ハ少ナクトモ不確定推測ヲ生スルニ足ル可キ證據ヲ以テ維持セサル可ラス例セハ舊法ニ於テハ地主ノ承諾ナクシテ園ヒ地内ニ於テ鹿ヲ獵シ若クハ竹木ヲ伐採スルノ犯罪ハ無承諾ナル消極ノ事實ヲ犯罪ノ必要元素トセリ今此法律ハ廢止セラレタレトモ法理説明ノ爲メニ引用スヘキ斯ル場合ニ於テハ無承諾ノ事實ハ必スシモ確定證據ヲ出スニ及ハス不確定推測ヲ生スヘキ證據ニテ充分トセラレタリ即チ地所ノ所有主ヲ呼出シテ承諾ヲ與ヘサリシコトヲ立證セシムルノ必要ナクシテ被告人ノ擧動若クハ犯罪ノ模様ニヨリテ立證スルヲ得ヘシ然レトモ想像上ノ事柄ヲ指スニ非スシテ推測ヲ生スルニ足ル證據ハ矢張り之ヲ差出サハル可ラス例セハ被告人カ鹿獵ヲ爲シタル時間ノ非常ナル場合其疑ハシキ模様若クハ發見セラレタル際ニ被告ノ逃走シタル事實等ハ反證ノアラサル以上ハ無承諾ナリシコトノ眞實ナルヲ推測スルニ足ルヘシ

○以上ニ述ヘタルカ如ク法理上ハ消極ノ事實ト雖トモ之ヲ立證スヘキハ當然ナレトモ此事

タル頗ル難クシテ且ツ實際ニ於テ有益ナラサル場合尠カラズ故ニ立法官ハ斯ノ如ク消極ノ事實ヲ元素トシタル犯罪定義ヲ書キ改タメ求刑者ヲシテ無益ニ消極ノ事實ヲ立證セシムルノ不便ヲ除去シタリ而シテ立法官ノ此事ヲ遂ケタル方法ハ種々ナリト雖トモ被告ニ於テ爲スヘキ權利アルコト、承諾ヲ經タルコト、法律上ノ免責タルヘキコトハ被告ニ於テ之ヲ立證スヘシト定メタルヲ普通トス、即チ夜中家屋ヲ毀壞スルニ足ルヘキ槌其他ノ道具類ヲ所持スル者、不當ナル廉價ニテ物品ヲ賣買シタル者、偽造貨幣ヲ輸出シタル者、造幣所以外ニ於テ貨幣ヲ鑄造スルノ器械ヲ有スル者、印紙、租稅紙、爲替手形、約束手形、外國爲替等ニ使用スル刻印又ハ印形ヲ所持スル者等ハ被告人ニ於テ之ヲ所持スルノ理由若クハ權利ヲ立證スヘシト定メタリ是等ノ制定ハ犯罪事實ヲ積極的ニ記載シテ被告ニ舉證ノ責ヲ負ハシメタルモノナリ

○政府ノ所有品ニ附着セシムル章標ヲ盜用シタリトノ訴ヲ受ケタル被告人又ハ政府ノ所有品ノ竊取セラレタルモノト推測セラル、場合ニ於テ政府所有品ノ章標ヲ有スル物品ヲ運搬シ或ハ占有セル者ハ被告人ニ於テ故意ヲ以テ是等ノコトヲ爲シタルノ立證アル時若クハ推測ヲ生セラル、時ニハ被告ニ於テ己レノ無罪ヲ主張スル爲メニハ其理由ヲ立證スルヲ要スヘシ

○稅關委員ヨリ關稅ヲ拂ハスシテ輸入シタル物品ト認メラレ差押ヘラレタル場合若クハ沒

收セラレタル場合ニ於テ關稅ヲ拂フタルヤ否ヤノ事實問題トナルカ或ハ正當ニ輸入セラレ若クハ積送ラレタルコト問題トナルカ又ハ物品ヲ輸入シタル原場所ニ就テ爭ヲ生スルカノ場合ニ於テハ立證ノ責任ハ被告ニ屬スルモノトス

關稅ヲ逃ル、ノ目的ヲ以テ入津セル船舶ニ合圖ヲ爲シタルノ所爲ヲ以テ訴ヘラレタル被告人ハ不正ノ目的ヲ以テ合圖ヲ爲シタルニ非ストノ事實ヲ立證スルノ責ヲ有ス

稅關規則ニヨリ脫稅品ナリト認メラレテ差押ヘラレタル時ハ脫稅品ニ非ルノ證據ハ被告人ニ於テ之ヲ立證スルヲ要ス

一千八百六十九年海員被服條例ニ由リ訴ヘラレタル被告人ハ被告人ニ於テ無罪ノ立證ヲ爲スノ義務アリ

一千八百七十年外役禁止條例ニ由リ交戰者ニ船舶ヲ交付シタルカ爲メ局外中立ヲ破ルノ處爲ト爲シ起訴セラレタル被告人ハ軍用ノ爲メニ船舶ヲ使用セラル、コトヲ知ラサルノ事實ヲ立證スルノ義務ヲ有ス

一千八百七十六年ノ商船條例ニ由リ航海ニ堪ヘサル船舶ヲ以テ航海ヲ爲シ若シクハ爲サント企テタル者ハ被告人ニ於テ船舶ノ航海ニ堪ユルコトヲ確信シタルカ又ハ其事情正當ナルコトヲ立證スルニ非レハ輕罪ヲ以テ罰セラルヘシ

一千八百五十五年海客條例ニ由リ起訴セラレタル被告人ハ船舶ノ條例以外ニ屬スルモノタルコトヲ立證スルノ義務ヲ有ス

ヅ井クトリヤ四十一年及四十二年ノ條例ニ由リ機械運轉ヨリ生スル危害ヲ防止センカ爲メ機械ノ周圍ニ藩籬ヲ設クルヲ怠リタル被告事件ニ於テハ機械ノ持主ニ於テ條例ニ定メタル注意ヲ怠タラサリシ事實ヲ立證スルニ非レハ其責ヲ辭スルヲ得ス

一千八百八十一年陸軍條例ニ由リ兵士ヨリ器具、物品、輜重、被服ヲ買受ケタリトノ罪ヲ以テ訴ヘラレタル被告人ハ其事件罪トナラサル事實ヲ立證スルノ義務アルモノトス

ヅ井クトリヤ二十四年及二十五年ノ條例第九十六編第十四節ニ由リ法ニ違フテ鹿肉ヲ所持セシトノ訴ヲ受ケタルモノハ所持ノ理由正當ナリトノ立證ヲ爲スノ義務アリ

ヅ井クトリヤ二十四年及二十五年ノ條例第九十六編第三十五節ニ由リ自己ノ所有地内ニ竹木、木材、鐵軌條ヲ不正ニ所有シタリトノ訴ヲ受ケタル被告人ハ相當ノ理由アルコトヲ立證スルノ義務ヲ負フ

破難船若クハ破難物品ヲ所持シ或ハ賣却シタル被告人ハ相當ノ理由ヲ以テ右等物品ヲ所持セルコトヲ立證スルノ義務アリ

○官許ヲ得シテ劇場ヲ公開シタル罪ヲ以テ訴ヘラレタル被告人若クハ劇場ニ雇ハレタル

俳優ハ求刑人ニ於テ公開ノ劇場ナルコトヲ立證シタル時ハ官許ヲ得タルノ事實ハ被告ニ於テ之ヲ立證スルノ義務アリ

一千八百七十五年公共衛生條例ニ由リ權限ナクシテ衛生會委員ノ職ヲ行フタル被告事件ニ於テハ舉證ノ責多ク被告人ニ在リ

絹物機械營業ニ付製造者ト職工ノ間ニ爭ヲ生シ製造ノ不完全ナルコト爭點トナル場合ニ於テ製造者製造物品ヲ差出サ、ル時ハ被告タル職工ニ於テハ適當ニ製造ヲ爲シタルモノト認定ス

製造場ニ於テ使雇スル職工、醫師ノ診斷書ナク且ツ法律ニ定メタル年齢以下ノ者ナルコトヲ裁判官ニ於テ信認スル時ハ製造場持主ニ於テ其者ノ法定年齢以上ナルコトヲ立證スルノ義務ヲ負フ

煙筒掃除營業者違法ニ兒童ヲ使役シタルノ訴ヲ受ケタル場合及ヒ危險ナル業務ニ兒童ヲ使役シタルノ訴ヲ受ケタル場合ニ於テハ被告ニ於テ兒童ノ年齢法定ノ年齢以上ナルコトヲ立證スルノ義務アリ

官許ナクシテ犬ヲ飼養スル訴ヲ受ケタル被告人ハ若シ犬ノ法定年齢以内ナルコトヲ以テ其罪ヲ逃レントスル時ニハ被告ニ於テ犬ノ齡ヲ立證スルノ義務アリ

一千八百七十二年度質屋營業條例ニ由リ訴ヘテ受ケタル質屋ハ其所爲違法ニ非ルコトヲ立證スルノ義務アリ

○破産法ニ定メタル犯罪ヲ犯シタリト認メラル、被告人ハ若シ其所爲アリタルコトヲ立證セラル、ニ於テハ債主ヲ欺クノ意思ヲ以テ爲シタルモノト推測セラル一千八百七十八年獸類傳染病豫防規則ノ犯罪ヲ犯シタリト求刑セラレタル被告人ハ被告ノ所爲立證セラル、ニ於テハ相當ノ理由アル事實ハ被告ニ於テ之ヲ立證スルノ義務アリ

○ザ井クトリヤ三十四年及三十五年ノ條例第四十一編第三十八節ニ由リ不正ニ瓦斯ヲ費消シタリトノ訴ヲ受ケタル被告人若シ故造ノ手段ヲ用ヒタルコトヲ立證セラレタル時測量器ノ目標ヲ變更シタルコト測量器ノ正常作用ヲ妨害シタルコトヲ立證セラル、ニ於テハ法律ハ故意ヲ以テ不正ニ瓦斯ヲ費消シタルモノト推測ス

○ザ井クトリヤ三十八年及三十九年ノ條例第五十五編第六十節ニ由リ分量ヲ以テ水管使用ヲ爲セル被告人ニ對シテモ同一ノ推測法ヲ設ケタリ

○上來述ヘ來リタル法律ノ原則ニ從ヒ一千八百七十一年犯罪豫防條例ニハ犯罪求刑ノ方法ヲ示シタル後ニ第十七節ヲ以テ左ノ如ク規定セリ

此條列ニ由リ定メタル犯罪ノ定義中ニ包含セラル、ト否トヲ論セス宥恕減輕及免罪ノ

理由トナルヘキ事柄ハ被告ニ於テ之ヲ立證スヘキモノトス

○上來述ヘタル所ハ習慣法ニ於テ認ムル所ノ原理ヲ立法上ニ採用シタルモノノ許多ナリトス而シテ舉證ノ實ハ眞實ノ積極ヲ主張スル者ニ在リトノ原則ニ對スル第二ノ例外ヲ述ヘンニ大凡ソ或事實ニシテ特訴訟人ノ一方ノ知得セル事柄ナルトモ積極消極ノ區別ナク又推測ハ何人ノ利益ニ傾ケルヲ問ハズ知得セルモノニ於テ舉證ノ實ヲ負フモノトス例セハ舊法ニ於テ無免許藥舖營業ヲ爲シタル者ハ罰金ニ處セラル此場合ニ於テ例外ノ原則アラサリセハ求刑者ニ於テ無免許ノ事實ヲ立證スヘキ義務ヲ負ハサル可ラス何トナレハ假令ヒ消極ノ事實ナルニモセヨ其事實ノ眞正ナルコトハ求刑人ノ申立ヲ貫クニ必要ナレハナリ而シテ被告ニ於テ法律ヲ破リタルモノト推測ス可ラス然レトモ例外ノ原則アルカ爲メ斯ル場合ニハ被告ニ於テ免許ヲ有セルコトヲ立證スル義務ヲ負フ何トナレハ免許ノ有無ハ被告人ノ特ニ自ラ知了スル所ニシテ若シ眞ニ免許ヲ有スルナラハ之ヲ立證スルハ頗ル容易ナリ故ニ法律ハ便利上原則ニ對スル例外ヲ設ケタルモノトス

○以上ノ例外規則ハ許可若クハ資格アルニ非レハ爲スヲ許サレサル事柄ヲ爲シタル對手人ニ對シテハ民刑ノ區別ナク適用セラル、モノトス例セハ酒類營業、遊藝營業ノ如キハ特ニ許可ヲ得ヘキモノナルヲ以テ營業者ニ於テ許可ヲ得タルコトヲ立證セサル可ラス又著者ノ承

諾ヲ得スシテ演劇脚本ヲ演シタル訴訟ニ於テハ著者ノ承諾ヲ得タル事實ハ演劇興行人ニ於テ之ヲ立證スヘキモノトス

○舉證ノ責任ニ關スル法律ノ原則ハ總テノ訴訟手續ニ重大ノ關係ヲ有スルモノニシテ殊ニ推測ニ關スル原理ト關係ヲ生スル時ニハ最モ必要トナル然リ而シテ事實裁判所ニ於テ是等原則ヲ實地ニ適用スルニ至リテハ開始ノ權ト淺カラサル關係ヲ生ス

陪審役ニ對シテ第一ニ演述スルノ權利ヲ有スルコトハ對手人ニ大ナル利益ヲ與フルコトアリ何トナレハ陪審役ニ對シテ第一着ニ自己ニ利益ナルノ演述ヲ爲シ得ルモノニシテ一旦陪審役ノ腦中ニ感染セシメタルコトハ反對々手ニ於テ之ヲ打消スコト頗ル難ケレハナリ加之ナラス反對々手ニ於テ證人ヲ差出シタル場合ニハ開始ノ演述ヲ爲シタル者ハ最終ノ演述ヲ爲スノ權アルヲ以テ其利益少シト爲サス然レトモ事件ニ由リテハ被告人ニ於テ原告者ノ證據ノ薄弱ナルコトヲ第一ノ頼ミト爲シ他ニ證據ヲ有セサルコトアリ斯ル場合ニハ原告ニ第一ノ演述ヲ爲サシメ被告ハ之ヲ反駁スルノ地位ニ立ツコト頗ル利益ナリ故ニ訴訟ノ實際ニ於テハ開始ノ權ハ頗ル重大ノ問題ニシテ實際家ノ大ニ注目スル所ナリ然ルニ此原則タル頗ル適用ニ困難ヲ覺ユル所ニシテ訴訟判例モ亦頗ル抵觸ス依テ左ニ其概畧ヲ述フヘシ
○先ツ第一ニ訴答狀ニ由リ舉證ノ責ヲ有スルモノハ開始ノ演述ヲ爲スヘキモノトス

訴訟事件ニ於テ積極ヲ主張スル者開始ノ演述ヲ爲スヘシトハ曾テ唱ヘラレタル所ナレトモ此說タル積極ヲ主張スル者ト舉證ノ責アル者ト同一ニ見做シタルヨリ生シタル誤謬ニシテ既ニ述ヘタル如ク積極ヲ主張スル者必スシモ舉證ノ責アルニ非ス例セハ法律上ノ推測ノ起生スル場合消極ヲ主張スル者特ニ其實事ヲ知得セル場合等ノ如キハ舉證ノ責積極ヲ主張スル者ニ在ラサルコトハ既ニ述ヘタルカ如シ

以上ニ述ヘタル原則ニ對シ多少ノ例外アリ先ツ第一ノ例外トスヘキモノハ審理ノ際ニ被告人原告者ノ陳述ヲ許ス時ニハ被告ニ於テ開始ノ演述ヲ爲スヘキモノトス例セハ原告人不動産ノ取戻ヲ要求シ其理由トシテ該不動産ハ或者ニ於テ所持シ原告ハ其者ノ相續人ナルコトヲ申立テ被告ニ於テ原告ノ相續人タルコトヲ許シタルトキハ被告ハ原告ノ申立ヲ許容シテラ他ノ理由ヲ以テ己ノ權利ヲ主張スルモノナレハ被告ニ於テ開始ノ演述ヲ爲スヘキモノトス

○此例外ハ被告ニ於テ原告ノ全部名義ヲ許容スル場合ニ適用セラル、モノニシテ顯ニ原告ノ申立ヲ許スト雖トモ隱ニ之ヲ拒絕スル場合ナルキハ開始ノ演述ヲ爲スノ權利ナカルヘシ例セハ原告遺囑證書ニ由リ地所回復ノ訴ヲ起シ被告ニ於テ原告申立ノ遺囑證書ヲ許容スト雖トモ更ニ他ノ日附ノ後レタル遺囑證書ヲ以テ己ノ權利ヲ主張スル時ハ被告ニ開始ノ權ナ

カルヘシ何トナレハ原告ノ證據物ヲ許スト雖トモ更ニ他ノ證據ヲ以テ其効力ナキコトヲ主張スルナレハ眞ニ原告ノ全部名義ヲ許容スルモノニ非レハナリ

○原則ニ對スル第二ノ例外ハ便利及公義ニ基ケルモノトス即チ被告ニ於テ積極ヲ主張スト雖トモ原告ニ於テ眞實及ヒ不確定ノ損害賠償ヲ求ムル場合ニハ原告ニ於テ開始スヘキモノトス此例外法ハ古クヨリ行ハレタル所ニシテ名譽誹譏及ヒ身體ニ對スル損害ノ訴訟ニ適用セラル而シテ現行ノ處ニテハ獨リ以上ニ述ヘタルモノニ限ラス契約上ノ訴ニテモ原告者ニ於テ不確定ノ實際損害額ヲ要求スル場合ニハ總テ適用セラルハモノトス

○以上ノ例外法ヲ明ニシタル訴訟事件ハメルセー對ウォールノ訴訟事件トス本訴ニ於テデインマン卿カ裁判ヲ言渡シタル言辭中ニ「原告者己レノ權利ヲ回復センカ爲メニ訴ヲ起シ爲メニ權利ノアル所以及ヒ損害額ヲ得ル原由ヲ立證スルノ責アル場合ニハ是等ノ事ヲ明ニスル爲メ開始ノ義務アルコトハ自然ノ結果トス地所明渡ノ訴ニ於テ被告ハ原告ノ申立ヲ許容シ而シテ他ニ己レノ答辯ヲ正當ナラシムル理由ヲ陳辯シ若クハ原告者ノ求ムル損害金額推測上確定セル時ハ被告ニ於テ開始ノ義務アルモノトス然レトモ損害金額不確定ナル時ハ原告者ハ之ヲ確ムルノ義務アリ而シテ原告者ニ於テ之ヲ確ムルノ方法ハ往々被告ニ利益ヲ與フルコトアリ斯ル場合ニハ原告ニ於テ開始ノ演述ヲ爲スヘキモノトス

○以上ニ述ヘタル例外ノ規則ハ負債ノ支拂、確定金額ノ要求ヲ爲ス原告者ニ對シテハ適用セサルモノトス何トナレハ是等ノ場合ニ於テハ原告ニ要求權アリヤ否ヤヲ爭點トスルノミニシテ其金額ニ就テハ原被間爭ナキモノト假定スルヲ以テナリ

原告ニ於テ要求スル損害額不確定ナル場合ニテモ名義損害ニ止マル時ハ同シク例外規則ヲ適用ス

爲替手形、約束手形等ノ訴訟ニ於テハ金額確定セルヲ以テ原被間ニ爭アリトスレハ他ノ點ニ存スルヲ以テ例外ノ規則ヲ適用セサルモノトス

○開始ノ權ニ關スル第二ノ原則ハ若シ訴狀數項ヲ包含シ其内ノ一項ノ舉證ノ責任原告ニ在ル時ハ原告ニ開始ノ權利アルモノトス但シ原告ニ於テ其點ニ關シ舉證ノ義務ヲ盡サントスル時ニ限ルヘシ此原則ニ於テハ但書以下ニ注意スルヲ要ス即チ原告ニ於テ確定金額ヲ要求スルノ申立ヲ爲シ併セテ不確定金額要求ノ箇條ヲ附記シ被告前者ヲ許容シ特ニ後者ヲ拒絶シタル場合ニ於テ原告ニ開始ノ權アル可ラス但シ原告人專ハラ後項ニ依頼シ之ニ對スル證據ヲ提出セントスル時ハ開始ノ權アルモノトス何トナレハ開始ノ權ハ證人ヲ以テ立證スヘキ事實ヲ陪審役ニ説明スル爲メニ與ヘラレタルモノニ外ナラサレハナリ

○數個ノ爭點ヲ一定シタル後或點ニ關シテハ原告舉證ノ責ヲ有シ他ノ點ニ於テハ被告舉證

ノ責ヲ有スル場合ニハ原告者ハ已レニ舉證ノ責アル點ニ關シ開始ノ陳述ヲ爲シ之ニ對スル證據ヲ提出シ被告人ヲシテ被告ニ舉證ノ責アル事柄ニ對シ證據ヲ提出セシメタル後之レヲ反駁スルノ證據ヲ提出スルヲ得ヘシ此方法ハ通常採用セラル、所ニシテ被告ハ原告ノ新ナル證據ニ對シテ特別答辯ヲ爲シ原告ハ訴訟全部ニ對シテ一般ノ答辯ヲ爲スヲ得ルモノトス若シ原告者最初ヨリシテ被告ノ要求ヲ拒絕スヘキ證據ヲ豫メ提出シ置クヲ便利ナリトシ之ヲ提出シタル時ハ更ニ答辯ヲ爲スノ權利ヲ失フモノトス何トナレハ若シ斯ル權利ヲ原告者ニ許スモハ被告モ同一ノ權利ヲ得ンコトヲ求ムヘクシテ結局訴訟事件ヲ遲滞ナラシムルニ外ナラサルナリ

或契約上ノ訴訟ニ於テ一般ノ爭點及ヒ相殺ヲ雙方ヨリ答辯シタル場合ニ於テ原告ハ被告ヨリ已レニ對シ或負債義務ヲ負フコトヲ證明シ而シテ他ノ負債義務ハ被告ニ於テ相殺ヲ求ムルノ權アルコトヲ立證シタル上ニテ證明スヘシト申立テタリ裁判官ハ之ヲ許シタレトモ斯ル所爲ハ恐ラクハ違法タルヲ免カレサルヘシ但シ訴訟對手間ニ承諾アル時ハ固ヨリ違法ト云フヲ得ス

○訴訟爭點唯一點ニシテ舉證ノ責原告者ニ在ル場合ニ於テハ原告者ハ最初ヨリシテ已レノ主張スル點ヲ貫クニ足ルヘキ充分ノ證據ヲ差出サ、ル可ラス最初ニハ不確定推測ヲ生スル

ニ足ルヘキ證據ヲ提出シ被告ノ證據ニ由テ其効力ヲ弱メラレタル後ニ至リ他ノ證據ヲ出シテ自己ノ地位ヲ確ムルヲ得サルモノトス例セハ手形讓受人、手形支拂承諾者ニ對シテ訴ヲ起シ裏書ノ有無ニ就テ爭點ヲ一定シタル時ニ原告ハ裏書ノ筆跡ト裏書人ノ筆跡ト同様ナルノ證據ヲ出シテ已レノ要求ヲ貫カントシタルニ被告ニ於テ爲替ヲ割引セサルノ理由ヲ立證シタル時ニ當テ原告ハ最初ノ論點ヲ捨テ更ニ他ノ證據ヲ提出スルコトヲ許サレサリシ

○一千八百八十三年高等裁判所訴訟手續第二十八編第二十七則ノ精神ハ以上ニ述ヘタル所ト同一トヌ即チ右二十七則ニ由リ宣誓證書ヲ提出シタル時ハ原告者ハ已レノ答辯ニ符合スル所ノ事柄ニ非レハ宣誓證書ヲ差出スヲ許サスル明瞭ナル規定アルニモ拘ハラヌ副大法官ホール氏ハ殆ント右ノ規則ヲ無ニシタルノ判決ヲ爲シタリ即チ原告ヲシテ當初ヨリ充分ノ證據ヲ差出サシメスシテ被告ノ答辯ニ對シテ原告者反駁ヲ爲スニ當リ追加書ヲ差出スコトヲ許シタルコトアリ

○原告ニ於テ反駁ヲ爲スニ當リ證據ノ許否ヲ決スルニハ各事件ノ模様ニ由リテ注意ヲ爲スヲ要ス而シテ斯ル場合ニハ法律ハ裁判官ノ見込ニ任ス所少シト爲サス例セハ原告者相續人ナリトノ理由ヲ以テ不動産明渡ノ訴ヲ爲シ不確定推測ヲ生スヘキ立證ヲ爲シ得タル後被告ハ遺囑證書ノアルコトヲ理由トシテ遺囑證書ヲ立證シタリ依テ原告ハ更ニ被告ノ答辯ニ答

アル爲メ要求ノ地所ハ遺囑ニ由リ原告者ニ權利アルモノト主張シ其遺囑ヲ立證セントシタリ此場合ニ於テハ原告ハ己レノ要求ノ理由ヲ變更シタレトモ裁判官ハ之ヲ許シタリ何トナレハ原告ノ提出セントスル遺囑證書ニシテ眞實ナル以上ハ被告ノ提出スル遺囑證書ハ虚偽タルニ至ルヘケレハナリ

又或事件ニ於テ被告人車馬ヲ不注意ニ驅逐シタル爲メ原告ニ損害ヲ與ヘタルノ事實争點トナリシ場合ニ原告ハ被告ノレイトンニ在リシコトヲ立證シタルニ被告ハ證人ヲ呼出シ己レレイトンニ在ラスシテリツチモンドニ在リシコトヲ證明シタリ依テ原告者ハ更ニ被告ノレイトンニ在リシコトヲ立證セン爲メ證據ヲ提出シタルニ裁判官ハ之ヲ許可シタリ此事件ハ原告ニ新證提出ノ權利ヲ與ヘタル極端ノ判例トス何トナレハ原告者ハ被告ノリツチモンドニ在ラサルコトヲ立證スルノ權利ヲ有スルハ勿論ナレトモ既ニ被告レイトンニ在リシコトヲ立證シタル以上ハ其證據ハ陪審役ノ判定ニ任スヘキモノニテ更ニ同一ノ事柄ヲ立證スルノ必要ナケレハナリ

又或事件ニ於テ馬匹ノ良否争點トナリタルニ馬匹ハ裁判所ニ引入レ陪審役ノ一覽ニ供シ原告者ニ於テ其論述ヲ終リタル後ニ原告ハ更ニ獸醫ヲ呼出シ證言セシメントシタルニ裁判官ハ之ヲ許サ、リシ

○開始ノ權ニ關スル争論及ヒ之ニ附帶スル規則ノ適用ハ當該裁判官ノ見込ニ一任スルモノニシテ裁判官誤リタル判決ヲ爲シタル場合ニテモ實際ノ不公平ヲ生セサル以上ハ裁判所ニ於テ干涉スルコトナシ即チ裁判官原告者ニ於テ最初ニ提出スヘキ證據ヲ答辯ノ際ニ提供スルコトヲ許シ或ハ原告者ニ於テ被告ノ答辯ヲ豫期シテ豫メ證人ヲ呼出スコトヲ差止メタル場合ニテモ實際不公平ヲ生セサリシナラハ裁判所ニ於テ覆審ヲ命スルコトナカルヘシ

○開始ノ權ヲ有スル對手人ハ民事タルト刑事タルトノ區別ナク被告ニ於テ陪審役ニ對シ證據ヲ提出スルハ答辯ノ權ヲ有ス然レトモ新ナル證據ノ提出ニ非スシテ反對證人ノ記憶ヲ助クル爲メニ書類等ヲ差出スト雖トモ是等ハ證據物ニ非ルヲ以テ原告ニ答辯ノ權ヲ與ヘス又審問中ニ於テ證據ノ許否ヲ決スル爲メニ裁判官ノ參考トシテ被告ニ於テ證人ヲ呼出スト雖トモ原告ニ答辯ノ權ヲ與フルモノニ非ス何トナレハ原告ニ答辯ノ權ヲ與フルニハ被告人ヨリシテ事實立證ノ爲メ陪審役ニ對シテ提出シタル證據ナラサル可ラサルヲ以テナリ數多ノ被告人連帶ニ訴ヘラル、場合ニ於テ被告人ノ一人證人ヲ呼出ス場合ニテモ事件連帶セル時ハ原告人ハ被告人總體ニ對シテ答辯ヲ爲スヲ得若シ被告事件連帶セス又其辯護ノ方法互ニ關係ナキハ證人ヲ呼出シタル被告人ニ對シテノミ原告者ニ於テ答辯ヲ爲スノ權ヲ有スヘシ

被告人ニ於テ差出ス證據性質ニ關スル證據ナル時ハ原告代理人ニ於テ答辯ヲ爲スノ權ヲ有
スト雖トモ之ヲ爲スト否トハ其見込ニ一任ス

被告人證據ヲ提出セシテ新ナル事實ヲ申立ツル時ハ原告ニ於テ答辯ヲ爲スノ權アリヤ否
ヤハ未タ判決ヲ經サル點ナレトモ場合ニ由リテハ之ヲ許スヲ以テ正當トナサ、ル可ラス

○重罪又ハ輕罪事件ニテ政府ノ起訴ニ係ル公ケノ求刑ニ在リテハ政府附屬ノ代理人ハ被告
ニ於テ證據ヲ提出セサル場合ト雖トモ答辯ヲ爲スヲ得ルモノトス然レトモ是等ハ通常ノ訴
訟手續ニ反シ政府ノ特權ニ屬スヘキモノニシテ或人ノ述ヘタル如ク政府ハ此特權ヲ行フヨ
リモ此特權ヲ破ルニ名譽アリトセリ而シテ一千七百七十七年ノ昔ニ在リテホーン氏ハ檢事
長ノ此特權ヲ以テ謂レナキ特權ト明言シタリ到底斯ル制定ハ立法ノ作用ヲ以テ之ヲ打破ル
ヲ適當トス

第四章 最上ノ證據

○證據提出ニ關スル第四ノ原則ハ場合ノ性質ノ許ス限リハ最上ノ證據ヲ陪審役ニ提出スヘ
シト云フニ在リ此規則ハ事實立證ノ爲メ最モ多クノ證據ヲ提出スヘキコトヲ命スルニ在ラ
スシテ其目的ハ對手人ノ提出シタル證據ニ由リ更ニ一層優等ナル證據アルコトヲ認ムル
ハ其優等ナルモノヲ提出セシメ劣等ナルモノヲ排斥スルニ在リ

此規則ノ存スル所以ハ詐欺ノ手段ヲ防止スルニ在ルモノトス何トナレハ若シ優等ノ證據ア
ルニモ拘ハラズ之ヲ隱シテ劣等ノ證據ヲ差出ス對手人アラハ其者ヤ必ス不正ノ心術ヲ懷ク
モノニシテ優等證據ヲ差出スニ於テハ己レノ策略ヲ破ルノ恐アルモノト推測セサルヲ得ス即
チ此規則ハ司法事務執行ヲ公正ニスル爲メニ設ケタルモノニ外ナラス

各場合ニ適用スヘキ最上ノ證據ヲ提出スヘシトハ原證ノアラン限リハ副證ヲ採用セスト云
フニ均シ例セハ證人ヲ法廷ニ呼出ス能ハサル理由アルニ非レハ證言證書ハ通常之ヲ排斥ス
ルモノトス又契約ノ草案ヲ定メタル後本證書ヲ取換ハシタルキハ本證書ヲ差出サスシテ草
案ヲ提出セシムルコトヲ許サス又捺印證書ニ由リテ權利ヲ言ヒ張ル者ハ對手人該證書ヲ所
持スルニ於テハ之ヲ差出サ、ル可ラス何トナレハ斯ル場合ニ於テハ證書ハ最上ノ證據物ニ
シテ若シ之カ差出ヲ拒ム時ニハ對手人ハ之ヲ差出スコトヲ以テ己レノ不利ト信シ故ラニ拒
ムモノト推測セサルヲ得サレハナリ

○立合證人ヲ必要トスル證書ヲ提出スル場合ニハ其證書ノ正當ニ成立シタルコトヲ立證ス
ル爲メニハ立合證人ヲ呼出スヲ必要トス若シ立合證人二人アリテ其一人ノ者裁判所ノ管轄
内ニ住シ瘋癲其他ノ差支ナキ時ハ既ニ死亡シタル他ノ立合證人ノ署名ヲ立證スルヲ得ス何
トナレハ生存セル證人ハ直接ノ證據ヲ提出シ得ルニモ拘ラス死亡者ノ署名ヲ立證スルハ迂

遠ノコト、謂ハサル可ラス且ツ死亡者ノ筆跡鑒定ヨリモ生存者ノ直接證言ヲ以テ優等確實ノモノト爲サ、ル可ラス

○以上ノ原則ハ提出セラレタル證據其レ自身ニ由リ更ニ一層優等ナル證據アルヘシト推測セラル、場合ノミニ適用セラル故ニ二種ノ證據アリテ一ハ効力強ク一ハ効力弱キ場合ニテモ各、獨立ノ證據ニシテ原則ノ關係ナキ場合ノ如キハ強カノモノヲ斥ケテ薄カノモノヲ提出スルモ以上ノ原則ノ破ラレタルモノト爲サス例セハ二人ノ立合證人ニテ署名セラレタル證書ニテモ(不動産ニ關スル遺囑證書ノ場合ヲ除ク)若シ立合證人兩人トモ生存者タルニ拘ハラズ一人ヲ呼出スコトアルモ違法ト爲サス又筆跡ノ眞偽ニ關シテ立證ヲ要スル場合ニテモ眞正ノ記者ナリト想像セラレタル者ヲ呼出スニ及ハス又他人ノ承諾ナク若クハ他人ノ意思ニ反シテ云々シタルコトヲ立證スル場合ニテモ其承諾ヲ與ヘ若クハ意思ニ反對セラレタルモノト爲サル、人ヲ呼出スニ及ハス

○此原則ハ其自然ノ結果トシテ總テノ證據ヲ一、等證及二、等證ニ區別ス一、等證トハ前ニ最上ノ證據トシテ述ヘタルモノヲ云フナリ即チ之ヲ換言セハ或事實ヲ立證スルニ付最モ確カナリトセラルヘキ性質ノ證據ヲ云フ故ニ此種ノ證據ヲ差出スコト對手人ノ力ニ及ハサル場合ノ外ハ一切他ノ證據ヲ拒絕スルモノナリ

一、等證ニ非ルモノヲ總テ二、等證トス

或證據ノ果シテ一、等證ナルヤ二、等證ナルヤヲ決スルニハ事柄ノ事情ニ關スルモノニシテ對手人ノ位置ニ關係スルニ非ス即チ此區別ハ法律上ヨリシテ生スルモノニシテ事實上ヨリ生スルモノニ非ス其區別ハ專ラ證據ノ性質ニ關係スルモノニシテ證據力ノ強弱ヲ判定スルモノニ非ス

○總テノ證據ハ成ルヘク其根源ニ就テ取調フルヲ要スト雖トモ若シ同一事實ヲ立證スルニ數多ノ獨立根源ヲ有スル證據アル時ハ總テニ對シテ一、等證ヲ盡シタル後二、等證ヲ提出セシムルニ及ハスシテ若シ其一ニ付一、等證ヲ得サル場合ニ於テハ二、等證ヲ提出スルヲ得ヘシ例セハ訴訟對手人以外ノ或人ニ對シテ金錢ヲ支拂フタルヤ否ヤノ事實爭點トナル場合ニ於テ該事實ヲ立證スル爲メニハ受取人若クハ支拂人ハ何レモ一、等證人トシテ呼出スヲ得ヘキモノナリ此場合ニ於テ假ニ受取人死亡シタルモノト推測スレハ此點ニ就テハ一、等證ヲ出ス能ハサルモノナリ然レトモ支拂人ヲ呼出スニ及ハス受取人ノ帳簿ニ受取ノ事實記入セル時ハ之ヲ證據トスルヲ得ヘシ

前ニ二人ノ立合證人アル場合ニ於テ一人死亡セルキニハ他ノ一人ヲ呼出スヘシト論シタルト此場合トハ一應抵觸スルカ如クナルモ決シテ然ラス而シテ其區別ノアル點ハ證人ノ性質

ニ存スルモノトス何トナレハ二人ノ立合證人アル場合ニテハ法律ノ命令ニヨリ二人ヲ必要トシタルカ或ハ對手人ノ注意ヨリシテ特ニ二人ヲ立合ハシメ其事柄ヲ鄭重ニシタルモノナレハ一人死亡スルニ於テハ他ノ一人ヲ呼出スヘキハ當然ナレトモ此場合ニ於テハ當初ヨリ證人ト定メタルニ非レハナリ

○以上ノ原則ヲ適用スル場合ニテ最モ屢々起生スル問題ハ書證ノ代證トシテ口述證ヲ採用シ得ルヤ否ヤニ在リトス而シテ此點ニ關スル原則ハ左ノ如シ

書證ヲ提出シ得ル場合ニ於テハ證書記載ノ事柄ハ證書其レ自身ヲ提出シテ立證スヘキモハニテ口述證ヲ許可セサルモノトス

此規則ハ英吉利習慣法ノ最モ古キモノ、一ニテ頗ル有益ナル規則トシテ法律家ノ讚賞スル所ナリテナタルドン卿言ヘルアリ「余ハ常ニ此規則ヲ嚴守シ書面ニ記載セル事柄ハ書面其レ自身ヲ以テ立證スルノ外他ノ方法ヲ許サ、ルナリ余ノ經驗スル所ニ由レハ證人ノ信憑スヘキ場合ニテモ書面證書ニ記載セル事柄ヲ證人ノ記憶ヲ以テスルカ口述證ヲ以テ立證セシムルノ頗ル危険ナルヲ感セリ而シテ口述證ハ誤謬ニ陥リ易キモノニテ公義ノ爲メニハ此規則ノ執行ヲ嚴守スルコトヲ必要トス」

ウヰンフオールト卿ノ言ニ曰ク「余ハ事實裁判所ノ判事トシテ争ノ事柄ヲ決スルニ日トシ

テ書證ノ必要ヲ感セサルハナシ多クノ訴訟ニ於テハ取引ノ當座ニ在リテ對手人ノ不注意粗漏ハ其原因ヲ爲セルモノニテ吾人ノ記憶ノ不確カナルコト證人ノ愚昧ナルコト偏頗ナルコトハ訴訟事件ヲ煩雜セシムルモノナリ而シテ口述證ニ由リテ眞實ヲ得ルコトノ甚々難キ場合頗ル多シ吾人ノ祖先カ最上證據ヲ提出スルヲ以テ法律ノ原則ト爲シタルハ深意ノ存スル所ニテ若シ最上證據アルニモ拘ハラズ之ヲ出サスシテ口述證ニ依頼スル對手人ハ頗ル其間ニ疑惑ヲ挾ムニ足ルモノトス故ニ證書ノ紛失シタル場合ノ如ク之ヲ提出スル理由アルニ非レハ口述證ハ立證ヲ許スヘキモノニ非ス」

以上ノ原則ノ行ハル、主タル原因ノ一ハ裁判官ニ於テ書證ノ全部ヲ閱覽スルヲ得ル場合ニ於テ其一部分ノ陳述ヲ聞ク時ニハ假令ヒ陳述ニ誤ナキ時ニテモ事實ノ真相ヲ誤ルコトアレハナリ

○以上ニ述ヘタル原則並ニ其理由ハ頗ル尊重スヘキモノニシテ實際ニ於テ利益アル原則タルハ固ヨリ論ヲ待タス然ルニ印紙條例アルカ爲メ無印紙若クハ不足印紙ノ場合ニ於テ此原則ノ枉ケラレタルコトナキニ非ス從來裁判官ハ印紙規則ニ關シテハ稍ヤ不熱心ニシテ無印紙若クハ不足印紙ノ證書ニテモ提出ノ際直チニ反對々手ニ於テ故障セサル以上ハ後ニ至リ異議ヲ申立ツルヲ得ストノ訴訟規則ヲ發布シタルコトアリ然レトモ此規則ノ當ヲ得タルヤ

否ヤハ頗ル疑フヘキモノニシテ場合ニ由リテハ善良ノ結果ナキニ非スト雖トモ結局訴訟事務實際ニ從事セル者ニ狡猾主義ヲ獎勵セシムルニ外ナラス近代ノ立法ニ至リテハ短刀直入ノ法ヲ用ヒ大ニ此邊ノ弊害ヲ救正シタルコトアリ

元來刑事事件ニ於テハ無印紙若クハ不足印紙ノ證書ト雖モ證據トスルニ差支ナシ而シテ民事訴訟ニ在テハ習慣法委員ノ起按ニ基キ司法事務ノ實行ト政府ノ收入ヲ保護スルトノ兩目的ヲ達センカ爲メニ無印紙若クハ不足印紙ノ證書ヲ提出セントスル者ハ之ヲ提出スル前ニ相當ノ印紙ヲ貼用シ犯則ニ對スル罰金ヲ完納スヘキモノトセリ又一千八百八十三年高等裁判所訴訟手續第三十九編第八條ニ由レハ證書ノ印紙ノ不足ナルコトニ關シ又ハ證書ニ印紙貼用ヲ必要トセサルコトニ關シ裁判官ノ與ヘタル判定ハ覆審ヲ許サ、ルモノトセリ此規定ハ事實裁判所判事ニ印紙ノ用、不用若クハ過不及ヲ判定スル專權ヲ與ヘタルモノニテ訴訟人ニ於テ之ニ對シ故障ヲ述フルヲ許サスシテ結局本案ノ勝敗ニ關係ナキ事柄ノ爲メ無益ノ手數ヲ省略セルモノナリ

○證書記載ノ事柄ハ若シ其證書提出スルヲ得ヘキ場合ナラハ之ヲ提出シテ事實立證ヲ爲スヘシトノ原則ニ關シ二種ノ階段アリ第一法律ニ由リテ書面ヲ必要トスル場合ニ成立セシメタル證書第二對手人ノ隨意ニ由リ書面ニ認メタルモノ第三、第一第二ニ屬セサル書類ニシテ其記載ノ事柄訴訟ノ爭點トナル場合はナリ

○第一ニ關シテハ法律ノ命令ニ由リテ書面證書ヲ必要トスルモノナレハ口述證ヲ以テ代證ト爲スヲ得ス例セハ官文書、官ノ報告、不動産讓渡ノ契約、遺囑證書、テナタルドン卿ノ條例ニ由リ義務ノ追認ヲ爲ス證書、他人ノ負債ヲ支拂フノ約束其他詐欺條例ニ由リテ書面ヲ必要トスル契約是ナリ總テ是等ノ場合ニ於テハ法律ニ於テ書證ヲ取引ノ必要證據ト定メタルモノナレハ口述證ヲ許サ、ルナリ例セハ裁判所ノ開廷事實ヲ立證スルニハ裁判所ノ記録ニ由ラサル可ラス又犯罪ノ爲メニ或者ノ拘留セラレタルコトヲ證明スルニハ口述證ニ由ルヲ得スシテ令狀ヲ提出セサル可ラス又證人ノ證言ヲ書面ニ記載シタル場合ナル時ハ裁判所ノ事實判事ノ面前ニテ爲シタルト刑事事件ノ場合ニ於テ治安判事ノ面前ニテ爲シタルトヲ問ハス後日ニ至リ證言ヲ證據ト爲スノ必要アル時ハ其書面ヲ提出セサル可ラス

又ヅ井クトリヤ十一年及十二年ノ條例第四十二編ヅ井クトリヤ十四年及十五年ノ條例第九十三編ニ由リ治安判事ノ面前ニテ被告人ノ陳述ヲ錄取シタル時ハ右ノ書面ヲ以テ第一ノ證據ト爲サ、ル可ラス

○訊問調書式ニ違フタルカ爲メ排斥セラル、場合(訊問證書ニ宣誓ノ式ヲ怠リタル時ハ任意ノ自白ト見サルヲ以テ無効トス)又ハ訊問調書陳述ノ全部ヲ記載セサル確證アル時ハ口

述證ヲ以テ訊問證ノ代證ト爲スヲ得ヘシ然レトモ斯ル場合ハ官ノ證書ヲ排斥スルニ非スシテ前者ノ場合ニハ官ノ證書タル効力ナキカ故ニ之ナキト一般ニシテ後者ノ場合ニハ不足セル部分ヲ補フニ過キサレハ最上證據ノ原則ニ牴觸スルモノニ非ス又被告人二個ノ犯罪ニ關シ二個ノ場所ニ於テ訊問ヲ受ケ訊問ヲ爲シタル官吏其一犯罪ノミニ付調書ヲ作爲シタル時ハ調書ニ洩レタル事柄ハ口述證ヲ以テ立證ヲ許スハ勿論トス

又證人或事件ニ於テ證言ヲ證書ニ記載シタル後更ニ後日ニ至リ裁判所ノ呼出ニ應シテ出廷シ證言ヲ陳述シ死亡セル後ニ至リ該證人ノ證言ヲ立證スルノ必要生スル時ハ證言證書アルニモ拘ハラズ口述證言ヲ證據トスルヲ得ヘシ何トナレハ是等二個ノ證言ハ各々獨立ノ性質ヲ有セルモノニテ本末原副ノ關係アルニ非レハナリ

○法律ノ命令ニ出ルニ非スト雖トモ對手人ノ隨意ヲ以テ書面ニ記載シタル證據ハ口述證ヲ以テ代證ト爲スヲ得ス斯ル場合、殊ニ流通證書ノ場合ニハ書面其レ自身ヲ以テ立證ノ根本ト見ルヲ得ヘキモノナリ而シテ對手人間ニ書面ヲ作爲シタル場合ハ取リモ直サス對手人ニ於テ書面其者ヲ適證ト爲シタルモノト見做サ、ルヲ得ス即チ書面契約ハ取引ノ傍證ニ非スシテ本體ト云フヘキモノナレハナリ故ニ民事タルト刑事タルト問ハス契約ノ文言爭點事實トナル場合ニ於テハ對手人ハ證書其物ヲ提出スルカ然ラサレハ之ヲ提出スル能ハサル相當

ノ理由ヲ辯明セサルヲ得ス例セハ小作期限ノ斷レタル小作人ニ對シテ地所ノ明渡ヲ出訴シ證人訊問ノ際原被問ニ小作證書ヲ授受シタルコトノ事實發見スルトキハ原告ハ之ヲ提出スルコトヲ命セラルヘシ

又地主不動産ノ借主ニ對シ借料回復修繕履行ノ訴ヲ起シ對手人等ハ口述約束ヲ以テ兼テ地主ト他人トノ間ニ結ヒタル小作證書ニ由リ貸借スヘシトノ事實發見シタル場合ニ於テ原告謂レナク該證書ヲ出サ、ルニ於テハ敗訴タルヘキモノトセラレタリ

○地主及ヒ小作人間ニ於テ小作料ノ額如何トノ問題ヲ生シタル場合又何人カ眞ニ小作權ヲ受ケタルヤノ問題若クハ何人ニ由リ小作人ハ小作ヲ爲スニ至リタルヤノ問題ニ於テ總テ書面證據ヲ提出スヘキモノトセラレタリ

又書面契約ニ由リ貸仕事ヲ約束シ而シテ原告ハ書面契約外ノ餘分ノ仕事ヲ爲シタルヲ以テ餘分ニ對スル賃銀ヲ請求シタル事件ニ於テ對手人間ノ契約證書ノ提出ヲ命シタル事件少シトセス何トナレハ斯ル事件ニ於テハ書面契約ヲ提出スルニ非レハ原告カ餘分ノ仕事ナリト唱フルモノ果シテ餘分ナリヤ否ヤヲ知ル可カラスシテ又其賃銀ノ割合ヲ定ムルニモ原契約ヲ提出セシムルコト頗ル必要ナレハナリ

又競賣人競賣ヲ以テ地所ノ貸借ヲ爲シ競落シ人ニ對シテ小作ヲ承諾シ其約款ヲ自記シテ之

ヲ地所々有主ニ渡シタル場合ニ於テ裁判官ハ其書面ヲ提出スヘキコトヲ原告人ニ命シタリ
 ○ホ井ツトホルド對チユチン訴訟事件ニ於テ原告ハ或慈善會ノ書記ニ雇用セラレタリ而シ
 テ原告人ノ雇用セラレタルハ慈善會委員ノ帳簿ニ記載シタル決議録ニ由リタルモノニテ原
 告ハ該帳簿ヲ管守セリ然ルニ慈善會解散セラレタルヲ以テ書記ハ給料要求ノ訴ヲ起シタル
 ニ裁判官ハ帳簿ノ提出ヲ命シタリ此場合ニ於テハ帳簿ニ決議録ヲ記載シタルハ原告ノ未タ
 書記タラサル前ニシテ前書記ノ登録シタルモノナレトモ原告ハ右決議ニ由テ雇用セラレタ
 ルモノニテ其事實ヲ知ルノミナラス決議録ハ原告ノ管守セル所ナリシヲ以テ提出ヲ命セラ
 レタルモノトス

○是等ノ場合ニ於テ書面反對々手ノ所持ニ係ル場合ト雖トモ其性質ニ差異ヲ生スルモノニ
 非スシテ矢張り一等證タルノ扱ヒヲ受クルモノナリ然レモ反對々手ノ所持スル場合ナル時
 ハ反對々手ニ通知シテ之ヲ提出セシムルヲ得ルモノニテ反對々手之ヲ提出セサルキハ二等
 證ニ由テ記載ノ事柄ヲ立證スルヲ得ルモノトス

然レトモ是等ノ場合ニ於テ原告者書面證書アルコトヲ裁判官ニ知ラシメスシテ爲メニ他ノ
 方法ヲ以テ不確定推測ヲ生スルニ足ル程ニ立證シ得タルトキハ被告ニ於テ書面證書アルコ
 トヲ申立テ之ヲ提出スト雖トモ原告ニ於テハ失權ノ理由トナラス而シテ被告人若シ其證書
 ヲ自己ノ證據物ノ一トシテ提出シ該證書ハ無印紙ナルカ不足印紙ナル時ハ被告ニ於テ罰金
 ノ責ニ任セサルヲ得ス
 此場合ニ於テハ證書ヲ差出スヘキノ通知ヲ原告者ニ對シテ爲シタルト否トハ被告ノ利益ノ
 爲メニ差異ヲ生スルコトナカルヘシ

○對手人間ニ取替ハセタル書面證書アリト雖トモ本按直接ノ證據ニ非スシテ單ニ傍證ニ過
 キサル時ハ之ヲ提出スルニ及ハサルモノトス例セハ或事業ヲ爲サシムルニ付注文者ト職人
 トノ間ニ書面證書ヲ取替ハスト雖トモ右契約以外ニ更ニ仕事ヲ注文シタル場合ニ於テ注文
 ヲ受ケタル者ニ於テ其事柄ノ書面契約ニ關係ナキコトヲ立證シ得ル以上ハ口述證ヲ以テ立
 證ヲ許スヘシ例セハ家屋内部ノ修繕ヲ職工ニ依頼シ双方間ニ書面契約ヲ取替ハスト雖トモ
 更ニ外部ノ修飾ヲ注文シ其契約ヲ證書ニ記載セスシテ口約ニ止メタルキハ二個ノ契約書ニ
 ハ特別ノ關係ナキヲ以テ書面契約ヲ提出スルニ及ハスシテ口約束ヲ立證スルヲ得ヘシ
 又地所ノ占有ノ事實ノミ爭點トナリタル場合ニハ地主ト借地人トノ間ニ地所貸借ノ書面ヲ
 取替ハシタル場合ニテモ占有ノ事實ハ證人ノ陳述ヲ以テ立證スルヲ得ルモノトス
 又地主、小作人間ニ地所貸借ノ書面證書ヲ取替ハスト雖トモ貸借期限ハ口約束ニテ之ヲ定
 メタル場合ニシテ單ニ期限ノミノ爭點トナリタル訴訟ニ於テハ書面契約ヲ提出スルニ及ハ

スシテ口述證ヲ以テ立證スルヲ得ルモノトス
 數人間ニ組合人タルノ關係アルコトハ組合契約證書ヲ出スニ及ハスシテ口述證ヲ以テ立證スルヲ得ヘシ

又口錢付物品依託販賣約束ニ於テ口錢支拂ノ事實ハ書面ニ認メタル場合ニテモ賣却ヲ引受ケタリトノ事實ハ口述證ヲ以テ立證スルヲ得ルモノトス

○被告人ニ或家屋ヲ貸渡シタル時ニ於テ原告者其契約ノ箇條ヲ自己ノ手帳ノ覺書ヨリ被告ニ讀ミ聞セ被告ニ於テ之ヲ承諾シテ家屋ヲ借入レタレトモ被告人ニ於テ覺書ニ署名セス又地主ノ代人地所貸借ノ契約證書ノ覺書ヲ被告ニ讀ミ聞カセ被告之ヲ承諾シ追テ保證人同道ノ上記名調印スヘシト約シ遂ニ之ヲ怠リ又家屋貸借ノ契約ニ於テ錯誤ヲ避ケン爲メニ貸主ノ代理人ハ署名證書ヲ作り借主ノ妻之ニ署名シタレトモ借主本人ハ其場所ニ立合ハス又其妻ヲ己レノ代理者ト爲シタル證據モナク漫然家屋ニ住居シ又入札方法ヲ以テ地所ヲ貸渡シ貸借ノ條件ヲ記入シタル書面ヲ最高入札者ニ渡シタレトモ入札扱人若クハ對手人等ニ於テ之ニ署名ヲ怠リ又雇人雇入レノ契約ヲ爲スニ付主人及雇人ハ警察署ニ出頭シ約束ノ要領ヲ警察ノ帳簿ニ記入セシメタレトモ何レモ之ニ署名セス又警察官吏ニ於テモ之ヲ讀ミ聞カセサリシ等ノ場合ニ於テハ裁判所ハ口述證ヲ以テ約束ヲ立證スルコトヲ許シタリ何トナレハ

總テ是等ノ場合ニ在リテハ覺書若クハ其他ノ書面アリト雖トモ何レモ對手人ニ於テ署名セス言ハ、一個ノ草案タルモノニ過キサルモノニシテ對手人等ニ於テモ是等書面ヲ以テ約束ノ證據ト爲シタルモノト見ル可ラサルヲ以テナリ

○以上ト同一ノ主義ニ基キ訴訟ノ原由契約項目ノ不履行ヲ訴フルニ非スシテ契約目的物ノ費消、押取、怠慢ニ由ル滅盡等ヲ理由トスル私犯ノ訴ナル時ハ原告者ハ被告人ニ證書其レ自身ヲ提出スヘシトノ通知ヲ爲サスシテ目的物ノ同一ナルコトヲ立證スル爲メ口述證ヲ用フルヲ得ルモノトス又右等ノ場合ニ於テ被告人證書ノ提出ヲ便利トセル場合ニテモ原告人ハ被告ノ隨意ニ任シテ自カラ被告ニ對シ證書ヲ提出スヘキコトヲ通知スルノ義務ナキモノトス

物品ノ同一ナルコトヲ立證スル爲メニハ書面證書ト他ノ物品トノ間ニ區別ヲ爲サ、ルモノトス即チ約束手形取戻シノ訴ニテモ車馬ノ類取戻シノ訴ニテモ立證ノ方法ニ區別ナキモノトス

○以上ト同様ノ原則ハ刑事々件ニモ行ハル、モノトス例セハ爲替手形又ハ其他ノ證書類ヲ竊取シタリトノ訴ヲ受ケタル被告人ニ對シテ盜罪目的物ノ同一ヲ立證スル爲メニハ被告人又ハ其代理者ニ通知ノ送達ヲ爲スコトナクシテ口述證ヲ以テ立證スルコトヲ得ルモノトス

然レトモ證書偽造ノ被告事件ニ於テハ若シ偽造證書被告ノ手裏ニ存スル時ハ求刑人ハ口述
證ヲ用井ルコトヲ許サル、前ニ被告又ハ其代人ニ對シテ偽造證書ノ提出ヲ通知スルノ送達
ヲ爲スヘキモノトス

以上二個ノ場合ニ於テ通知ヲ必要トスルト否トノ區別アルハ其理由訴訟手續上ヨリ生シタ
ルモノトス前者ノ場合ニ在リテハ竊盜ノ目的物タル證書ハ公訴狀ニ於テモ立證ニ於テモ明
細ノ説明ヲ要セサレトモ後者ノ場合ニ在リテハ偽造ニ係ル證書ハ精細ニ之ヲ叙述スルノ必
要アレハナリ然レトモ眞正ノ理由ハ猶他ノ點ニ存ス即チ竊盜事件ノ場合ニ於テハ口述證ヲ
許シ偽造證書ノ場合ニハ之ヲ許サル所以ハ竊盜ノ被告事件ニ在リテハ被告人タル者其證
書ノ提出ノ必要ナルコトハ自カラ之ヲ前知セルヲ以テ其通知ヲ受クルノ必要ナシト雖トモ
偽造證書ノ場合ニ在リテハ右等ノ理由ナケレハナリ此點ニ就テハ後ニ通知送達ノ法律ヲ説
明スル場合ニ至リテ明瞭スルヲ得ヘシ

○第三ニ書面中ノ事柄原被告ノ争フ所トナリ訴訟争點ニ必要ノ關係ヲ有スル時ハ書證ニ代
ユルニ口述證ヲ以テスルヲ得サルモノトス例セハ或決議ノ新聞ニ廣告セラレタリヤ否ヤノ
事實問題トナル時商人其簿冊中ノ記事ニ付争ヲ生シタル時ハ證據物件其レ自カラヲ出スコ
トナクシテ證人ノ口述證ヲ以テ立證スルヲ許サルモノトス又樂譜ノ公ケニセラレタリヤ
否ヤノ事實問題タル場合ニハ印刷セラレタル樂譜ヲ提出スルコトヲ必要トス而シテ出版セ
ラレタル樂譜ヲ見タリト云フ證人、聞キタリトノ證人ノ陳述ヲ以テ公ケニセラレタル事實
ヲ立證スルヲ許サルモノトス又或事件ニ於テ申合書記載ノ事實争點トナリシ時ニ該申合
書ハ共謀人等ノ集會ノ席ニテ一人口述シ他人之ヲ言寫シニ記述シタルモノナリシヲ以テ之
カ立證ニハ書面ノ提出ヲ必要トスルヤ口述證ヲ以テ立證シ得ルヤハ大ニ疑惑セラレタリ又
或事件ニ於テ某ナル者貧民救助費ヲ支拂フヘキ人員中ニ列セラレタルヤ否ヤヲ立證スヘキ
場合ニ於テ救助費徵收官吏ノ口述證ハ採用スルヲ得スシテ救恤者名簿若クハ其正當謄本ノ
提出ヲ必要トセラレタリ又證人反問ノ場合ニ於テ或簿冊ニ證人ノ姓名ノ記入セラレタルヤ
否ヤノ事實ハ該簿冊ヲ提出スルコトヲ得サル理由アルニ非レハ之ヲ訊問スルヲ得サルモノ
トス

○上來述ヘタル如ク書證アル場合ニ於テハ口述證ヲ許可セストノ原則ニ對シテハ自カラ當
然ノ例外アルコトヲ認メサル可ラス即チ當然ノ例外トハ對手人ノ自認ハ證書アルニモ拘ラ
ス之ヲ立證スルヲ得ルモノトス即チ自認ハ之ヲ爲シタル本人及ヒ本人ノ承權者ニ對シテ効
カアルモノニシテ證書記載ノ事柄ニ關スル場合ト雖トモ決シテ其方ヲ弱メラレヘキモノニ
非ス此事ニ付パーク氏ノ理由トシテ述ヘタル言ニ曰ク「證書ヲ提出スヘシトノ通知ヲ爲サ

ス又ハ證書ノ存在セサルコトノ理由ヲモ述ヘスシテ自認タルヘキ効力ヲ有スル言語若クハ所爲ヲ立證シ得ルハ是等ノ陳述ハ他ノ口述證トハ其性質ヲ異ニシ其成ル原因ヲ同フセサニ由ル何トナレハ書證アルニモ拘ラス口述證ヲ以テ立證セントスル場合ニハ不正ノ推測ヲ生スヘキ理由アルヲ以テ之ヲ排斥スルモノナレトモ對手人自身ノ爲ス所ノ自認ハ以上ニ述ヘタルカ如キ恐ナキヲ以テ之カ立證ヲ許スハ當然ナリトス

○以上ニ述ヘタル推論及ヒ之ニ基ケル判決ノ當否ヲ論スルハ頗ル越權ノ如クナレトモ然レトモ著者ハ此點ニ關シ一ノ注意ヲ爲スノ已ムヲ得サルヲ感スルモノナリ即チ對手人ノ自認ハ眞正ナリト假定スルモ自認ヲ證明スヘキ所ノ證言ハ必スシモ眞ナリト云フヲ得ス而シテ斯ル證言ハ最上ノ證據ヲ提出セスシテ二等證ヲ提出スル場合ヨリモ更ニ一層故障ヲ爲スヘキ原由アルモノナリ

裁判所ニ於テ爲サレタル自認ナル時ハ之ニ關スル書證ヲ提出スルハ殆ント無益ノ業ナルヘシ何トナレハ斯ル場合ニハ自認ノ眞偽ヲ確ムルノ必要アルノミニシテ通常吾人ハ己レノ利益ニ反對スル自認ヲ爲スヘキモノニ非ス然ルニ若シ斯ル自認ヲ爲スニ於テハ宜シク之ヲ眞實ナリト認ムヘキナリ然レトモ反對々手カ訴訟中ノ事柄ニ付自認ヲ爲シタルヲ聽取シタリトノ證人ノ陳述ハ其陳述其レ自身ノ眞偽ハ頗ル疑フヘキモノニシテ詐欺、偽證ノ恐レ抄シト

爲サス故ニ斯ル場合ニ於テハ書證ハ其者自身ヲ提出シテ記載ノ事實ヲ立證スヘシトノ善長ナル原則ニ從フニ若カサルナリ大家ト稱セラル、テンタルドン卿モ一ル判事ノ如キハ著者カ茲ニ述フル意見ヲ明確ニ陳述セリ而シテパーク氏自身スラモ斯ル陳述ハ頗ル信ヲ置クニ足ラスシテ不十分ナルモノト云ヘリ何トナレハ假令ヒ證人ニ惡意ナキモ其聽取シタルコトニ過ナシト云フ可ラス殊ニ言辭ニ多少ノ異同アル爲メ全ク自認者ノ主意ト逕庭スルコトアレハナリ

○以上ニ述ヘタル意見ヲ書キ終リタル後愛蘭ニ於テハ此點ニ付頗ル研究ヲ積ミタリ而シテ或判事等ハ痛クスラットレー對プレーノ訴訟事件ニ於テ述ヘラレタル所ノ原則(譯者註、自認ノ證言ヲ許ストノ原則)ヲ排斥セリ即チ判事ベネツァーザー氏ノ言ヘルニ「彼事件ニ於ケル原則ハ頗ル危險ノ性質ヲ帶フルモノト謂ハサル可ラス何トナレハ此原則ニ由リ祖先傳來ノ不動産ニシテ毎年一萬磅ノ收入ヲ生スルモノ、二三證人ノ陳述ニ由リ是等ヲ地所ヲ捺印證書ニテ賣渡シタリトカ質入シタリトカ證言スルモノハ直ニ奪取セラレ、モノナリ而シテ是等證人ハ容易ク共謀スヘクシテ詐欺ノ門戸ヲ開クモノト謂フ可シト

是等ノ意見ヲ述ヘタル事件ハ不動産使用及ヒ占有ノ訴訟ナリシ而シテ審問ノ時ニ當リテ原告證人ノ一人ハ被告ニ於テ地所ヲ占有シタリトノ立證アリタル後反問ヲ受クルニ及ンテ書

面契約ノアルコトヲ認メタリ而シテ裁判所ハ口述證ヲ許サスシテ契約書面ヲ提出スヘキコトヲ命シタリ

スラットレー對プレーノ訴訟事件ニ於テ判定セラレタル原則ハ總テノ書類ニ適用セララルヤ否ヤ又權利上ノ自認モ事實上ノ自認ト同様ノ効力アリヤ否ヤハ頗ル疑フヘキノ點ナリトス

或事件ニ於テエレンボロー卿判事タリシキニ對手人カ破産者條例ニ由リ負債ノ全免ヲ得タリトノ自認ハ真正ノ全免ヲ得タリトノ證據トシテハ不十分ナルモノト云ヘリ何トナレハ是等裁判上ノ證書ハ實際提出セラル、ニ於テハ式ニ違フタルモノニシテ無効ナルヤモ知ル可ラス而シテ對手人ハ是等ノ法律點ニ就テハ誤解セルヤモ未タ知ル可カラサレハナリ然レトモ重婚ノ被告事件ニ於テ被告人外國ニ於テ婚姻シタルコトヲ明確ニ申立テタル時ハ其婚姻ノ式ニ違フタリヤ否ヤヲ立證スルノ必要ナキモノトセラレタリ又或給料請求ニ關スル事件ニ於テ原告ハ自己ノ要求ヲ仲裁ニ附シ仲裁人ハ己レニ不利ナル所ノ裁判ヲ爲シタリトノ自認ハ被告ノ利益ノ爲ニ立證ヲ許スヘキノ證據トセラレタリ

○以上ニ述ヘタル三種ノ場合ニ屬セサル時ニハ書面アリタリト雖トモ之カ爲メニ口述證ヲ排斥スヘキノ理由ヲ見ス即チ書面ノ通知アルト同時ニ同一ノ事ヲ口述證ニテナシタル場合

ニハ口述證モ一ノ獨立ナル證據トシテ立證スルヲ許サヘル可ラス何トナレハ斯ル場合ニハ口述證ヲ以テ書證記載ノ事柄ヲ立證スルニモ非ス又口述證ヲ以テ書證ノ代證ト爲スニモ非スシテ二者共ニ獨立證タレハナリ又受取證ヲ得タル場合ニテモ金錢支拂ノ事實ハ口述證ヲ以テ立證スルヲ得ヘシ又口頭ヲ以テ物品返還ノ催促ヲ爲シタル場合ニハ同時ニ書面催促ヲ爲シタリト雖トモ之ヲ立證スルヲ得ヘシ又負債ノ自認ハ支拂ノ約束ヲ書面ニテ爲サシメタル場合ニテモ之ヲ立證スルヲ得ヘシ

又地所ノ權利ノ終リタルコトハ地券狀又ハ裁判所ノ簿冊ヲ提出セス又提出セサル理由ヲ述ヘスト雖トモ自認ヲ以テ立證スルヲ得ヘシ何トナレハ故人カ自己ノ死亡ト共ニ權利ノ消滅スルコトヲ明言シタル時ハ之ヲ立證スルヲ得ヘケレハナリ(後ニ明瞭スル如ク)財産占有者ハ占有中ニ爲シタル總テノ陳述ハ其者ノ死亡後ハ之カ立證ヲ許スモノトス但シ故人自己ノ權利ヲ斷絶セシムヘキ陳述ヲ爲シタル時ニ限ル

○犯罪前調ヘノ際ニ當テ警察官吏證人ノ陳述ヲ錄取スルモ官吏自カラモ證人モ之ニ署名セサル時ニハ式ニ違フ記録ナルヲ以テ口述證ハ書面ト共ニ提出スルヲ得ルモノトス又獵銃ノ爲メ他人ノ地所ヲ侵害シタリトノ訴ニ於テ警察官吏證人ノ陳述ヲ錄取スルモ職務上爲スヘキノ義務アリテ爲シタルニ非レハ前ノ場合ト同様ノ規則ヲ適用スルナリ又郡ノ裁判所ニ於

テ犯サレタル偽證罪ノ求刑ニ於テハ裁判官ハ書類ヲ保存スルノ義務ナキヲ以テ之ヲ提出セシムルノ命令狀ヲ發スルナク審問ノ際ニ出席シタルモノヲ證人トシテ呼出シ證言セシムルヲ得ルモノトス又支配人、委員、信託者ノ類ハ其事務手續簿冊ニ記載セラル、モ又右等簿冊ハ條例ニ由テ作爲セラレタル場合ニテモ會議ノ席ニ生シタル事柄ヲ口述證ヲ以テ立證スルノ妨トナラス又合資本會社ノ式ニ由テ登錄セラレタルコトヲ立證スル時ニハ登錄ノ證ヲ提出スルノ必要ナキモノトス又生誕、洗禮、婚姻、死亡、埋葬、等ノ事實ハ其法律ニ由テ登錄セラレタル場合ニテモ口述證ヲ以テ立證スルヲ得ルモノトス何トナレハ是等ノ記事ハ立證スヘキ事實其レ自身ノ一部ヲ構成スルモノニ非スシテ結局登記ハ事後ノ傍證タルニ過キス故ニ口述證ヲ排斥スルノ勢力ナキモノトス然レトモ斯ル事柄ヲ立證スルニハ書證ヲ提出スルコト便利ナルニモ拘ハラズ之ヲ爲サ、ルニ於テハ口述證ハ充分ノ注意ヲ以テ其信否如何ヲ鑑査セサル可ラス

○以上ト稍ヤ類似シタル理由ニ依リ國事犯、兇徒囂聚ノ罪等ノ事件ニ在リテハ旗章ノ文章、公會ニ於テ朗讀シタル決議書ノ類ハ談話ノ性質ヲ有スルモノトシテ口述證ヲ以テ立證スルヲ得ルモノトス又不法ノ宣誓ヲ爲サシメタル罪ニ由リ訴ヘラレタル被告事件ニ付證人ニ於テ宣誓ヲ爲サシメタル者書面ニ由リ之ヲ朗讀シタルコトノ事實ヲ陳述シ且ツ證人自身カ其者ハ犯罪ノ際右ノ草稿ヲ所持シタルコトヲ信認セルモ草稿提出ヲ命スルコトナクシテ口述證ヲ以テ立證スルコトヲ許スモノトス

○上來述ヘタル所ハ口述證ヲ以テ書證ノ代證トスル場合ニ係ルモノナリシカ是ヨリ同一ノ原則ハ同シク書證ニテモ法律上ノ効力ニ強弱ノ差異アルモノハ弱効證ヲ以テ強効證ノ代證ト爲スヲ得ストノ原則ヲ辯明セントス即チ原證書ハ(多少ノ例外アリ)審問ノ際之ヲ差出スヘキモノニシテ謄本ハ正確ナル場合ニテモ謂レナク原證書ノ代證ト爲スヲ得サルモノトス例セハ反對々手ノ所有スル筆記稿本ノ包含スル事實ヲ立證スル爲メニハ原稿ヲ提出セシムヘキ通知ヲ爲スコトナクシテ印寫本ヲ證據トシテ立證スルヲ得サルモノトス又複寫版ニテ原紙ヨリ直ニ寫取リタリト云フ場合ニテモ原紙ヲ提出スル能ハサル理由ヲ證明スルコトナクシテ寫本ニ由リ立證スルコトヲ得サルモノトス然レトモ活字ニ由テ數紙ヲ印刷シタル場合ニハ各紙ハ相互ニ原紙トシテ立證スルヲ許サル、モノトス火災被保人不正ニ家屋ヲ燒毀シタリトノ訴ヲ受ケタル場合ニ於テハ保險ノ事實ハ保險證ヲ以テ立證セサル可ラス斯ル場合ニ於テ保險證書ハ被告ノ所持スル所ナルモ之ヲ提出スヘシトノ通知ヲ爲スコトナクシテ保險會社ノ簿冊ニ由テ立證スルヲ得サルモノトス

○捺印證書、書載ノ事柄ヲ第三者ニ對シテ立證スル場合ニテモ登錄證ノ謄本ハ原本トシテ